

第2次東御市都市計画マスタープラン 東御市立地適正化計画

[資料編 1 (現況整理)]

東御市

※本資料は計画策定の過程で行った調査・分析をまとめたものであり、記述内容や表現が計画本編と異なる場合があります。

〈目 次〉

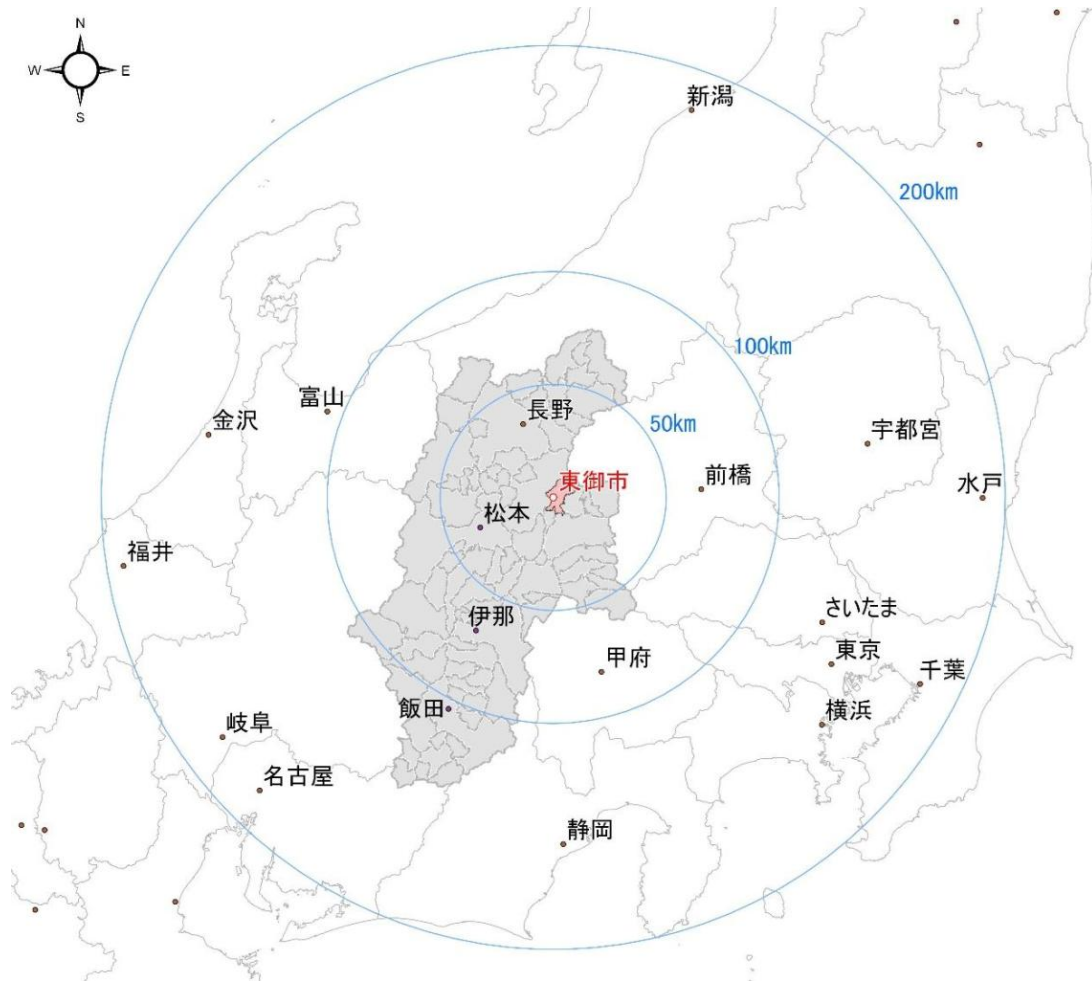
1.	東御市の現況	1
(1)	位置・地整	1
(2)	歴史	2
(3)	気象	2
2.	人口	3
(1)	総人口の推移と見通し	3
(2)	年齢階層別人口の推移	4
(3)	人口動態（自然増減、社会増減）	5
(4)	人口集中地区（DID）	6
(5)	社人研推計による将来人口（総人口・年齢3区分別人口）の見通し	7
(6)	社人研推計による人口分布（メッシュ別）の見通し	8
(7)	人口ビジョンにおける将来展望人口（目標人口）	12
(8)	都市計画区域内、用途地域内人口	13
(9)	地域別人口の推移	13
(10)	通勤通学流動	14
3.	土地利用	16
(1)	法規制状況	16
(2)	土地利用現況	20
(3)	建物新築動向	22
(4)	農地転用の状況	24
(5)	空き家・空地の分布状況	26
4.	都市機能	28
(1)	医療施設の分布	28
(2)	商業施設の分布	30
(3)	子育て施設の分布	33
(4)	学校の分布	36
(5)	金融機関の分布	39
(6)	社会福祉施設の分布	42
(7)	行政機能施設の分布	45
5.	道路・交通	48
(1)	都市計画道路の整備状況	48
(2)	道路の交通状況	50
(3)	平均旅行速度	52
(4)	公共交通（鉄道）	58
(5)	公共交通（定時定路線バス・デマンド交通）	59
(6)	通勤通学の交通手段	60

6.	水とみどり	61
	(1) 都市公園の指定、整備状況.....	61
	(2) 緑被分布の現状.....	63
	(3) 景観形成.....	64
7.	都市施設	65
	(1) ごみ処理施設等.....	65
	(2) 下水道処理区域.....	65
8.	経済	69
	(1) 産業別就業人口.....	69
	(2) 農業産出額の推移.....	71
	(3) 製造品出荷額、従業者数の推移.....	72
	(4) 卸小売販売額.....	73
	(5) 商業床面積・床効率の動向（小売業）	74
	(6) 品目別買物動向.....	75
	(7) 商圈分布.....	76
	(8) 観光の推移.....	77
9.	財政	78
	(1) 歳入と歳出.....	78
	(2) 公共施設の維持・耐用年数.....	79
10.	地価動向	81
	(1) 地点別地価の推移.....	81
11.	災害リスク	83
	(1) 災害履歴.....	83
	(2) 水害リスク.....	85
	(3) 土砂災害リスク.....	89
	(4) 土指定緊急避難場所・指定避難所.....	91
12.	都市構造評価	92

1. 東御市の現況

(1) 位置・地整

本市は長野県の東部に位置し、北は群馬県嬭恋村、西は上田市、南は佐久市や北佐久郡立科町、東は小諸市に接しています。市域は東西 14.7 km、南北 16.5 km、総面積 112.37 km²です。広域的にみると、東京や名古屋から 200km 圏内となっており、前橋市や甲府市は 100km 圏内に位置しています。



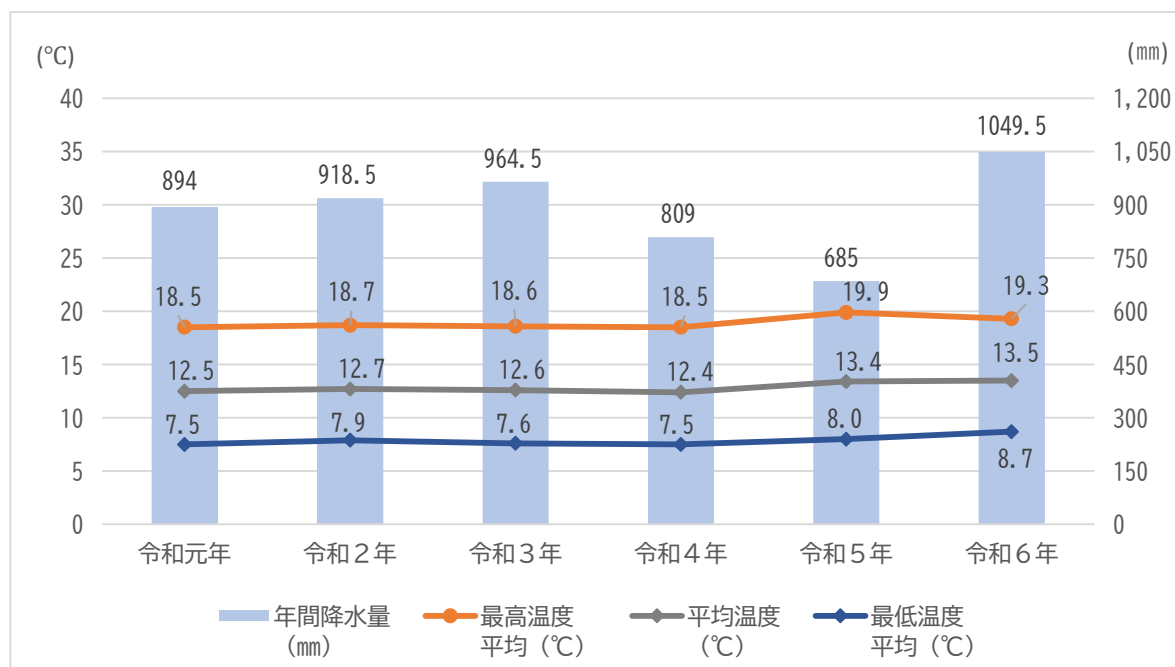
広域位置図

(2) 歴史

本市は、古くから馬の産地として知られ、平安時代の信濃御牧（官牧）十六牧の中でも、もっとも貢馬が多かったと伝えられています。中世には東信地方一帯を支配してきた海野氏をはじめ、望月氏、布下氏、諸沢氏によって統治されてきました。また、江戸時代に入ると北国街道の宿場町として海野宿と田中宿が設けられました。このうち海野宿については、当時の面影を残す建造物群として現在では観光の要所となっています。

(3) 気象

本市の気候は、四季を通じて日照時間が長く、気温の日較差が年間平均 10℃以上と大きい準高原的な内陸性気候です。年間降水量が 1,000 mm前後と全国でもまれな寡雨地帯となっています。



気温と降水量の推移

資料：東御市の統計 2024

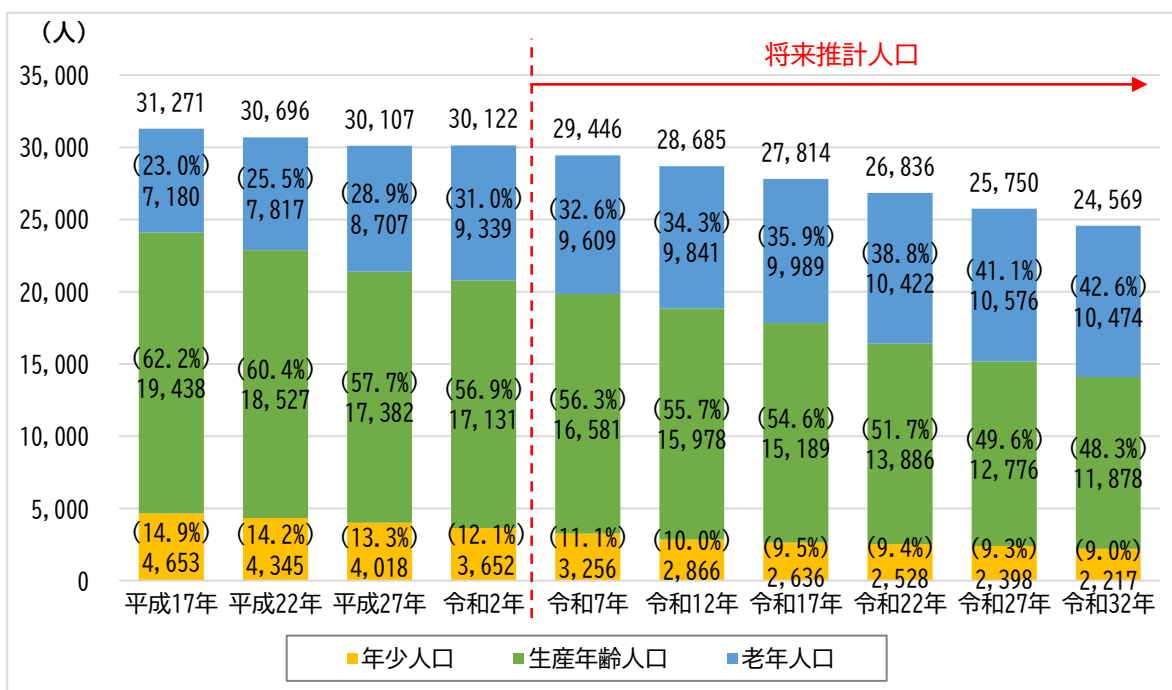
2. 人口

(1) 総人口の推移と見通し

国勢調査による本市の総人口は、平成17年（2005年）では31,271人でしたが、その後、人口減少が進行し、直近の令和2年（2020年）は30,122人となり、15年間で1,149人減少しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という）による将来推計人口では、令和32年（2050年）の総人口は24,569人と見込まれ、さらに人口減少が進むものと予測されています。

年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～65歳未満）は減少傾向であるのに対し、老年人口（65歳以上）は増加傾向であり、今後も少子高齢化の進行が続くと予測されています。



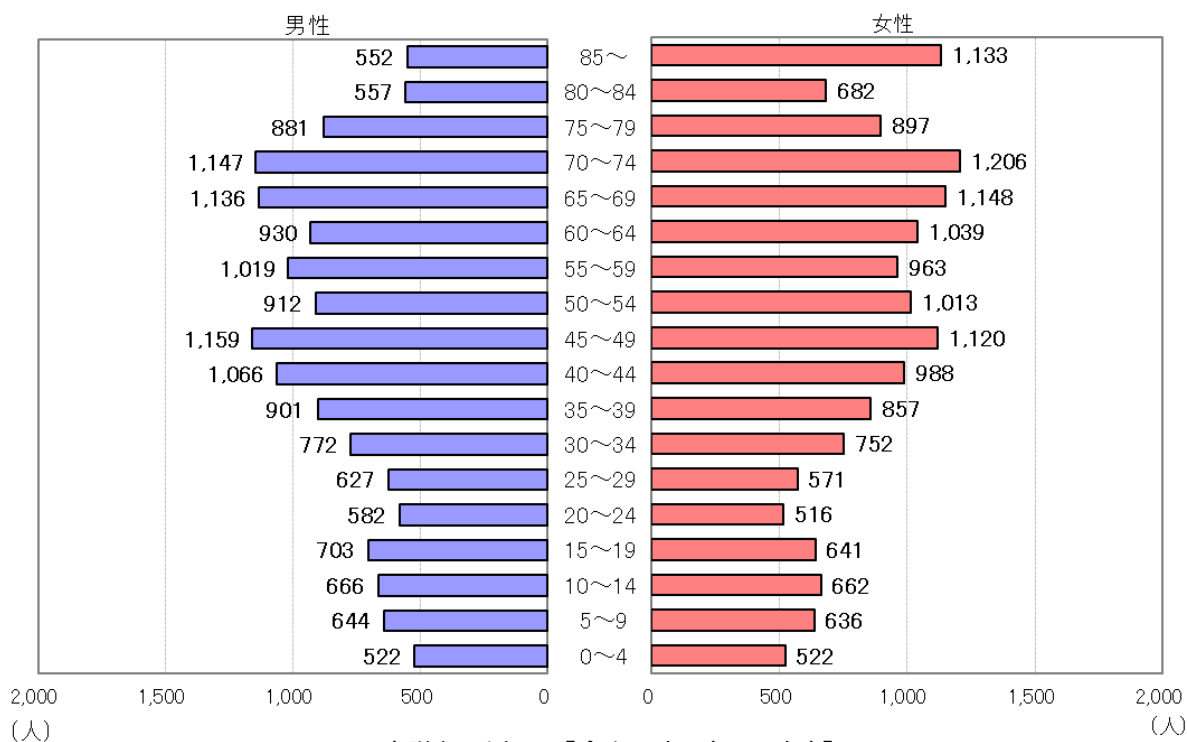
東御市の総人口・年齢3区分別人口の推移

資料：【H17～R2】国勢調査（総務省統計局）再編加工

【R7～R12】日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）再編加工
 ※平成27年以降の年齢区分別人口は年齢不詳を按分している。

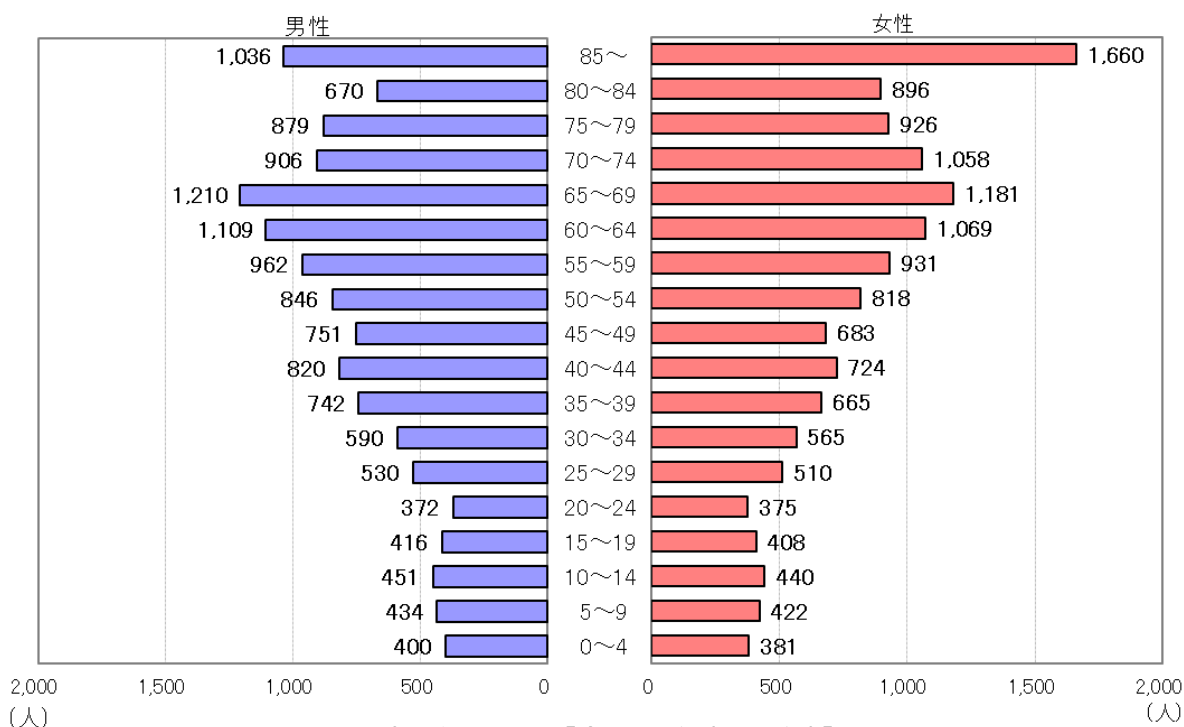
(2) 年齢階層別人口の推移

年齢5歳階級別に人口をみると、令和2年（2020年）では、45～49歳と65～74歳が多くなっています。少子・高齢化が進行した令和22年（2040年）では、75歳以上の高齢者が全人口の約4分の1を占める予想となっています。



5歳階級別人口 [令和2年（2020年）]

資料：令和2年国勢調査（総務省統計局）再編加工



5歳階級別人口 [令和22年(2040年)]

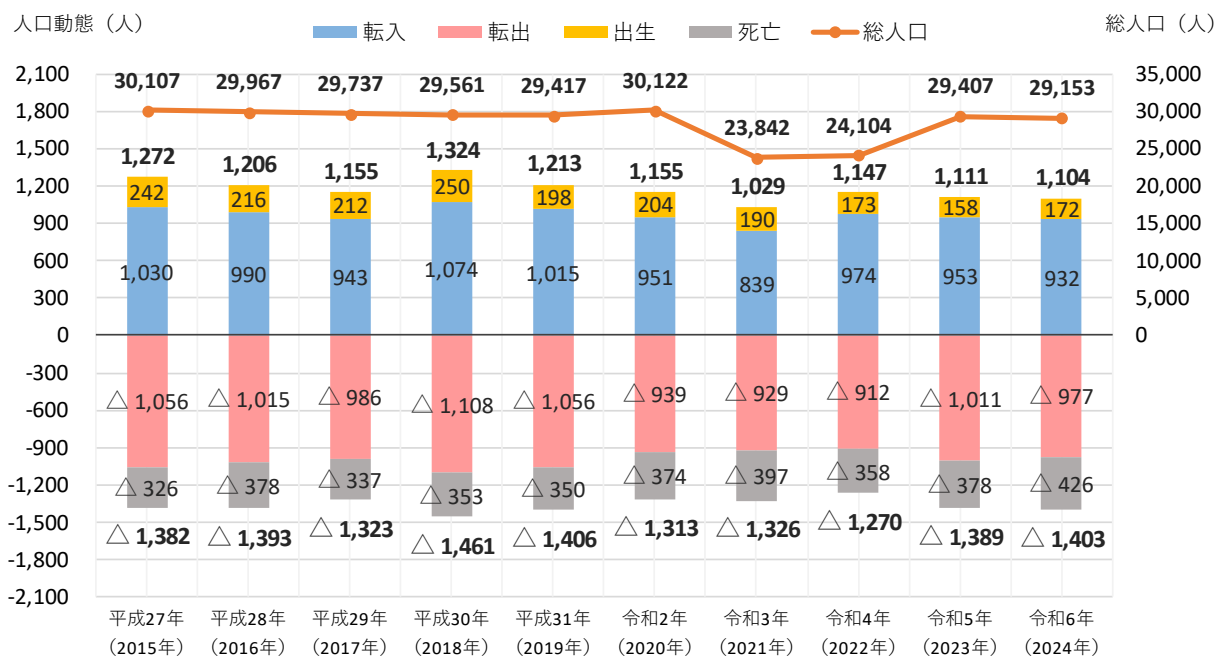
資料：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

※将来推計人口の数値は、端数処理の都合により他のデータと一致しない場合があります。

(3) 人口動態（自然増減、社会増減）

本市の人口動態をみると、自然動態では死亡数が出生数を上回っており、自然減の傾向が続いています。

一方、社会動態をみると、令和2年（2020年）や令和4年（2022年）では転入者が増加していますが、それ以外の年では減少しており、人口の推移は減少傾向となっています。



人口動態（自然・社会）の推移

資料：東御市の統計 2024（東御市）再編加工

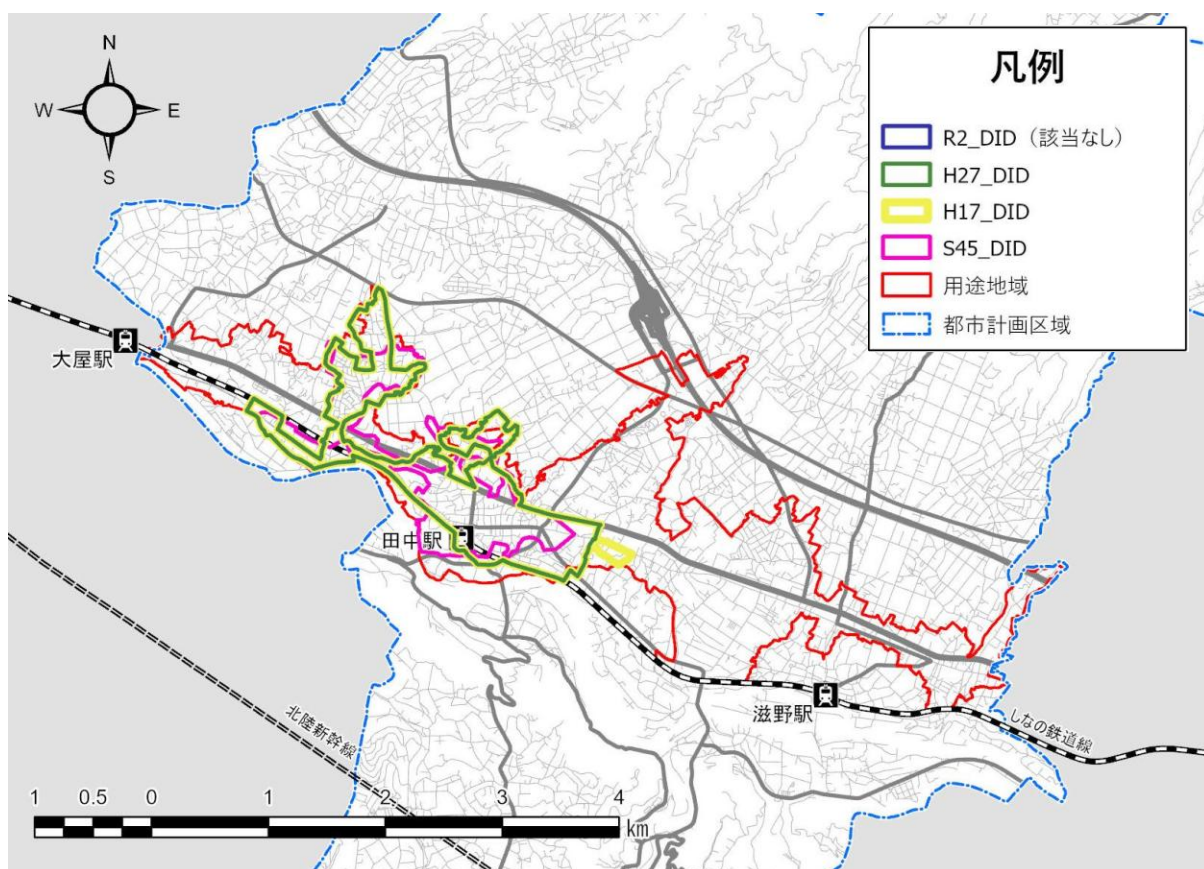
(4) 人口集中地区 (DID)

平成 27 年 (2015 年) 以前は田中地区を中心として人口集中地区が設定されてきましたが、人口密度の減少などにより令和 2 年 (2020 年) に該当する地区がなくなりました。

人口集中地区 (DID) の推移

年	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)
昭和45年	130	5,806	44.7
昭和50年	130	5,860	45.1
昭和55年	170	5,933	34.9
昭和60年	160	5,875	36.7
平成2年	190	6,477	34.1
平成7年	170	5,813	34.2
平成12年	170	5,884	34.6
平成17年	169	5,780	34.2
平成22年	166	5,373	32.4
平成27年	166	5,143	31.0
令和2年	該当なし		

資料：国勢調査（総務省統計局）再編加工

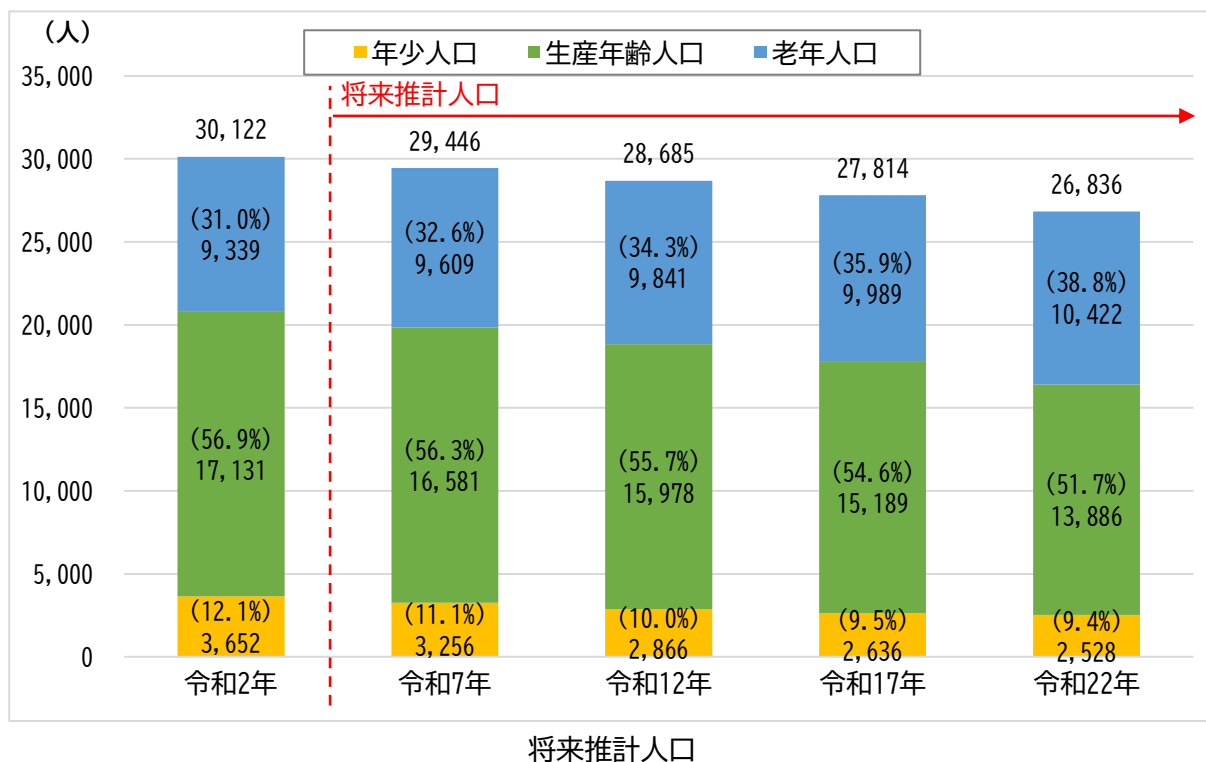


人口集中地区 (DID) の推移図

資料：【S45～R2】国勢調査（総務省統計局）

(5) 社人研推計による将来人口(総人口・年齢3区分別人口)の見通し

国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の将来推計人口によると、本市では今後も人口減少が進み、令和22年(2040年)には総人口が26,836人(令和2年(2020年)比:89.1%)となると予想されています。また、年齢3区分の内訳をみると、65歳以上の老年人口が占める割合が増加し、年少人口や生産年齢人口の割合が減少していく見込みです。



資料：日本の地域別将来推計人口(R5年推計)(国立社会保障・人口問題研究所)再編加工

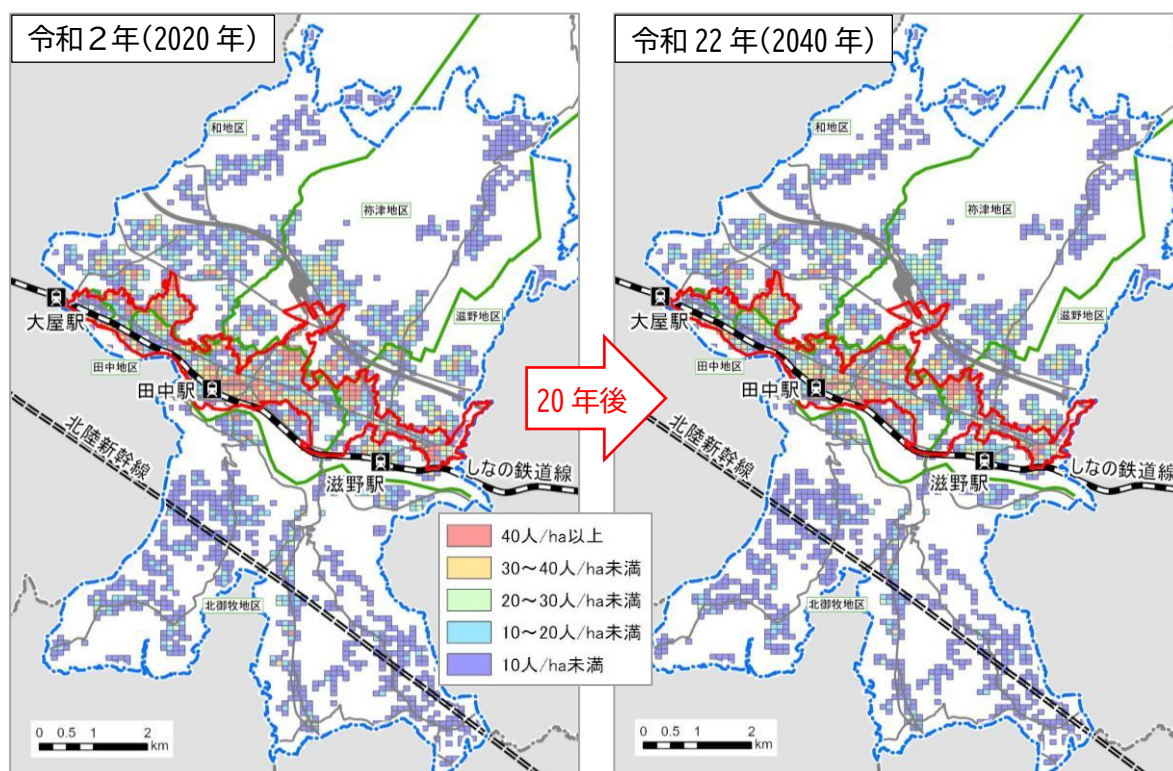
(6) 社人研推計による人口分布(メッシュ別)の見通し

人口分布を見ると、用途地域内では比較的人口密度の高い住宅地が形成されていますが、40人/ha以上のエリアは、令和2年(2020年)の「138メッシュ」から、20年後の令和22年(2040年)では「97メッシュ」に縮小していくものと予測されます。これに伴い、用途地域内の人口密度も令和2年(2020年)の19.6人/haから、20年後の令和22年(2040年)では17.1人/haに減少する見込みです。

また、用途地域外では5人/ha未満の低密度な集落地が広く形成されています。

将来推計人口

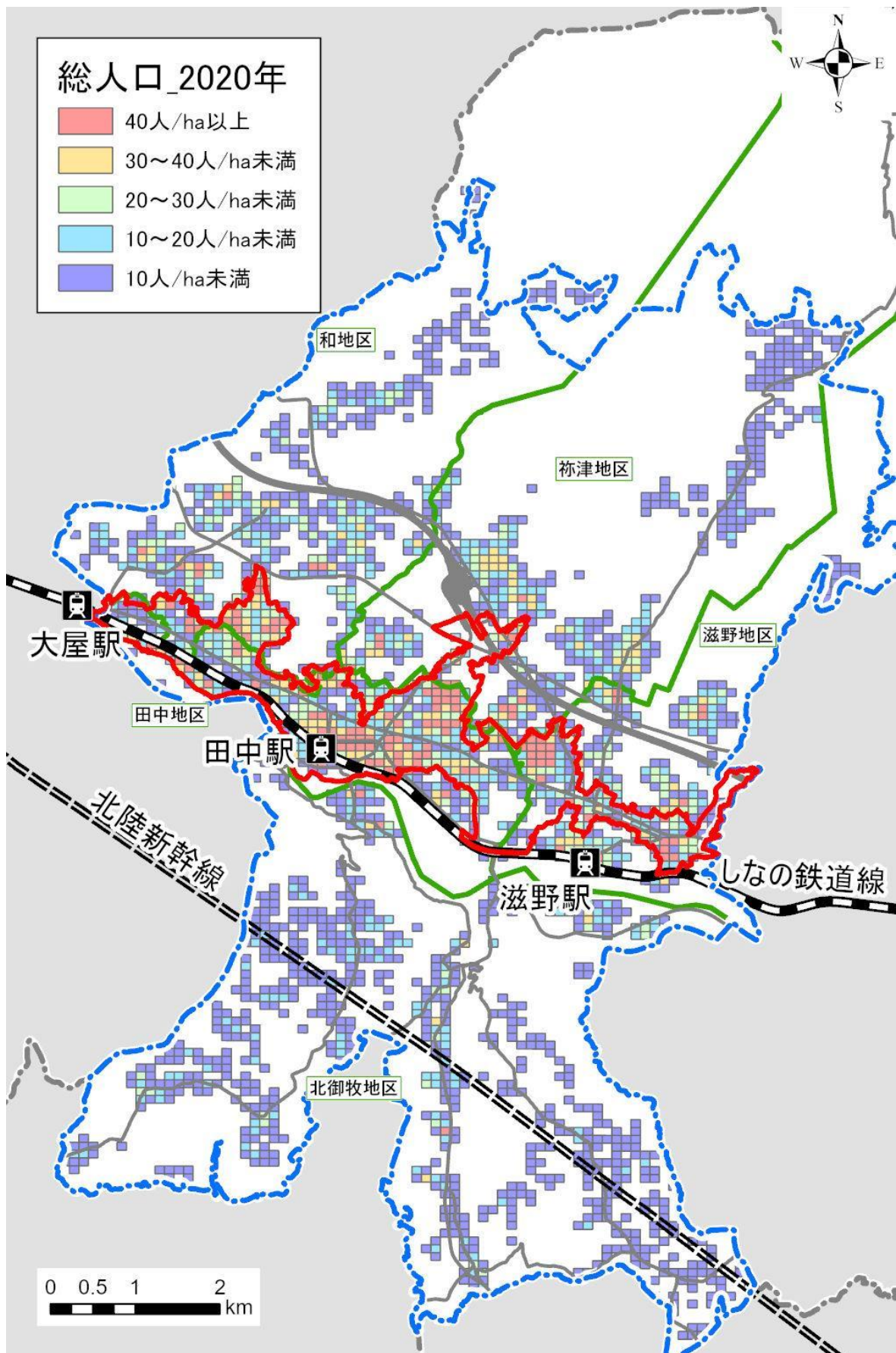
年	用途地域			市全体のメッシュ数		
	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)	40人/ha以上	30~40人/ha未満	20~30人/ha未満
令和2年	684.0	13,385	19.6	138	147	232
令和12年	684.0	12,385	18.1	119	141	227
令和22年	684.0	11,669	17.1	97	131	229



メッシュ別人口の比較 [令和2年(2020年)／令和22年(2040年)]

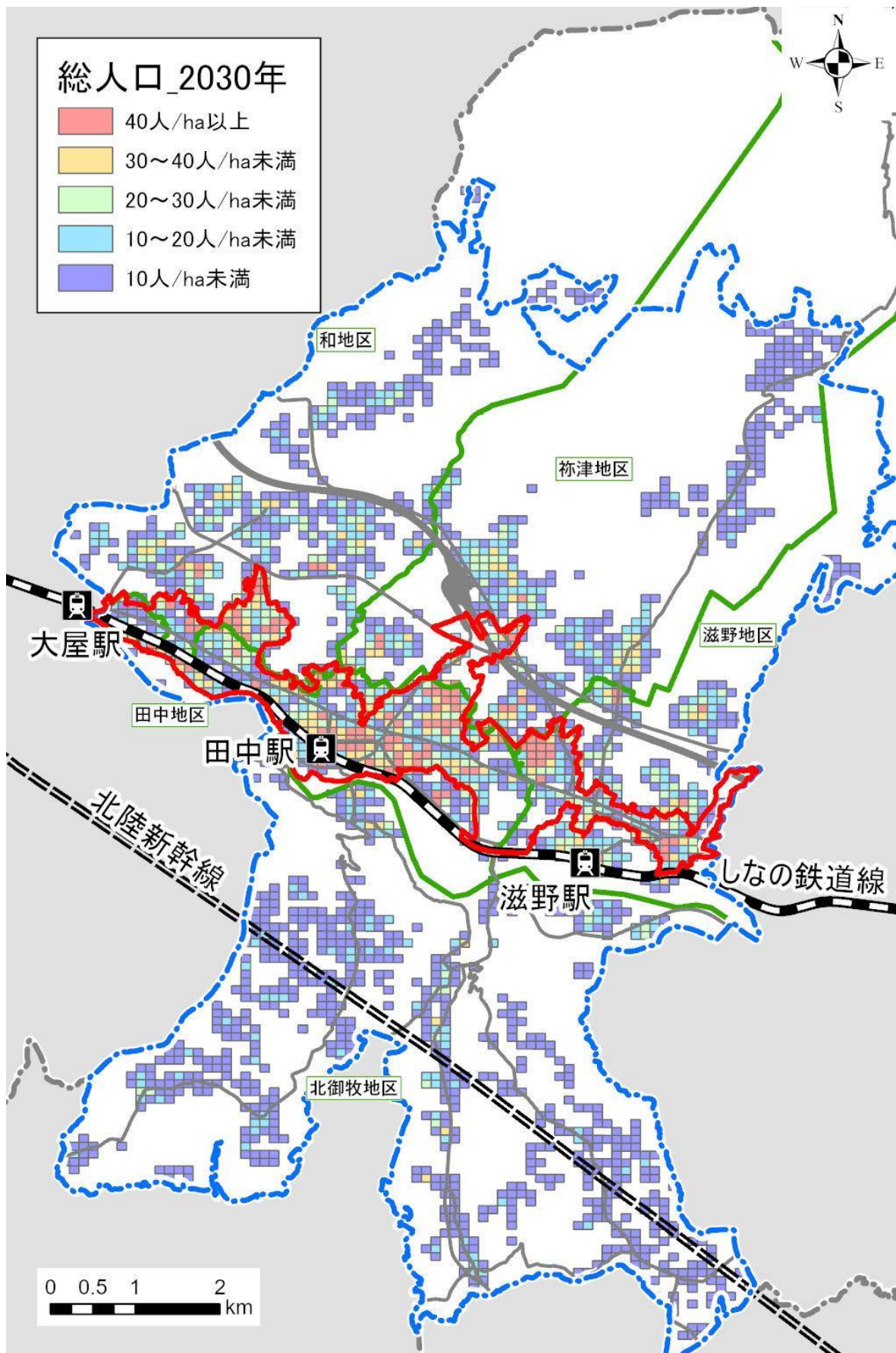
資料：令和2年国勢調査(総務省統計局)

日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計)(国立社会保障・人口問題研究所)



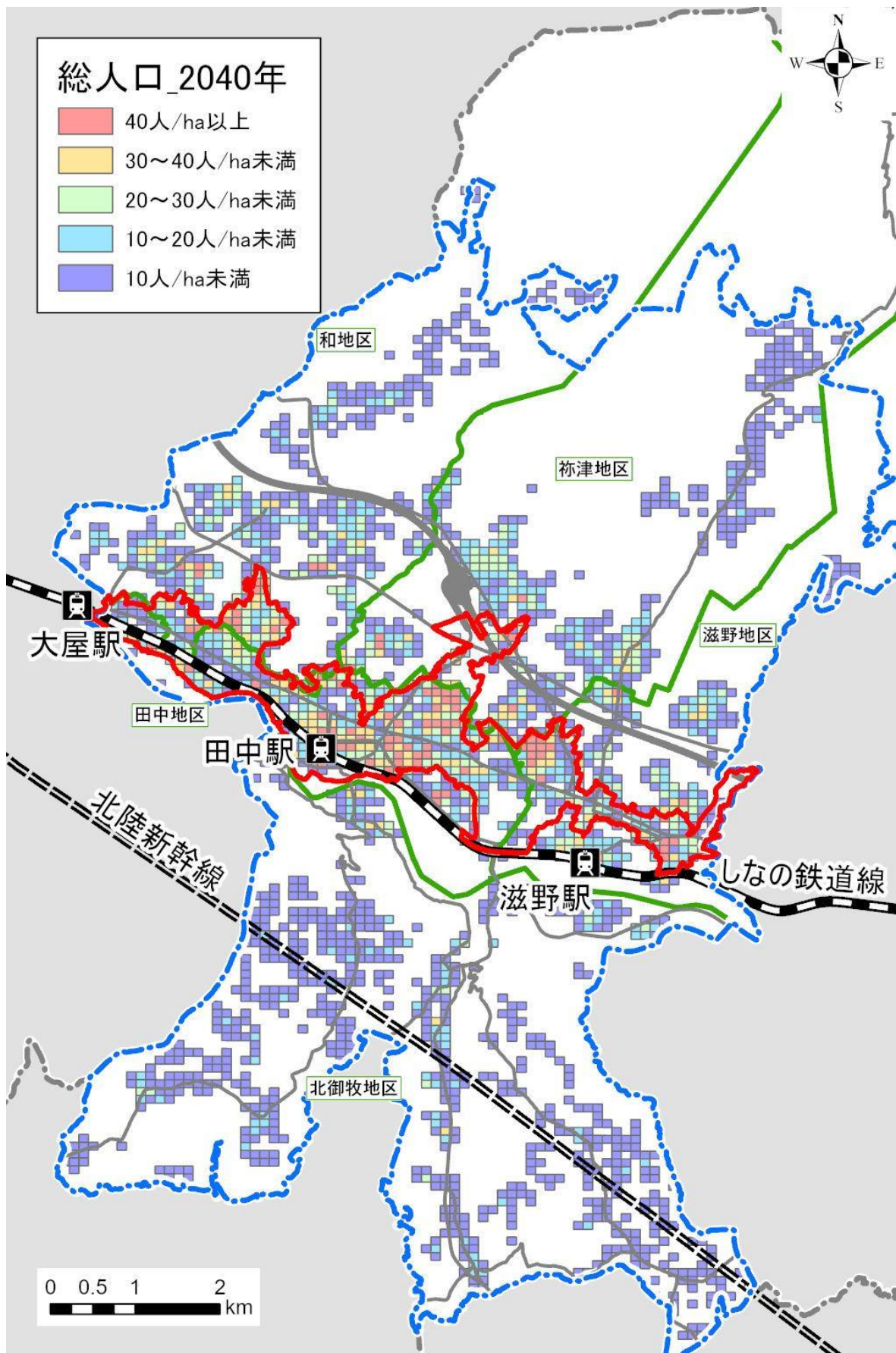
メッシュ別人口の分布 [令和2年(2020年)]

資料：令和2年国勢調査（総務省統計局）



メッシュ別人口の分布 [令和 12 年(2030 年)]

資料：日本の地域別将来推計人口（令和 5 年（2023 年）推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

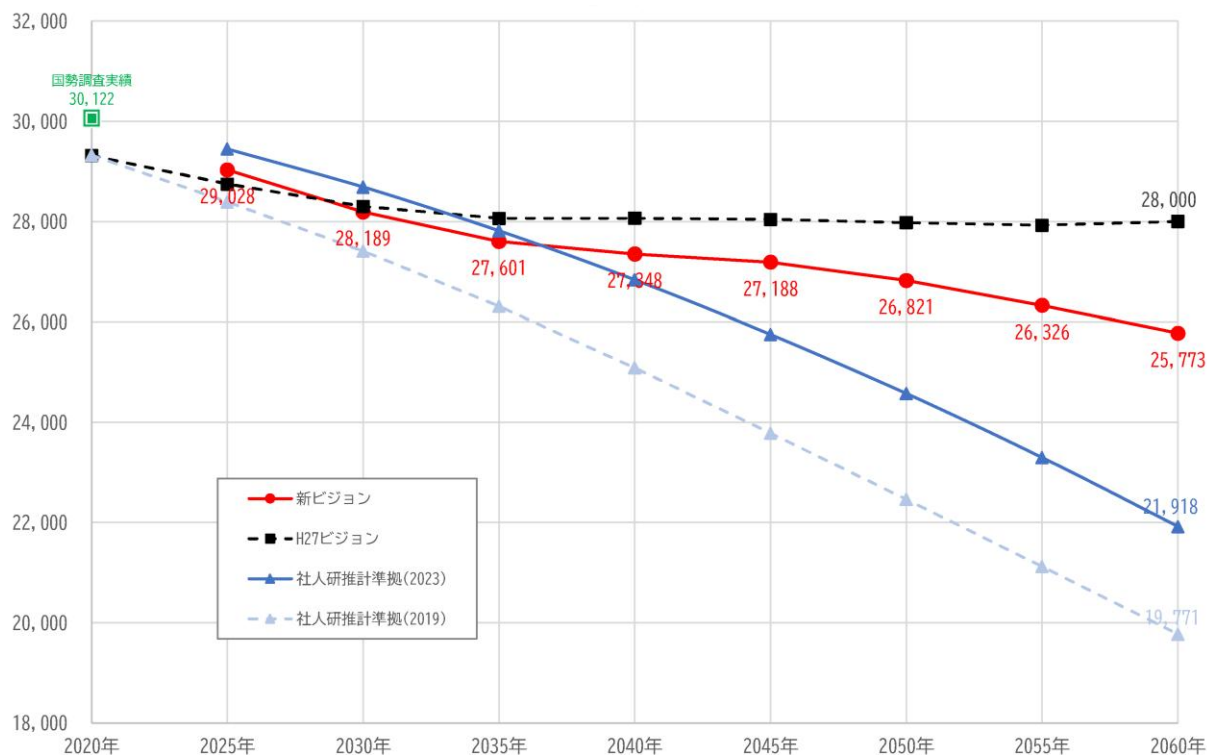


メッシュ別人口の分布 [令和 22 年(2040 年)]

資料：日本の地域別将来推計人口（令和 5 年（2023 年）推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

(7) 人口ビジョンにおける将来展望人口(目標人口)

本市では、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に基づく、「まち・ひと・しごと創生東御市総合戦略」の策定に伴い人口ビジョンを定めており、令和 42 年（2060 年）の目標人口を 26,000 人としています。



東御市人口ビジョンによる独自推計

資料：東御市人口ビジョン第3版（東御市）

(8) 都市計画区域内、用途地域内人口

平成22年(2010年)から10年間の人口推移をみると、市全体の人口が1.9%減にとどまっているのに対し、用途地域内の人口は14.6%減の13,385人となっています。また、用途地域の人口密度においても22.9人/haから19.6人/haに減少しています。

都市計画区域内、用途地域内の人口推移

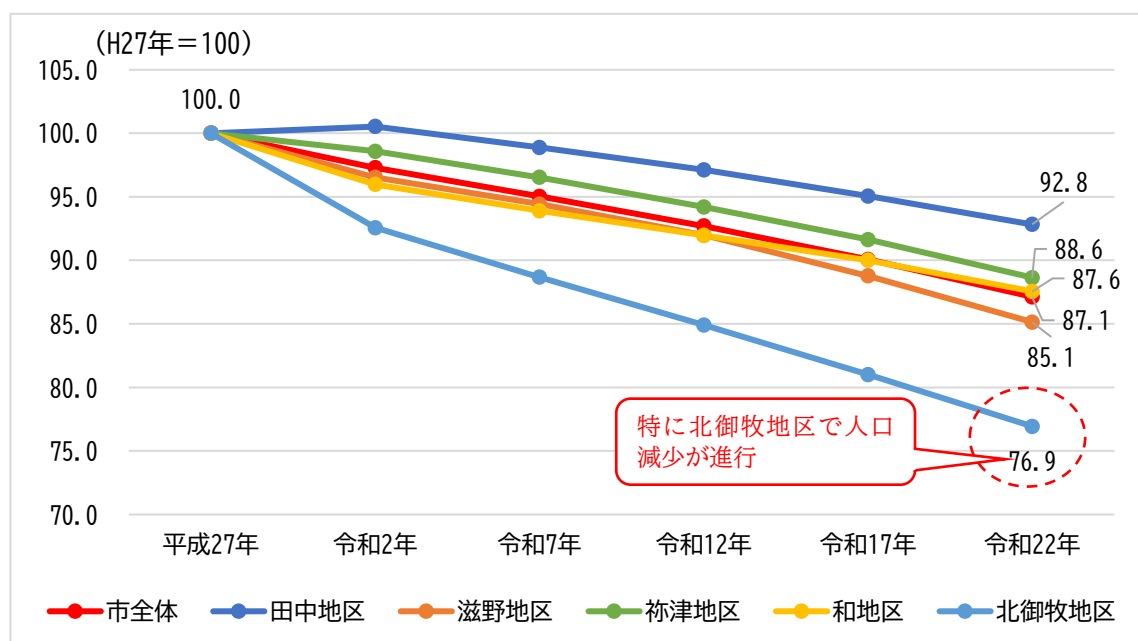
年	用途地域			都市計画区域		都市計画区域外		合計	
	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)	面積 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)	人口 (人)
平成22年	684.0	15,672	22.9	7,441.8	30,681	3,788.2	15	11,230.0	30,696
平成27年	684.0	13,338	19.5	7,441.8	30,098	3,795.2	9	11,237.0	30,107
令和2年	684.0	13,385	19.6	7,441.8	30,112	3,795.2	10	11,237.0	30,122

資料：令和元年度、令和6年度東御市都市計画基礎調査

(9) 地域別人口の推移

平成27年(2015年)、令和2年(2020年)の地区別人口(住民基本台帳人口)を整理するとともに、社人研推計(R5推計)に準拠したコーホート要因法により、令和7年(2025年)から令和22年(2040年)までの地区別将来人口(住民基本台帳人口ベース)を推計しました。

下図では、平成27年(2015年)の地区別人口を“100”とした場合の令和22年(2040年)までの25年間の推移を指数で示しています。市全体では令和22年(2040年)時点で“87.1”となっており、地区別にみると、滋野地区、北御牧地区では市全体の数値を下回る見通しで、特に北御牧地区で人口減少が進行すると予測されます。



地区別人口指数の推移

資料：【H27・R2】住民基本台帳人口(各年10月1日現在)(東御市)再編加工

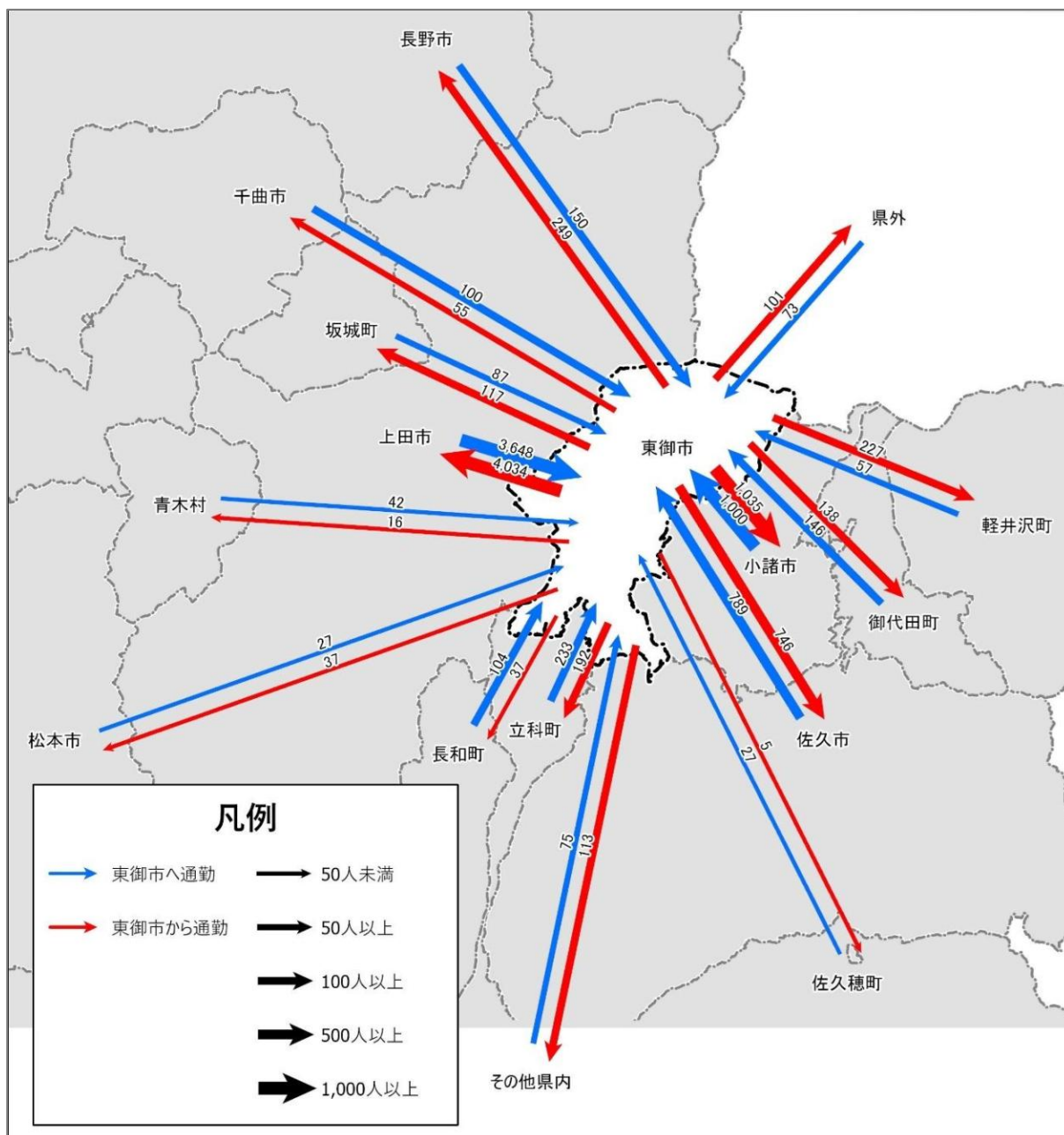
【R7~R22】社人研推計(R5推計)に準拠したコーホート要因法による独自推計(住民基本台帳人口ベース)

(10) 通勤通学流動

居住地・従業地別の就業者数と居住地・通学地別の通学者数をみると、どちらも「市内からの流出」が「市内への流入」を上回っています。

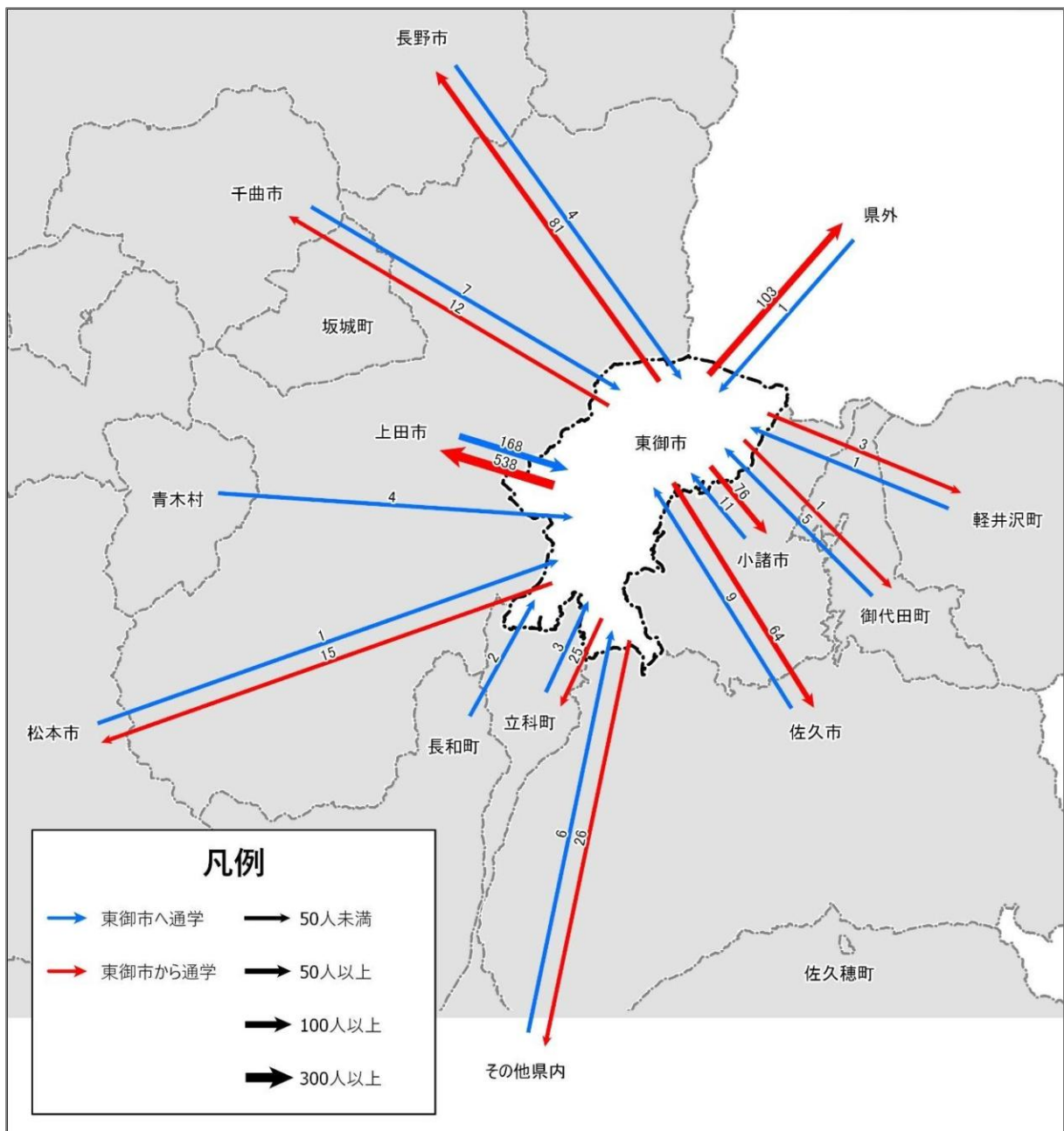
就業人口では、特に上田市との流動（流出：4,034人、流入：3,648人）が多く、次点の小諸市（流出：1,035人、流入：1,000人）と比べて突出しており、上田市との繋がりが深いことがうかがえます。

また、通学人口においても上田市との流動（流出：538人、流入：168人）が突出して多く、次いで小諸市（流出：76人、流入11人）、長野市（流出：81人、流入4人）、佐久市（流出64人、流入9人）と続いています。



就業人口の流動

資料：令和2年（2020年）国勢調査（総務省統計局）再編加工



通学人口の流動

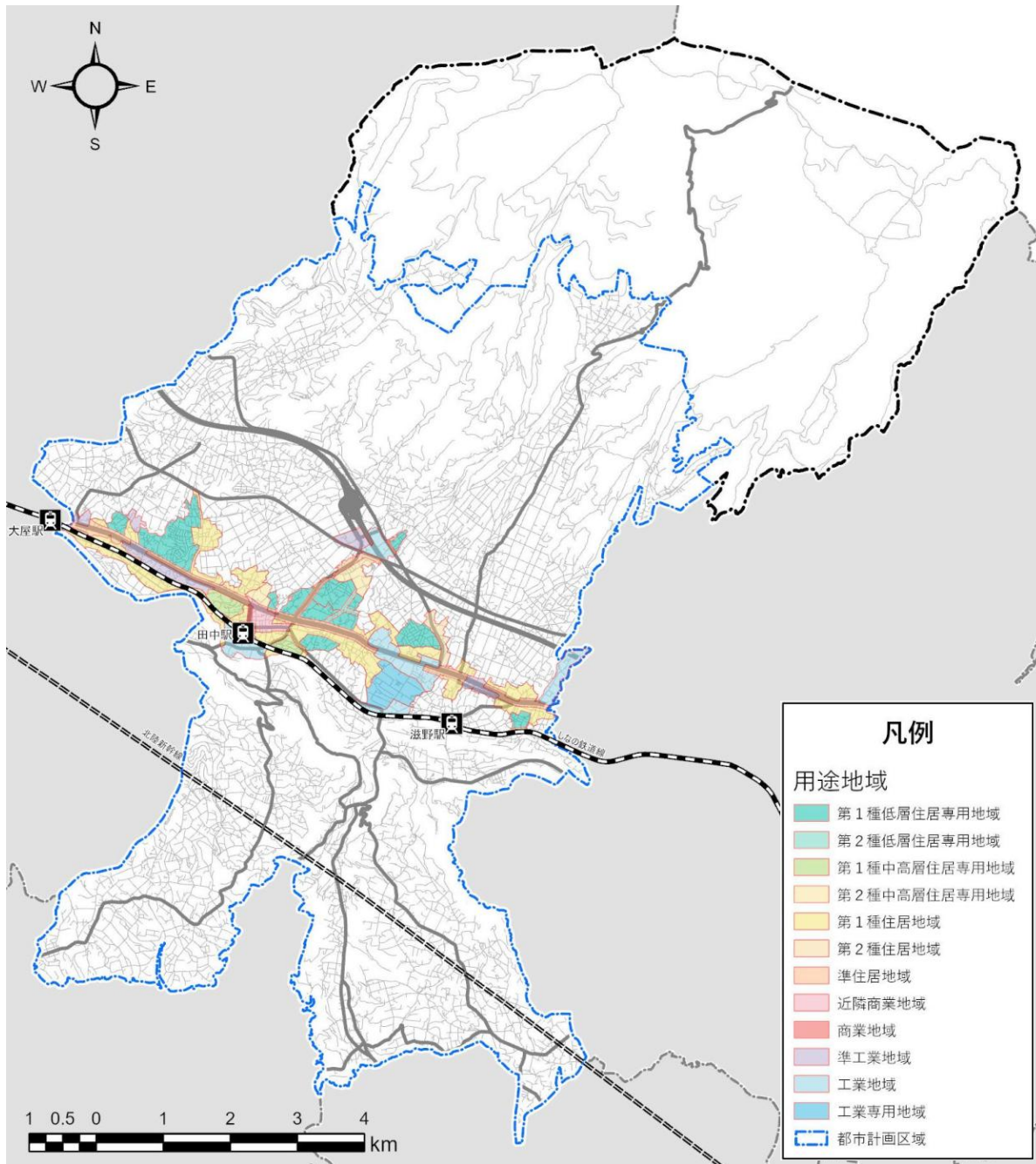
資料：令和2年（2020年）国勢調査（総務省統計局）再編加工

3. 土地利用

(1) 法規制状況

地域地区の指定をみると、国道18号線や主要地方道丸子東部インター線、しなの鉄道に沿って用途地域が指定されています。

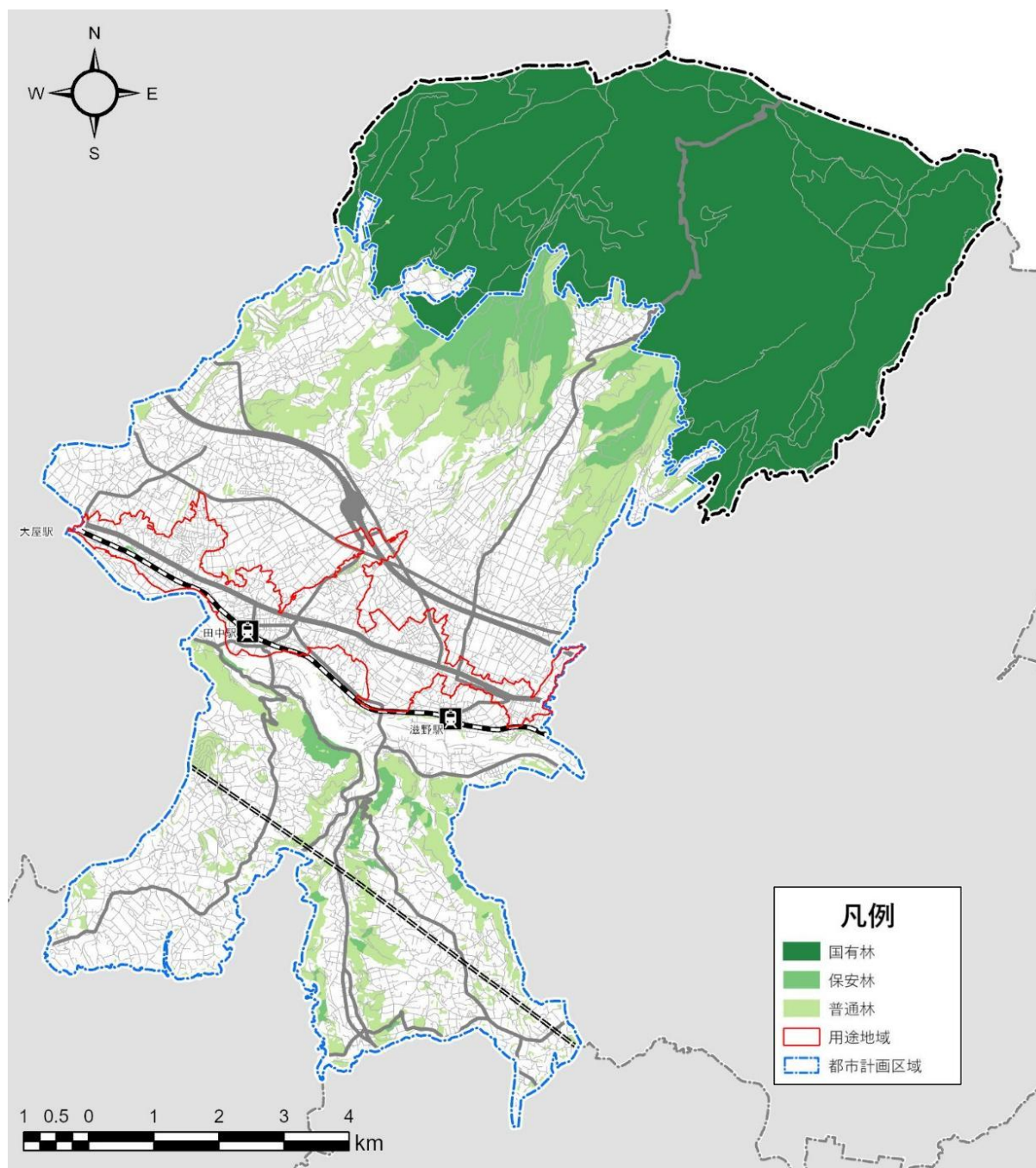
都市計画 区域名	当初 決定 年月日	最終 決定 年月日	第1種 低層住 居専用 地域	第2種 低層住 居専用 地域	第1種 中高層 住居専 用地域	第2種 中高層 住居専 用地域	第1種 住居 地域	第2種 住居 地域	準住居 地域	田園 住居 地域	近隣 商業 地域	商業 地域	準工業 地域	工業 地域	工業 専用 地域	計
東御	S53.1.20	H3.7.4	145.0	6.0	22.0	23.0	193.0	13.0	75.0	0.0	16.0	5.0	50.0	97.0	39.0	684.0



地域地区の指定現況

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査再編加工

森林の土地として利用し、林業の振興または森林の有する諸機能の維持増進を図る地域である森林地域については、市北部の山岳地帯、御牧原台地や八重原台地の縁辺部が該当しています。また、市北部の都市計画区域外の山岳地帯では国有林が広く分布しており、都市計画区域内では、土砂崩壊の対策のために立木の伐採や土地の形質の変更等が規制される保安林が分布しています。

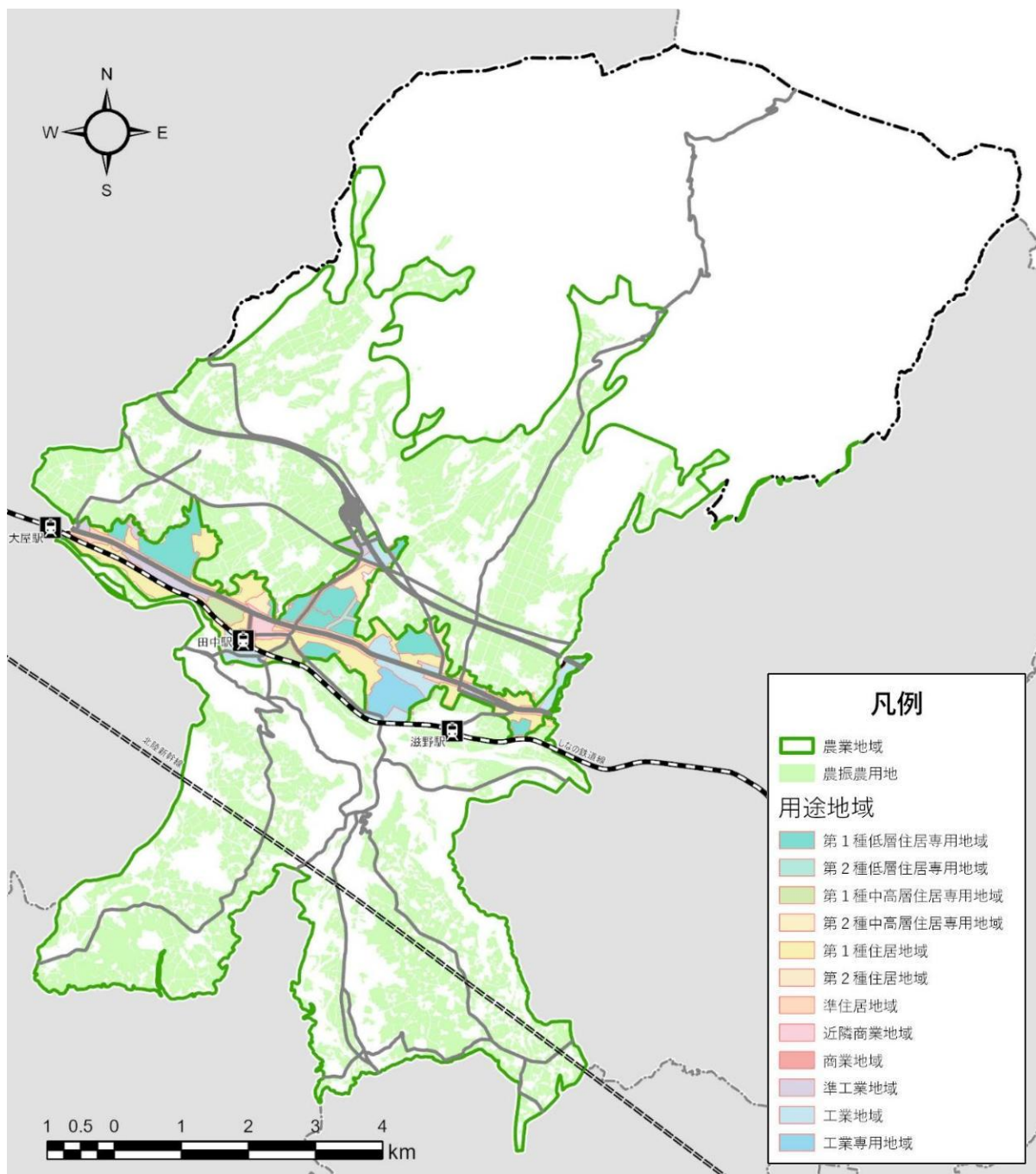


森林地域の現況

資料：国土数値情報 森林地域データ（国土交通省）、令和6年度 東御市都市計画基礎調査再編加工

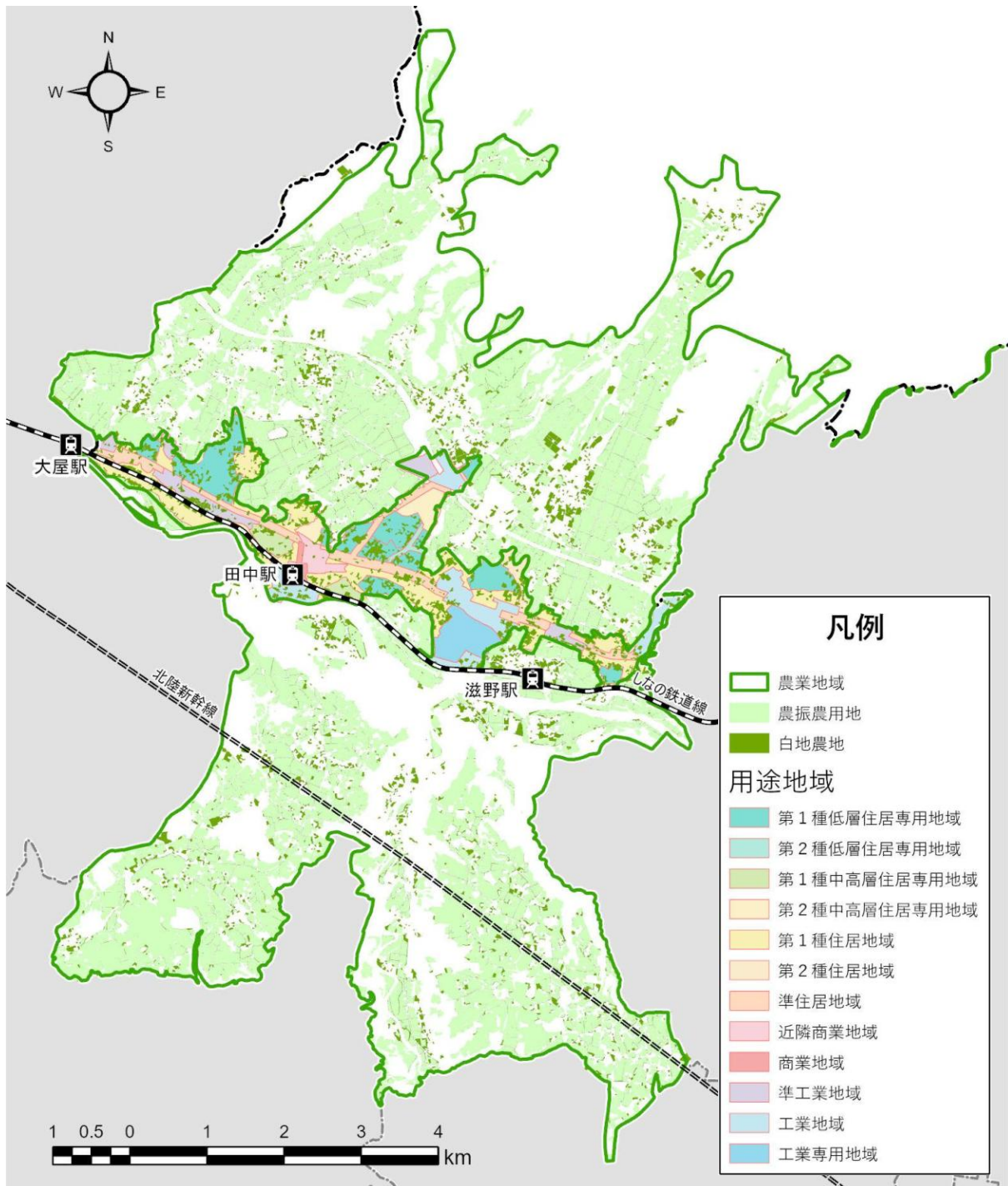
農業振興地域の整備に関する法律に基づいて、農業の振興を図るために確保すべき土地である農振農用地については、市街地の用途地域や北部の山岳地帯を除き、市内の広範囲が指定されています。

また、農振農用地以外の農地（白地農地）市全域に広く分布しています。



農業地域、農振農用地の現況

資料：国土数値情報 農業地域データ（国土交通省）、令和6年度農振農用地データ（東御市）再編加工



白地農地の現況

資料：国土数値情報 農業地域データ（国土交通省）、令和6年度農振農用地データ（東御市）、
令和6年度 東御市都市計画基礎調査（東御市）再編加工

(2) 土地利用現況

都市計画区域における土地利用の状況は、区域面積7,441.8haの75.0%が自然的土地利用であり、都市的土地利用は25.0%となっています。

用途地域指定区域においては、区域面積684haのうち都市的土地利用が76.6%を占め、自然的土地利用は23.4%であり、可住地面積は区域面積の66.9%にあたる457.8haです。

土地利用面積 (ha)

区域区分		用途地域 指定区域	用途地域 指定外区域	都市計画区域 合計
自然的 土地 利用	田	12.0	1,132.5	1,144.5
	畑	103.5	1,370.8	1,474.3
	農地計	115.5	2,503.3	2,618.8
	山林	21.5	2,410.2	2,431.7
	水面	4.8	129.2	134.0
	その他の自然地	18.4	378.8	397.2
	計	160.2	5,421.5	5,581.7
都市的 土地 利用	住宅用地	215.5	487.9	703.4
	商業用地	49.3	40.3	89.6
	工業用地	76.8	80.1	156.9
	宅地計	341.6	608.3	949.9
	農林漁業施設用地	0.8	31.1	31.9
	公益施設用地	37.2	66.7	103.9
	道路用地	83.8	387.3	471.1
	交通施設用地	12.6	27.9	40.5
	公共空地	16.1	38.6	54.7
	その他公的施設用地	0.0	0.0	0.0
	その他の空地① (ゴルフ場)	0.0	72.5	72.5
	その他の空地② (太陽光発電のシステムを直接整備している土地)	10.8	33.3	44.1
	その他の空地③ (平面駐車場)	8.8	6.7	15.5
	その他の空地④ (その他の空地①～③以外の都市的土地利用)	12.1	63.9	76.0
計	523.8	1,336.3	1,860.1	
不明	0.0	0.0	0.0	
合計	684.0	6,757.8	7,441.8	
可住地		457.8	5,733.8	6,191.6
非可住地		226.2	1,024.0	1,250.2
低未利用土地		5.3	14.4	19.7

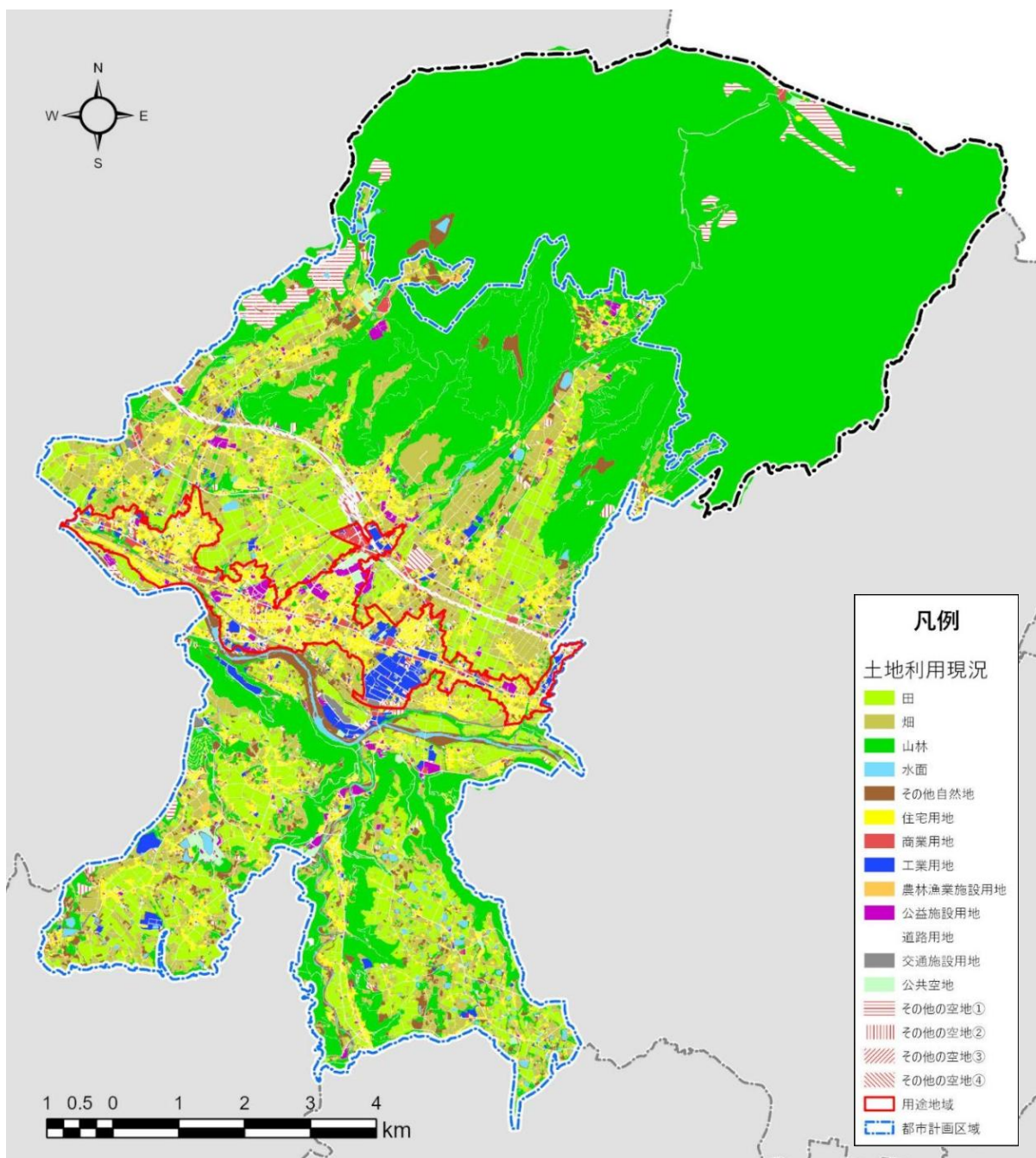
※非可住地は以下のとおりとする。

「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」のうち、敷地面積が1ha以上の大規模施設用地、「公益施設用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「公共空地」、「その他公的施設用地」、これらのほか、土地利用状況に関係なくすべての工業専用地域

※可住地、非可住地、低未利用土地は不明を含まない。

※可住地、非可住地、低未利用土地については内数として集計する。

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



土地利用現況

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

※都市計画区域外は、令和元年度 都市計画基礎調査

(3) 建物新築動向

令和元年（2019年）から令和5年（2023年）にかけての都市計画区域内における新築件数は861件となっています。用途別にみた件数の比率は住宅用地84.4%、商業用地5.0%、工業用地2.7%、公共用地1.2%、その他6.7%となっています。

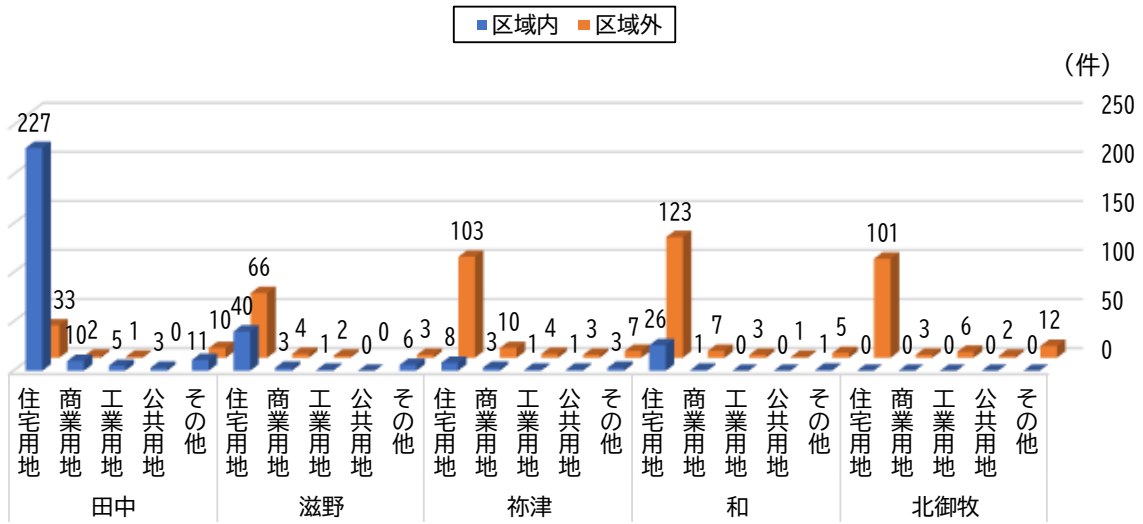
また、用途地域指定区域内の新築状況については、新築件数350件のうち住宅が301件で86.0%を占めています。

用途地域指定区域内の新築件数を地区別にみると田中地区が256件で最も多く、次いで滋野地区50件、和地区28件、祢津地区16件となっています。

建物新築動向（件）

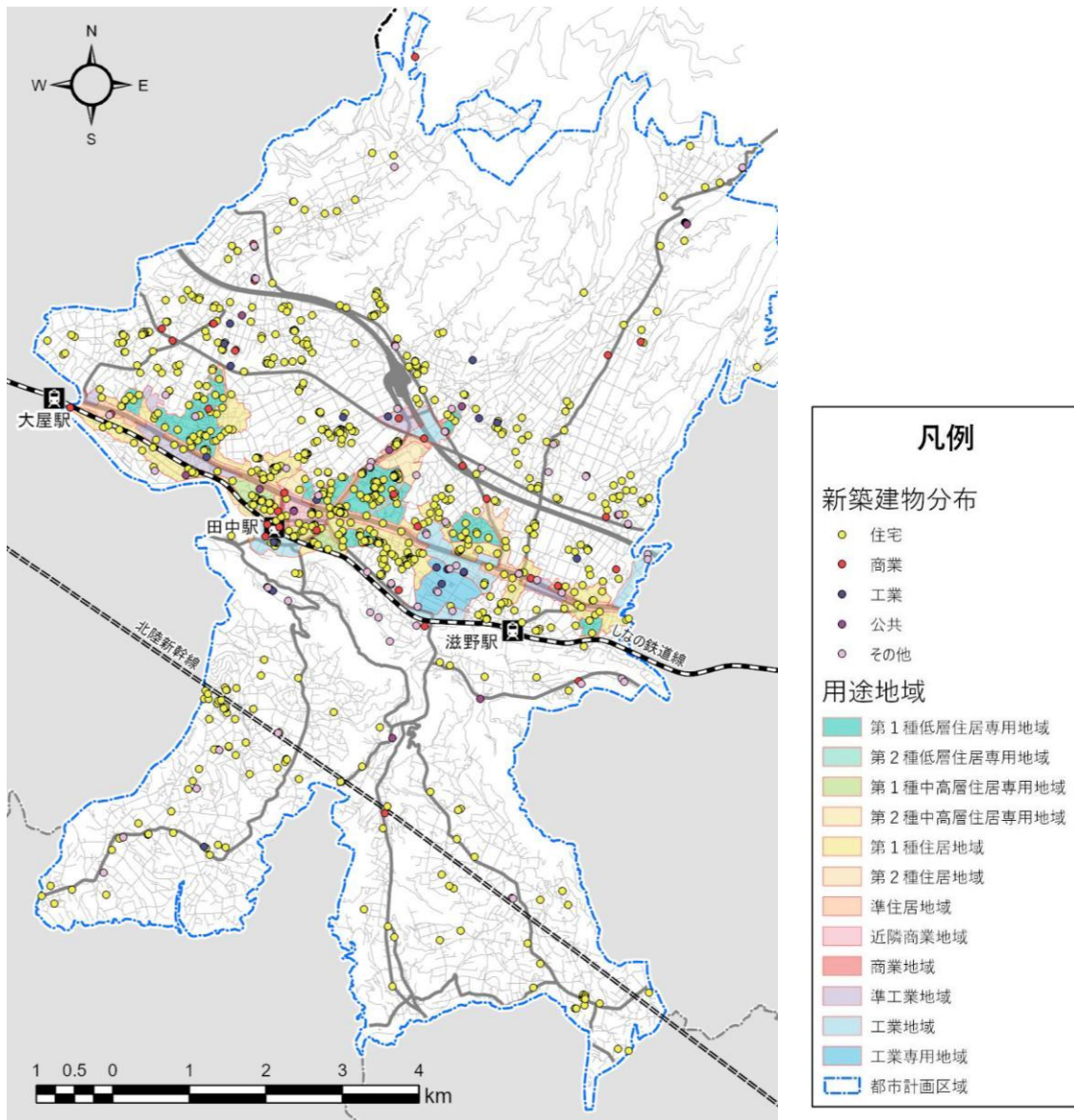
地区	用途地域	住宅用地	商業用地	工業用地	公共用地	その他	合計
田中	区域内	227	10	5	3	11	256
	区域外	33	2	1	0	10	46
	計	260	12	6	3	21	302
滋野	区域内	40	3	1	0	6	50
	区域外	66	4	2	0	3	75
	計	106	7	3	0	9	125
祢津	区域内	8	3	1	1	3	16
	区域外	103	10	4	3	7	127
	計	111	13	5	4	10	143
和	区域内	26	1	0	0	1	28
	区域外	123	7	3	1	5	139
	計	149	8	3	1	6	167
北御牧	区域内	0	0	0	0	0	0
	区域外	101	3	6	2	12	124
	計	101	3	6	2	12	124
合計	区域内	301	17	7	4	21	350
	区域外	426	26	16	6	37	511
	計	727	43	23	10	58	861

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



建物新築動向

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



新築建物分布

資料：令和6年 東御市都市計画基礎調査

(4) 農地転用の状況

本市における農地転用の状況は、令和元年（2019年）から令和5年（2023年）までの5年間で732件、面積344,610㎡であり、そのうち用途地域指定区域が270件、面積が125,687㎡、用途地域指定外区域が462件、面積が218,923㎡となっています。

転用の目的別では、用途地域指定区域、用途地域指定外区域ともに住宅用地として転用されているものが多く、用途地域指定区域では151件、56,868㎡、用途地域指定外区域では177件、66,017㎡となっています。

農地転用の状況

転用用途 区域区分	住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年末の 農地面積 (㎡)	
	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)		
用途地域 指定区域	R1	26	9,524	1	238	0	0	20	8,320	47	18,082	1,256,196
	R2	36	13,836	9	6,329	0	0	26	17,637	71	37,802	1,218,394
	R3	28	10,993	0	0	0	0	43	27,923	71	38,916	1,179,477
	R4	44	16,548	0	0	1	707	13	6,199	58	23,454	1,156,024
	R5	17	5,967	0	0	0	0	6	1,466	23	7,433	1,148,591
	合計	151	56,868	10	6,567	1	707	108	61,545	270	125,687	-
用途地域 指定外区域	R1	32	8,544	0	0	0	0	30	11,231	62	19,775	25,286,841
	R2	39	15,294	4	3,037	0	0	61	40,913	104	59,244	25,227,597
	R3	36	15,879	1	730	0	0	60	27,893	97	44,501	25,183,096
	R4	36	11,350	6	1,031	2	1,215	60	33,785	104	47,382	25,135,714
	R5	34	14,950	0	0	12	1,352	49	31,719	95	48,021	25,087,693
	合計	177	66,017	11	4,798	14	2,567	260	145,541	462	218,923	-
合計	R1	58	18,068	1	238	0	0	50	19,551	109	37,857	26,543,037
	R2	75	29,130	13	9,366	0	0	87	58,550	175	97,046	26,445,991
	R3	64	26,872	1	730	0	0	103	55,816	168	83,418	26,362,573
	R4	80	27,898	6	1,031	3	1,922	73	39,984	162	70,835	26,291,738
	R5	51	20,917	0	0	12	1,352	55	33,185	118	55,454	26,236,284
	合計	328	122,885	21	11,365	15	3,274	368	207,086	732	344,610	-

※記載データは、4条及び5条が対象。（一時転用含む）なお、各転用目的別用途と農地転用許可申請資料（農業委員会）の項目との対照は以下のとおり。

住宅用地＝農家住宅、一般個人住宅、集合住宅、店舗併用住宅その他

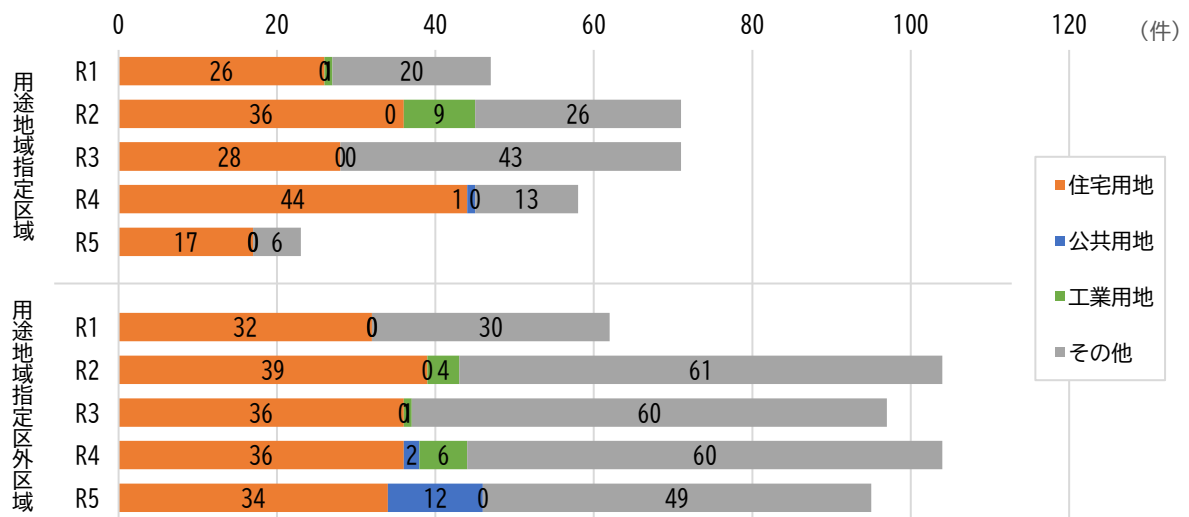
工業用地＝流通業務施設、加工施設、その他工業用地

公共用地＝道水路、鉄道用地、官公署・病院等公共施設用地

その他＝商業施設、農林漁業施設、一時転用、家庭菜園、太陽光発電施設、宅地造成・拡張等、通路、駐車場、資材置場、作業場、車庫、倉庫、その他分類不能

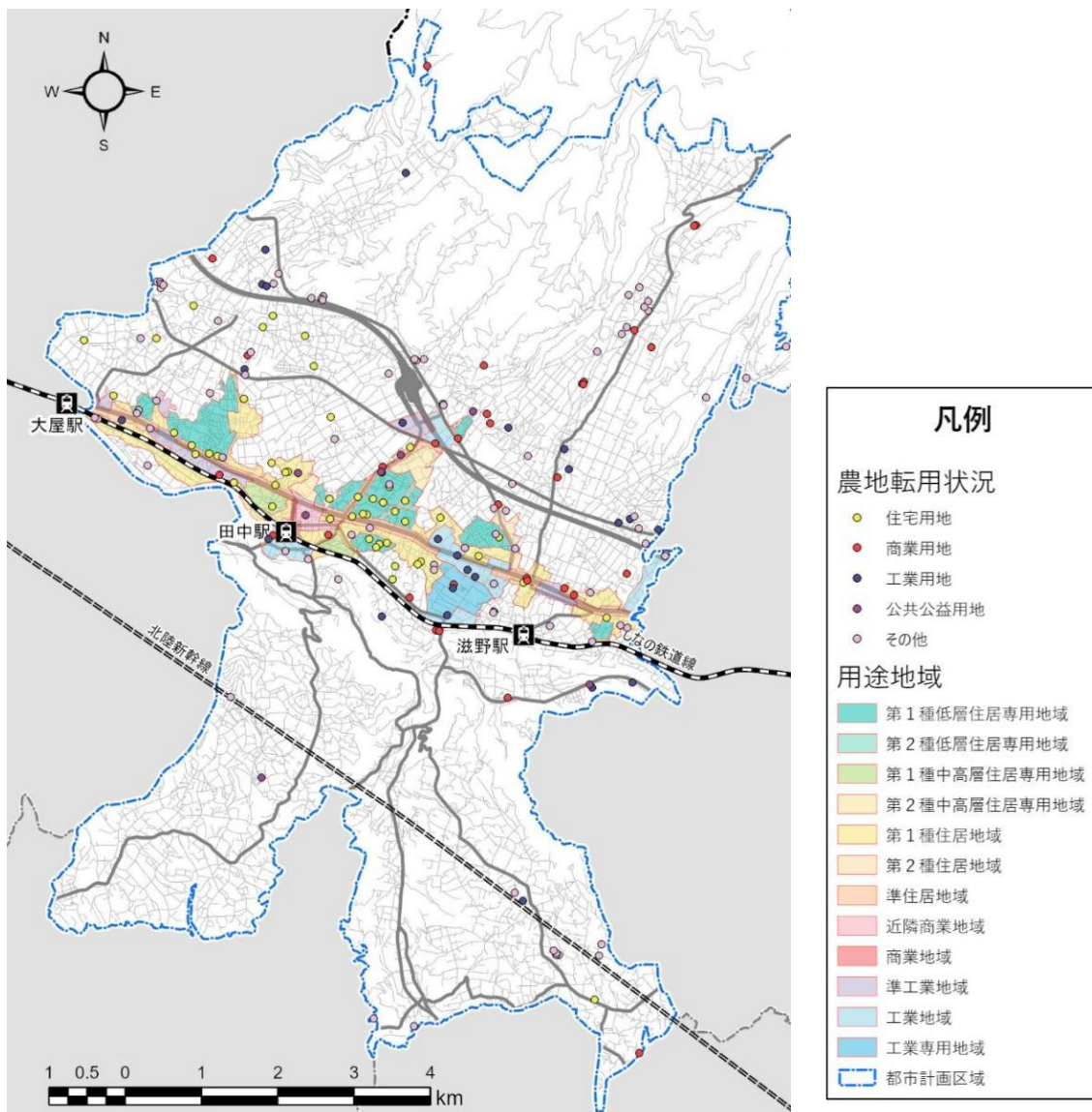
注) 小数点の端数処理の関係から、合計が合わない場合があります。

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



農地転用の状況

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



農地転用の分布

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

(5) 空き家・空地の分布状況

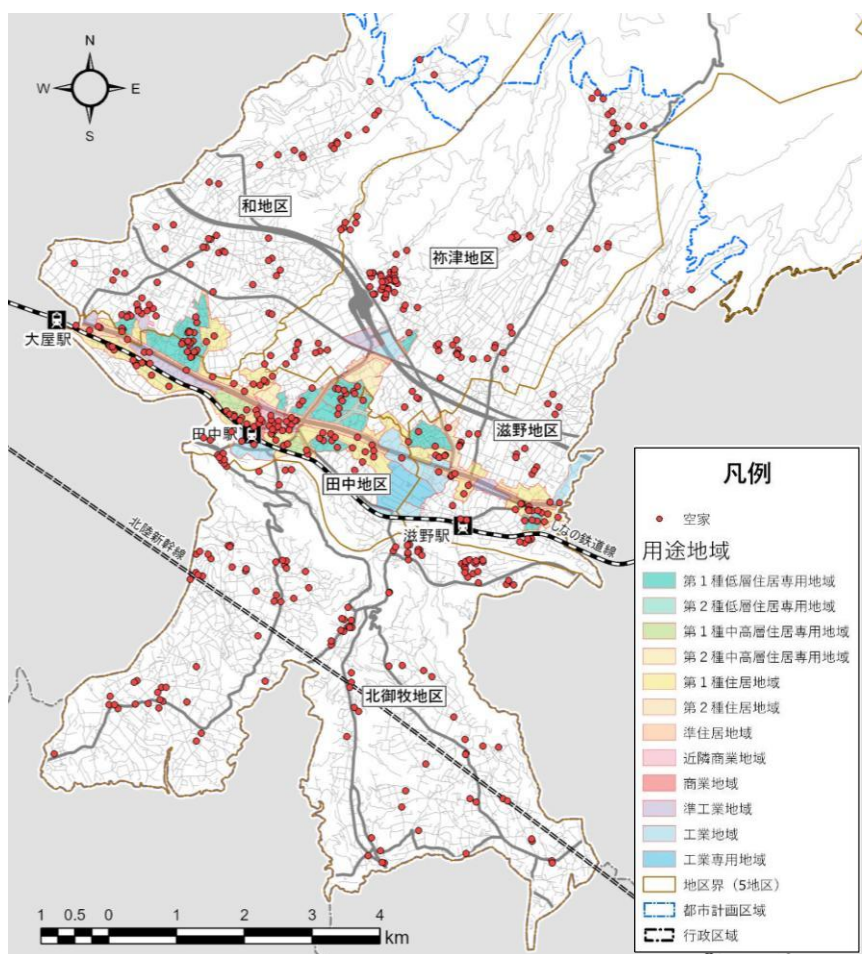
本市における空き家・空地の分布状況は、空家が479件、空地（低未利用地）が19.7haとなっており、用途地域指定区域や用途地域指定区域外周辺に多く点在しています。

地区別では、空地は北御牧地区が139件と最も多く、次いで田中地区が103件、祢津地区が98件となっています。空地は、北御牧地区が5.9haと最も多く、次いで祢津地区が4.2ha、田中地区が3.2haとなっています。

空き家・空地の状況

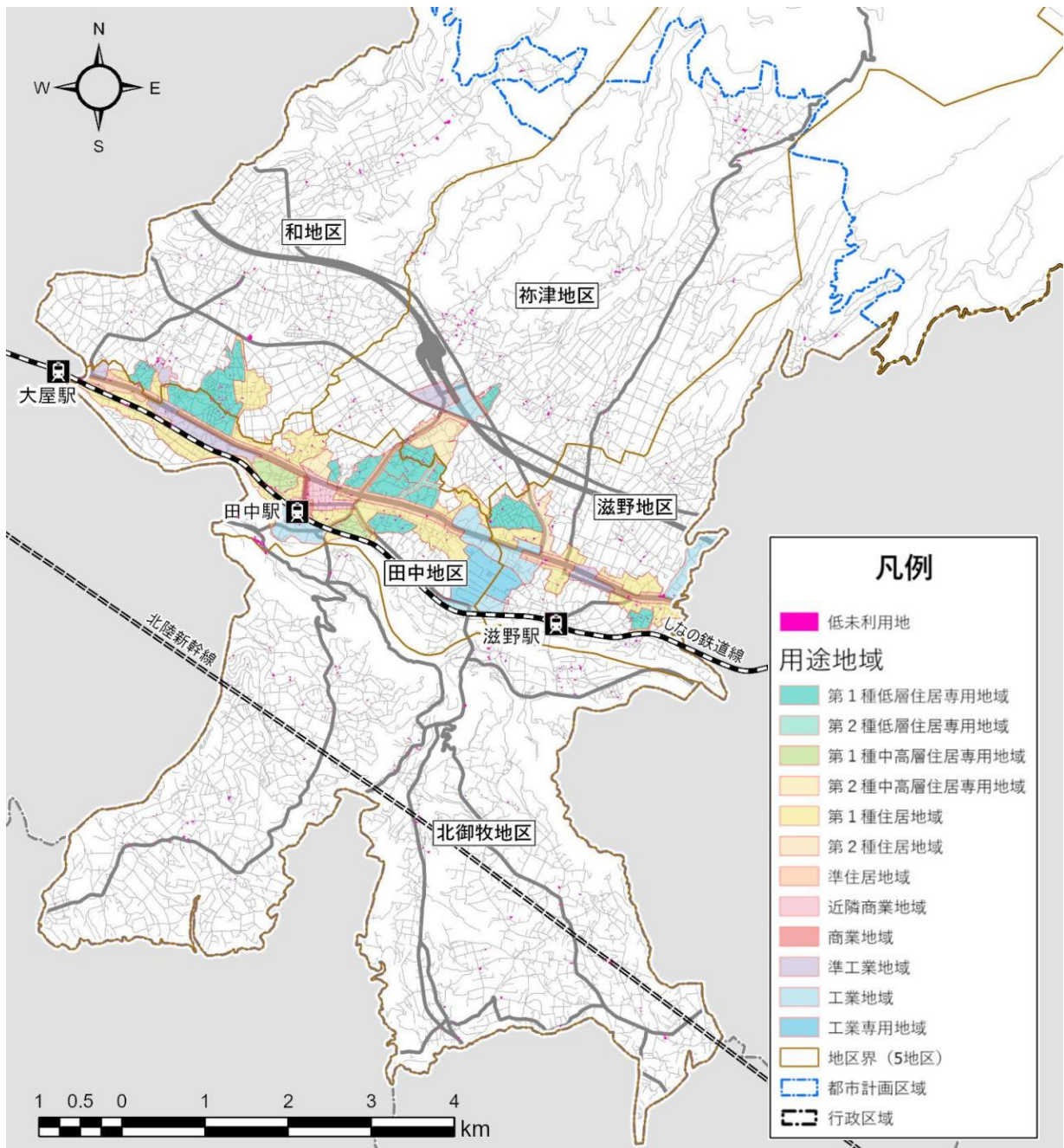
地区	空家		低未利用地	
	件	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
田中	103	21.5	3.2	16.2
滋野	58	12.1	2.6	13.1
祢津	98	20.5	4.2	21.3
和	81	16.9	3.8	19.5
北御牧	139	29.0	5.9	30.0
合計	479	100.0	19.7	100.0

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



空き家の分布

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



空地の分布

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

4. 都市機能

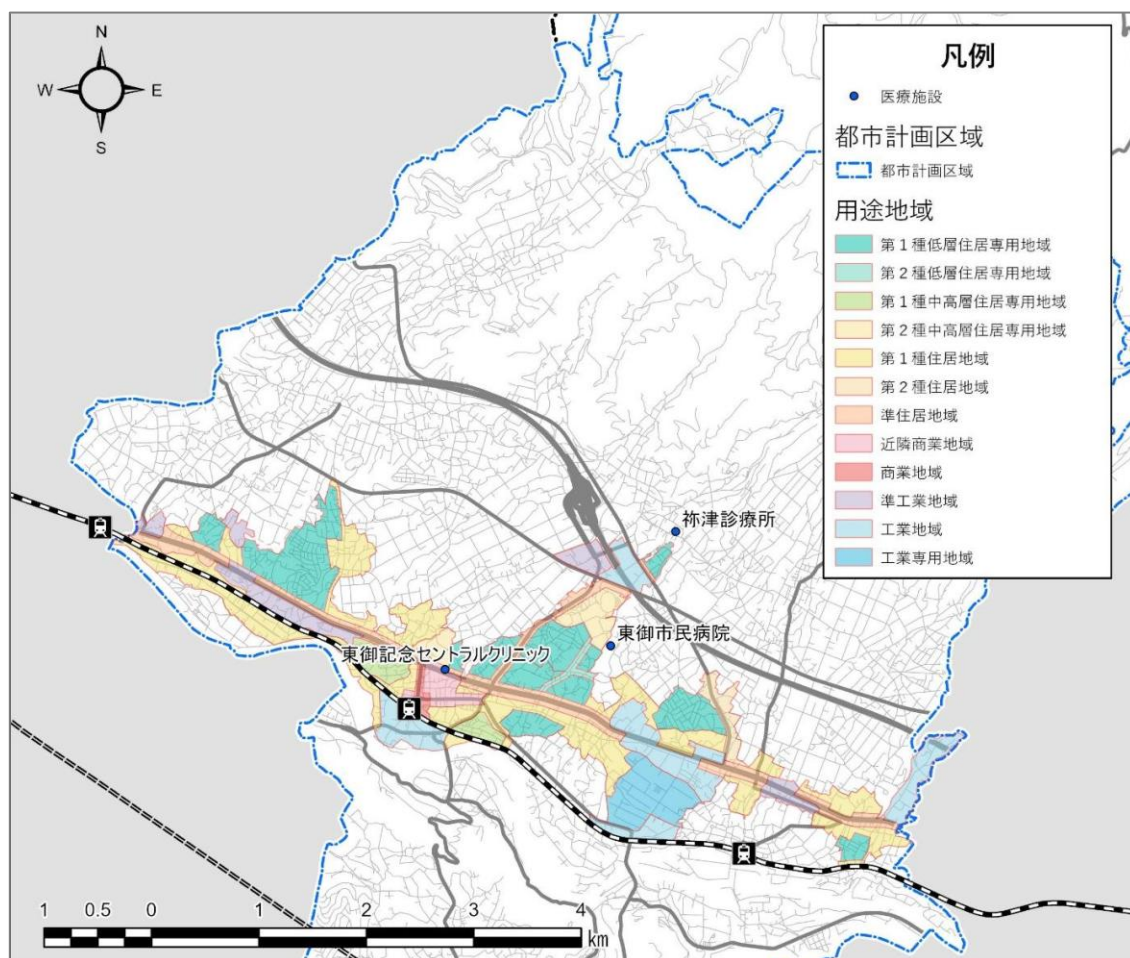
(1) 医療施設の分布

本市の一般病床を保有する医療施設をみると、病院が1施設、一般診療所が2施設あります。徒歩圏は、用途地域の中央部を除く広いエリアがカバーされていない状況となっています。

医療施設の立地状況

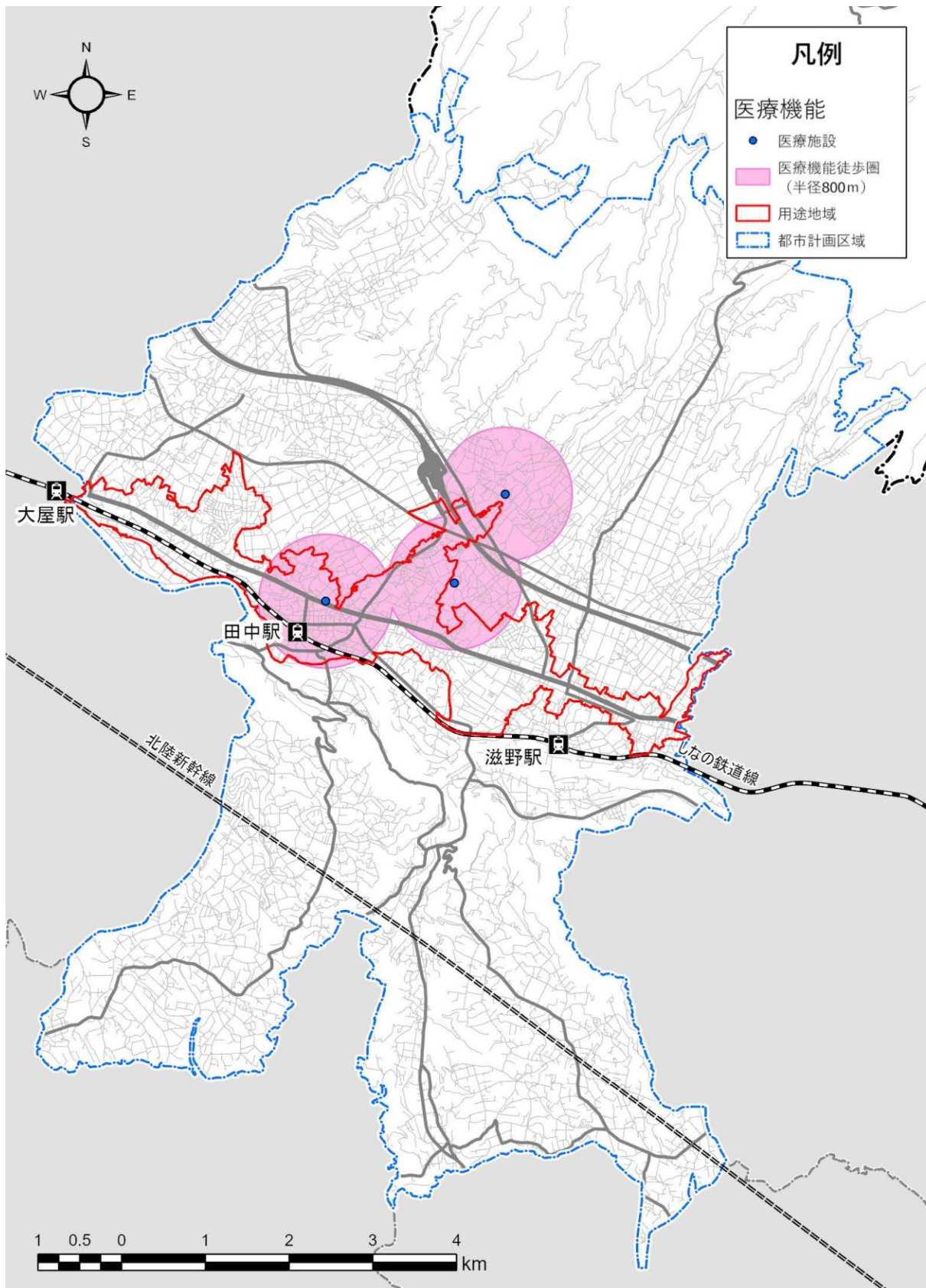
No.	医療機関名	住所	一般病床数	診療科目
1	東御市民病院	東御市鞍掛198	60	内科 小児科 外科 整形外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 アレルギー科 リハビリテーション科 泌尿器科(人工透析)
2	東御記念セントラルクリニック	東御市県165-1	19	内科 消化器科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 肛門科 心療内科 リハビリテーション科 消化器内科 糖尿病内科 乳腺外科
3	祢津診療所	東御市祢津343-2	9	内科 精神科 神経科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 整形外科 皮膚科 心療内科 リハビリテーション科 呼吸器内科

資料：地域医療情報システム（公益社団法人日本医師会）



医療施設の分布

資料：地域医療情報システム（公益社団法人日本医師会）再編加工



医療施設の徒歩圏の状況

資料：地域医療情報システム（公益社団法人日本医師会）再編加工

(2) 商業施設の分布

本市では、スーパーマーケットが5店舗、ドラッグストアが1店舗、ホームセンターが1店舗の計7店舗が大規模小売店舗立地法に基づく届出を行っています。

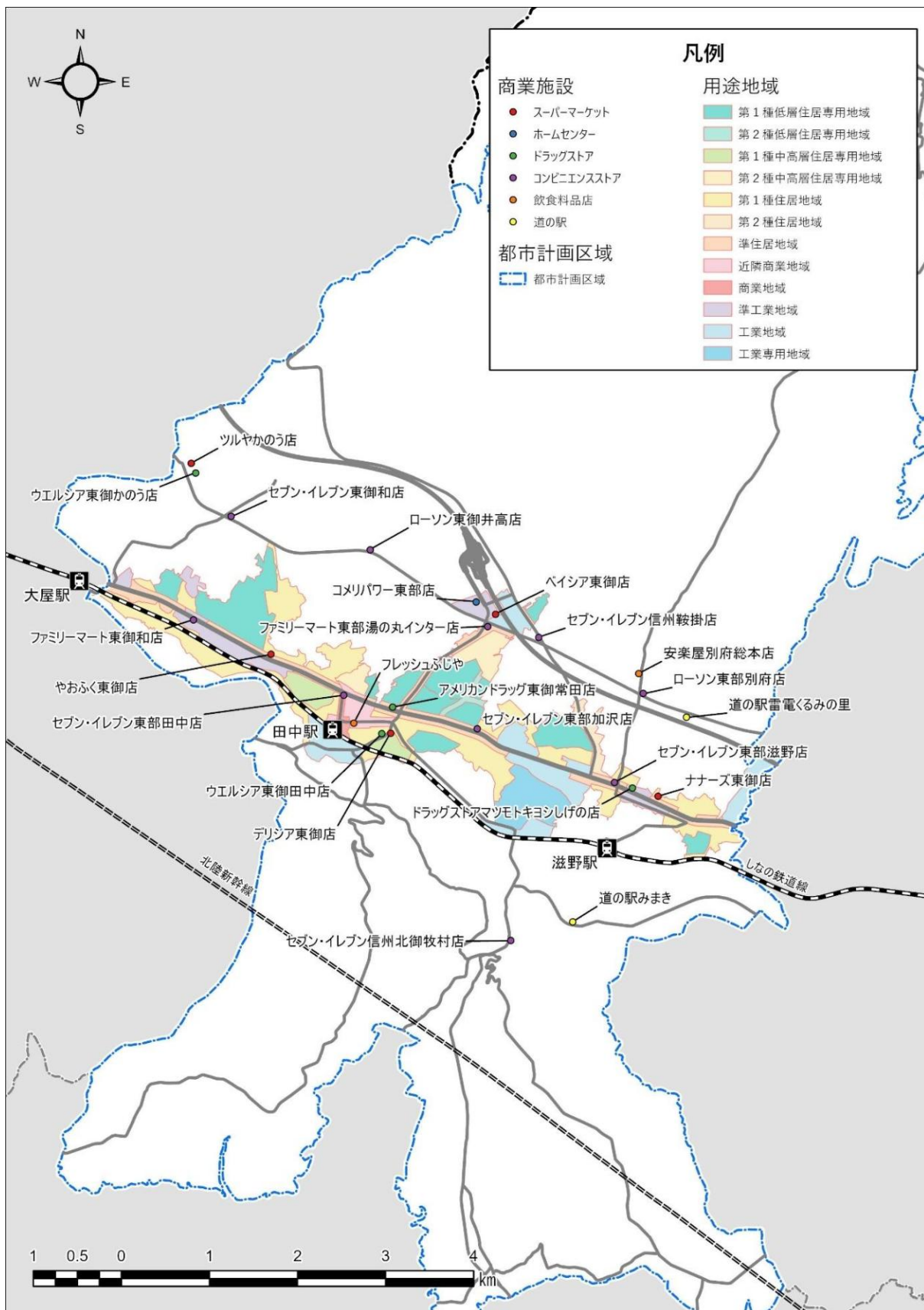
商業施設の分布をみると、主要地方道小諸上田線（浅間サンライン）や用途地域がある国道18号線の周辺に多く分布していることが分かります。

徒歩圏は、用途地域のほぼ全域がカバーされている状況となっています。

商業施設の立地状況

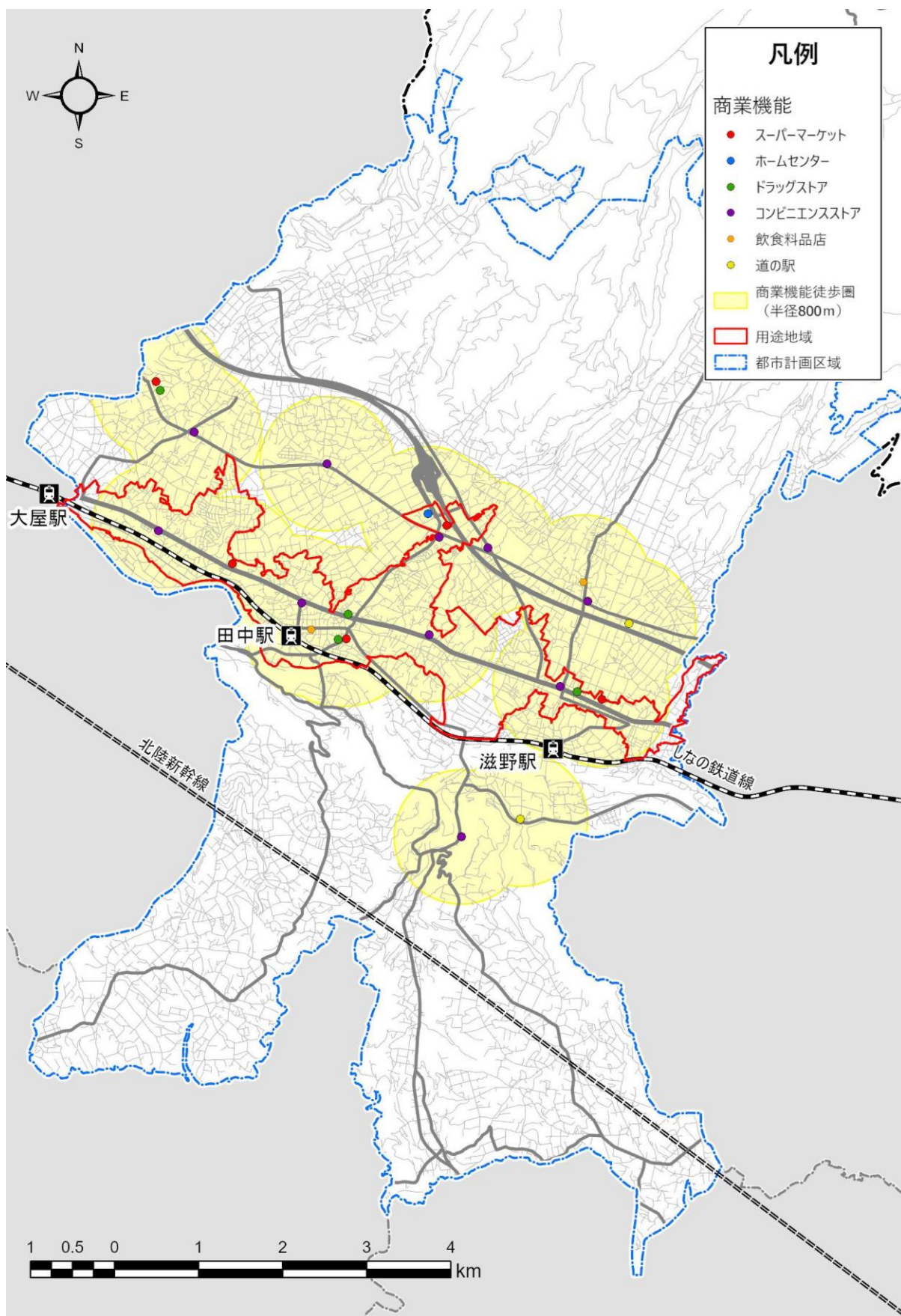
No.	業態	店舗名	住所	大店立地法 該当
1	スーパーマーケット	デリシア東御店	東御市田中705番地1	○
2	スーパーマーケット	バイシア東御店	東御市祢津1115番地1	○
3	スーパーマーケット	やおふく東御店	東御市本海野1684番地1	○
4	スーパーマーケット	ツルヤかのう店	東御市和3178番地	○
5	スーパーマーケット	ナナース東御店	東御市滋野乙2511番地1	○
6	ドラッグストア	ウエルシア東御かのう店	東御市和3178番地	○
7	ホームセンター	コメリパワー東部店	東御市祢津砂田1190番地1	○
8	飲食料品店	安楽屋別府総本店	東御市滋野乙4773番地	-
9	飲食料品店	フレッシュふじや	東御市田中173番地	-
10	ドラッグストア	ドラッグストアマツモトキヨシしげの店	東御市滋野乙2480番地1	-
11	ドラッグストア	アメリカンドラッグ東御常田店	東御市常田729番地1	-
12	ドラッグストア	ウエルシア東御田中店	東御市田中587番地1	-
13	コンビニエンスストア	ローソン東部別府店	東御市滋野4613番地1	-
14	コンビニエンスストア	ローソン東御井高店	東御市和8480番地1	-
15	コンビニエンスストア	セブン・イレブン東部田中店	東御市泉137番地7	-
16	コンビニエンスストア	セブン・イレブン東御和店	東御市和大川12507番地	-
17	コンビニエンスストア	セブン・イレブン東部滋野店	東御市滋野乙2286番地2	-
18	コンビニエンスストア	セブン・イレブン信州鞍掛店	東御市鞍掛385番地1	-
19	コンビニエンスストア	セブン・イレブン信州北御牧村店	東御市島川原655番地1	-
20	コンビニエンスストア	セブン・イレブン東部加沢店	東御市加沢1167番地1	-
21	コンビニエンスストア	ファミリーマート東部湯の丸インター店	東御市鞍掛67番地	-
22	コンビニエンスストア	ファミリーマート東御和店	東御市和1536番地1	-
23	道の駅	道の駅雷電くるみの里	東御市滋野乙4524番地1	-
24	道の駅	道の駅みまき	東御市布下35番地	-

資料：iタウンページ、全国スーパーマーケットマップ、東御市観光協会ホームページ再編加工



商業施設の分布

資料：iタウンページ、全国スーパーマーケットマップ、東御市観光協会ホームページ再編加工



商業施設の徒歩圏の状況

資料：iタウンページ、全国スーパーマーケットマップ、東御市観光協会ホームページ再編加工

(3) 子育て施設の分布

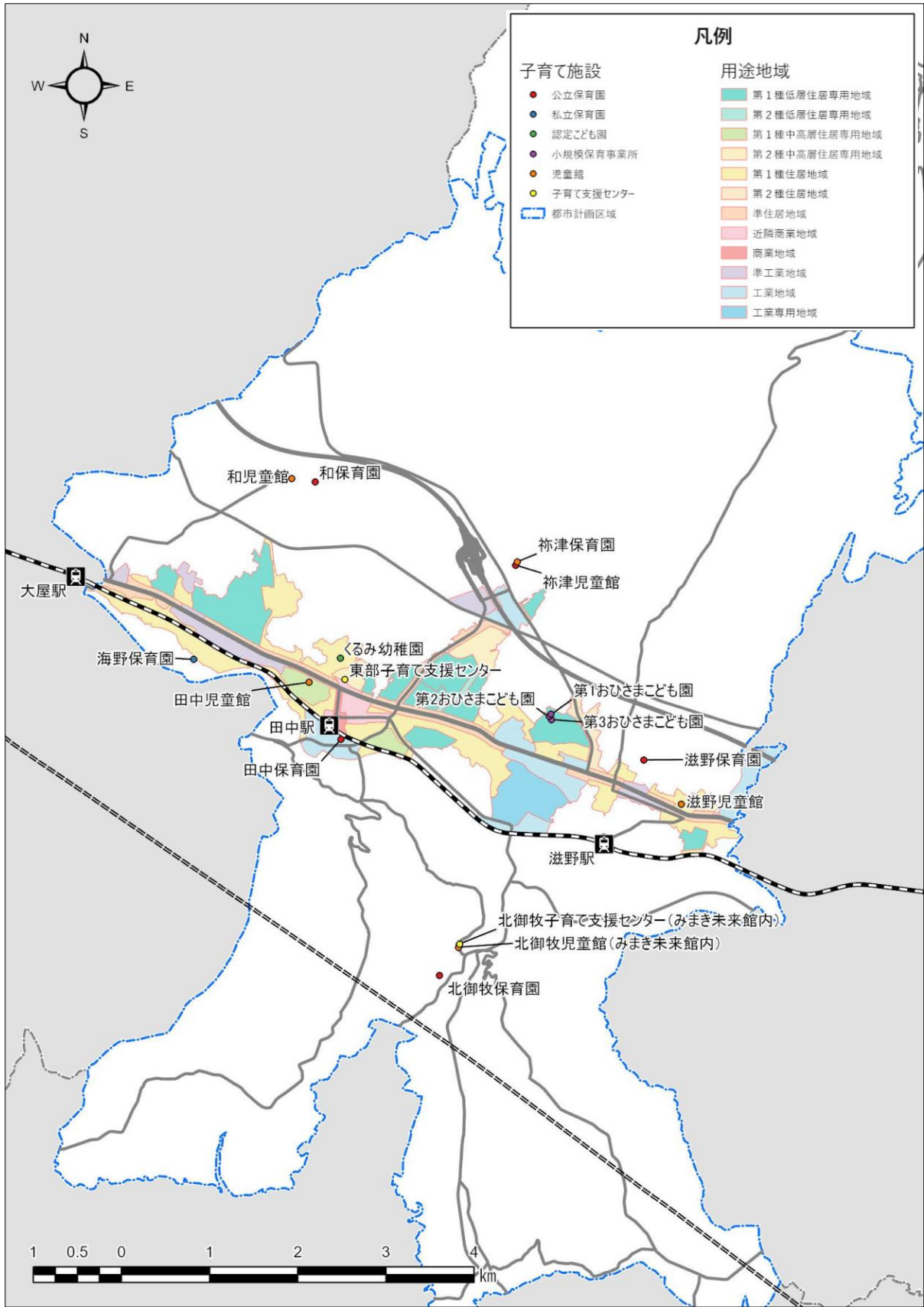
本市の公立保育園については、各地区（田中、滋野、祢津、和、北御牧）に1箇所ずつ設置されており、これを補う形で民間の私立保育園や認定こども園、小規模保育事業所が用途地域周辺に設けられています。

徒歩圏は、用途地域の広いエリアがカバーされていますが、用途地域中央部等の一部エリアではカバーされていない状況となっています。

子育て施設の立地状況

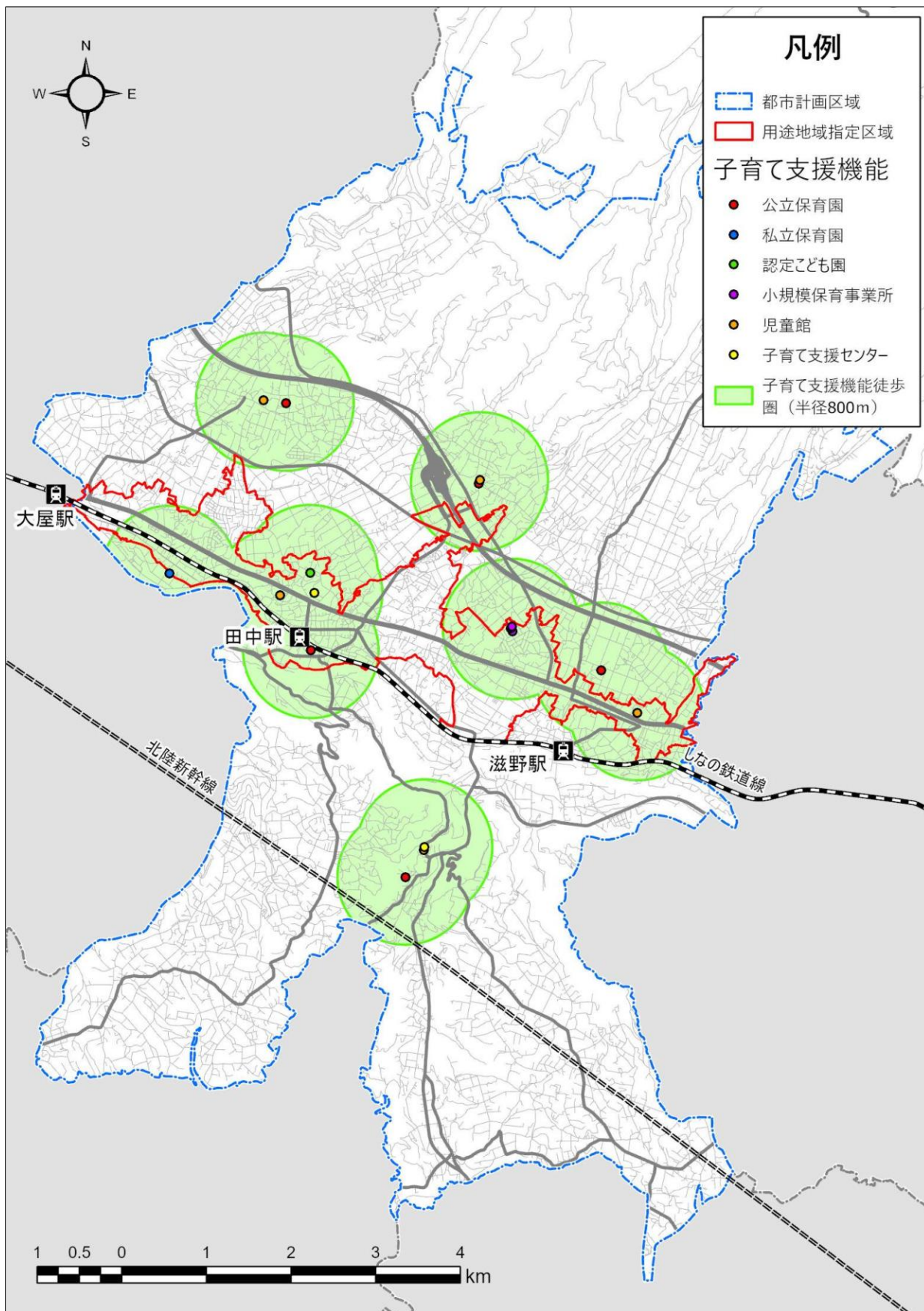
No.	分類	施設名	住所
1	公立保育園	田中保育園	東御市田中459番地2
2	公立保育園	滋野保育園	東御市滋野乙2023番地1
3	公立保育園	祢津保育園	東御市祢津1262番地
4	公立保育園	和保育園	東御市和8017番地2
5	公立保育園	北御牧保育園	東御市大日向102番地
6	子育て支援センター	東部子育て支援センター	東御市県282番地2
7	子育て支援センター	北御牧子育て支援センター（みまき未来館内）	東御市大日向338番地1
8	児童館	田中児童館	東御市県109番地
9	児童館	滋野児童館	東御市滋野乙507番地7
10	児童館	祢津児童館	東御市祢津917番地4
11	児童館	和児童館	東御市和7999番地3
12	児童館	北御牧児童館（みまき未来館内）	東御市大日向338番地1
13	私立保育園	海野保育園	東御市本海野575番地
14	認定こども園	くるみ幼稚園	東御市県326番地5
15	小規模保育事業所	第1おひさまこども園	東御市滋野735番地107
16	小規模保育事業所	第2おひさまこども園	東御市滋野736番地135
17	小規模保育事業所	第3おひさまこども園	東御市滋野736番地128

資料：東御市ホームページ再編加工



子育て施設の分布

資料：東御市ホームページ再編加工



子育て支援施設の徒歩圏の状況

資料：東御市ホームページ再編加工

(4) 学校の分布

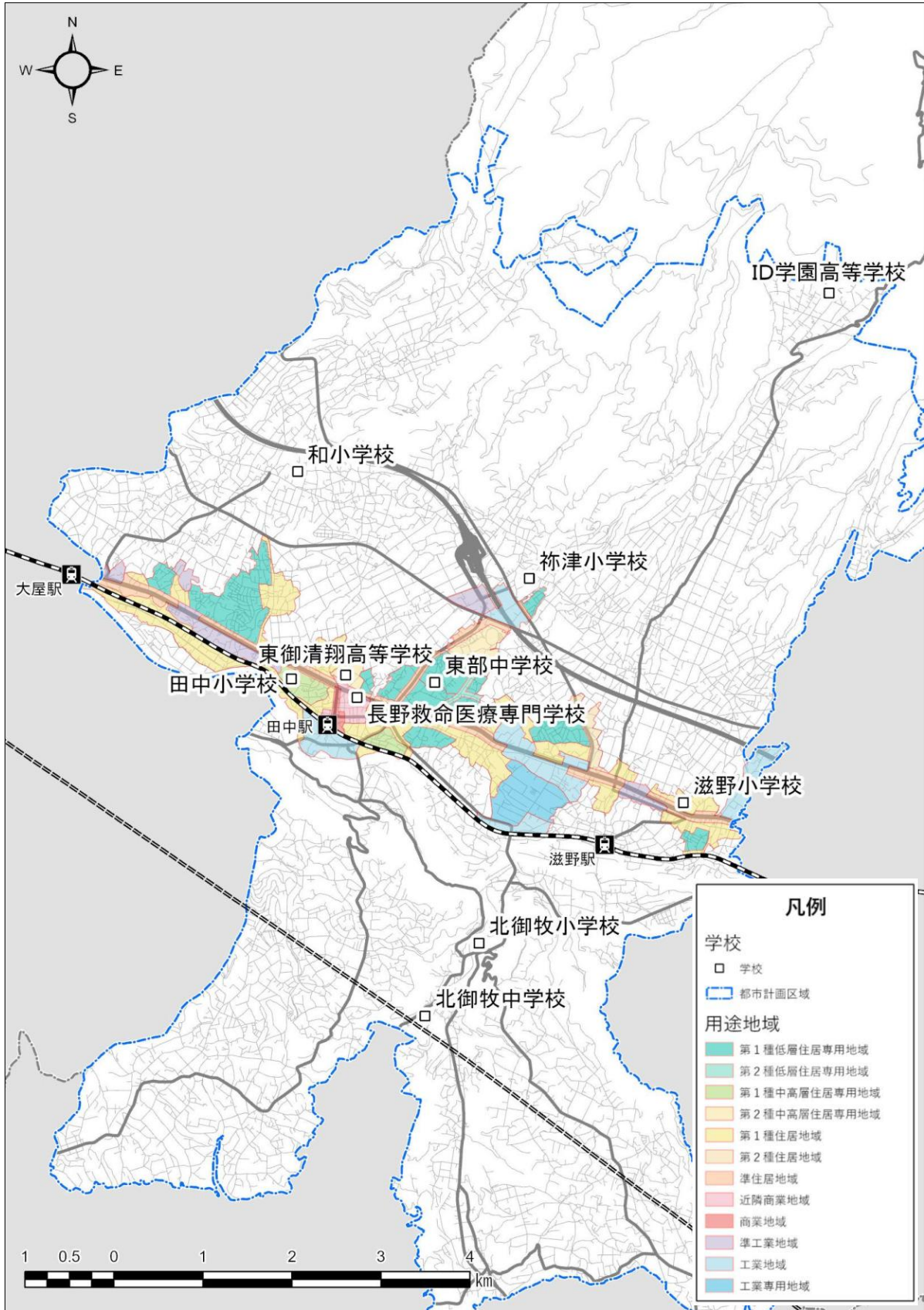
本市では、小学校が地区毎に1校、中学校が旧行政区域のエリア毎に1校ずつ設置されています。また、田中地区には県立東御清翔高等学校と長野救命医療専門学校があります。

徒歩圏は、用途地域の田中駅周辺や滋野駅の北東側のエリアではカバーされていますが、大屋駅周辺や滋野駅の北西側はカバーされていない状況となっています。

学校の立地状況

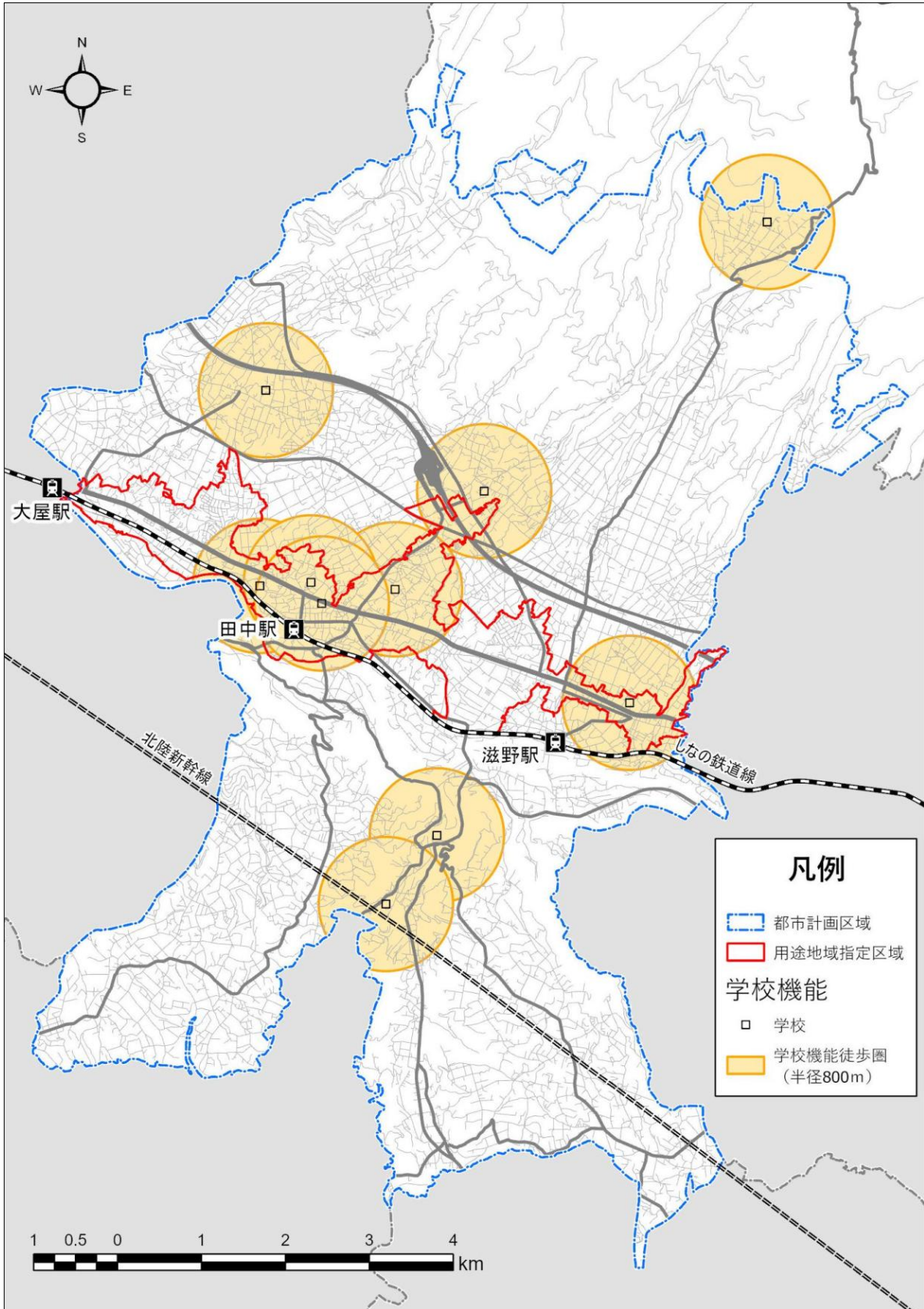
No.	分類	施設名	住所
1	小学校	田中小学校	東御市県71番地2
2	小学校	滋野小学校	東御市滋野乙2966番地3
3	小学校	柰津小学校	東御市柰津1009番地
4	小学校	和小学校	東御市海善寺1244番地1
5	小学校	北御牧小学校	東御市大日向623番地
6	中学校	東部中学校	東御市常田300番地2
7	中学校	北御牧中学校	東御市下之城947番地
8	高等学校	東御清翔高等学校	東御市県276番地
9	高等学校	ID学園高等学校	東御市新張1931
10	専門学校	長野救命医療専門学校	東御市田中66番地1

資料：東御市ホームページ、長野県教育委員会ホームページ再編加工



学校の分布

資料：東御市ホームページ、長野県教育委員会ホームページ再編加工



学校の徒歩圏の状況

資料：東御市ホームページ、長野県教育委員会ホームページ再編加工

(5) 金融機関の分布

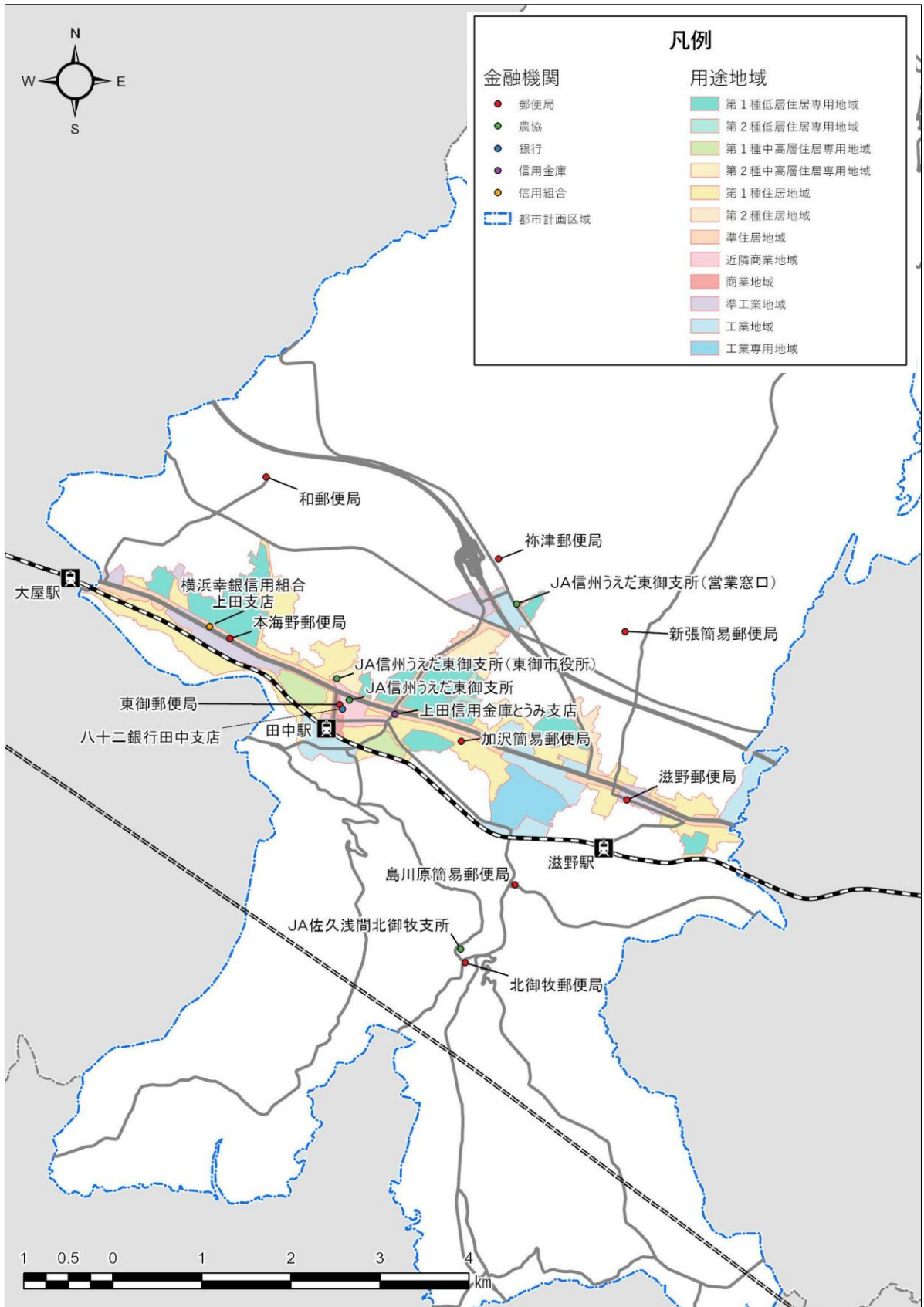
本市には、窓口のある金融機関が16箇所設置されており、特に田中地区に多く分布しています。

徒歩圏は、用途地域の田中駅及び滋野駅周辺を中心に広いエリアがカバーされている状況となっています。

金融機関の立地状況

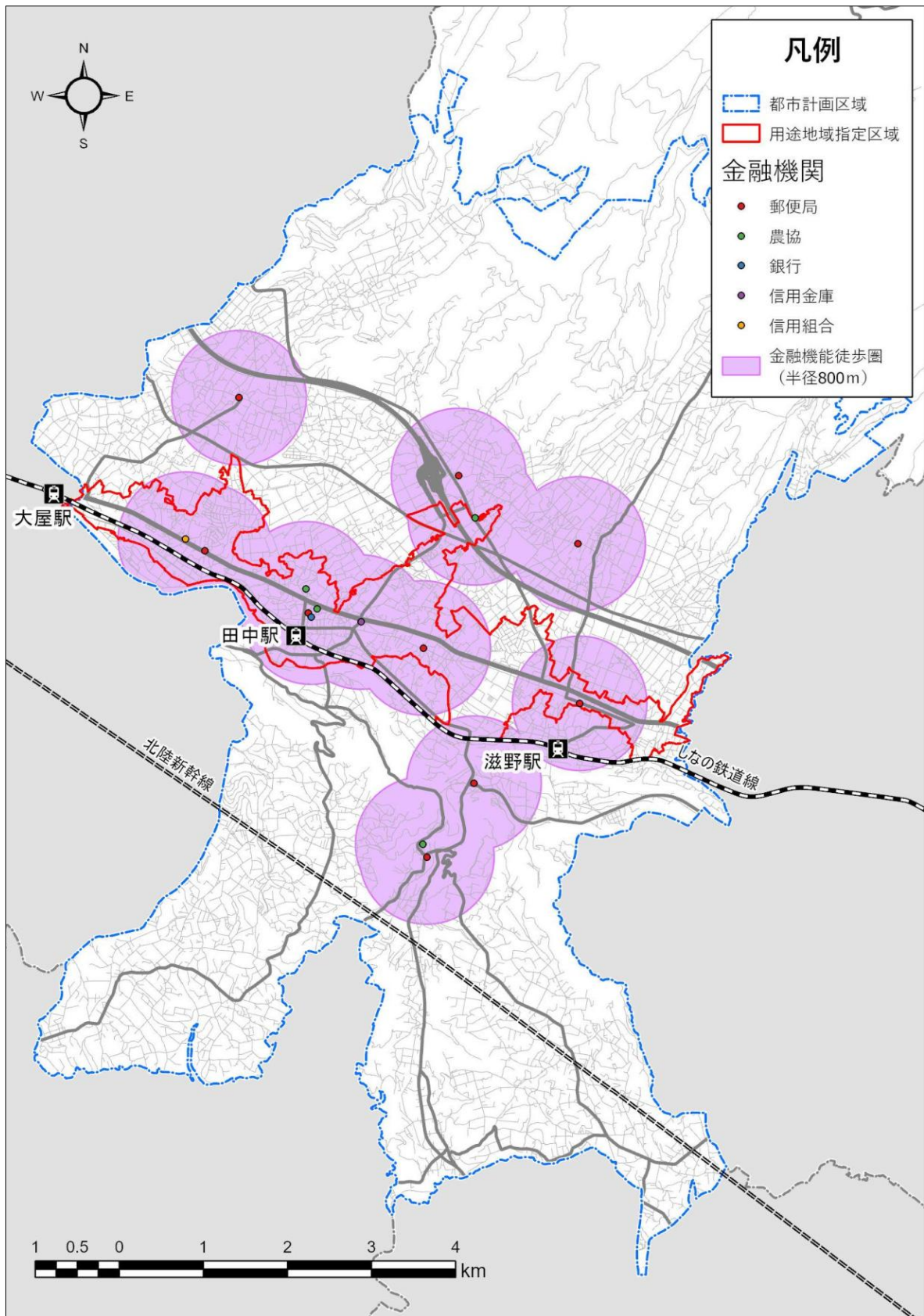
No.	業態	店舗名	住所
1	銀行	八十二銀行田中支店	東御市田中98番地7
2	信金	上田信用金庫とうみ支店	東御市常田580番地6
3	信組	横浜幸銀信用組合上田支店	長野県東御市和1631-1
4	郵便局	東御郵便局	東御市田中103番地6
5	郵便局	北御牧郵便局	東御市大日向303番地1
6	郵便局	滋野郵便局	東御市滋野乙512番地9
7	郵便局	祢津郵便局	東御市祢津1824番地6
8	郵便局	本海野郵便局	東御市本海野1496番地122
9	郵便局	和郵便局	東御市和2612番地7
10	郵便局	新張簡易郵便局	東御市新張1211番地
11	郵便局	島川原簡易郵便局	東御市島川原80番地3
12	郵便局	加沢簡易郵便局	東御市加沢1011番地2
13	農協	J A信州うえだ東御支所	東御市田中63番地4
14	農協	J A信州うえだ東御支所（東御市役所）	東御市県281番地2（東御市役所内）
15	農協	J A信州うえだ東御支所（営業窓口）	東御市祢津1049番地1
16	農協	J A佐久浅間北御牧支所	東御市大日向337番地

資料：iタウンページ、JAバンクホームページ再編加工



金融機関の分布

資料：i タウンページ、JA バンクホームページ再編加工



金融機関の徒歩圏の状況

資料：iタウンページ、JAバンクホームページ再編加工

(6) 社会福祉施設の分布

本市の福祉事務所や保健センター、地域包括支援センターなどの機能は、東御市総合福祉センターに集約されています。

市内の通所系介護事業所は17箇所あり、田中駅から東部湯の丸インターチェンジ付近に多く分布しています。

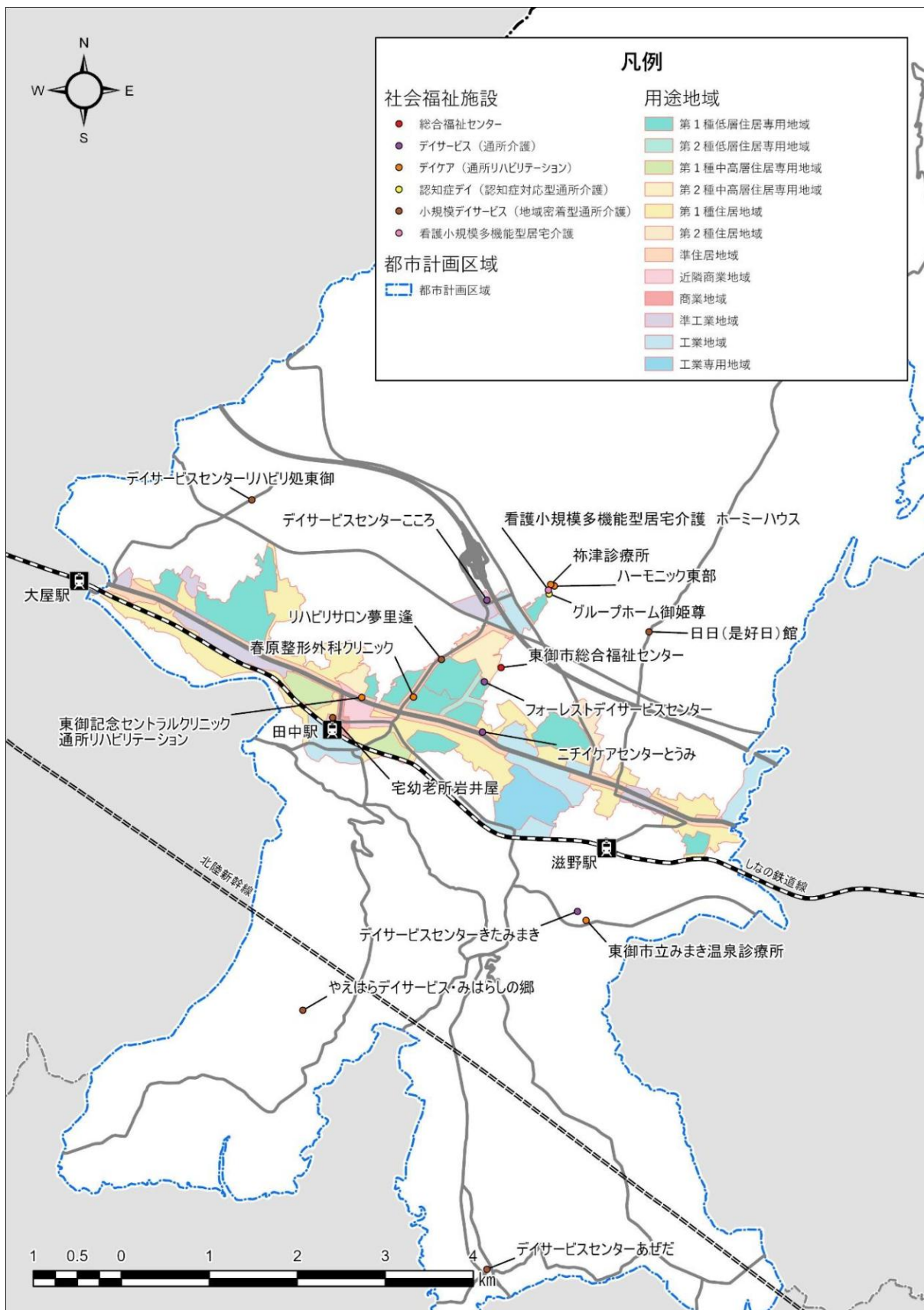
徒歩圏は、用途地域の中央部を除く広いエリアがカバーされていない状況となっています。

社会福祉施設の立地状況

No.	分類	施設名	住所
1	総合福祉センター	東御市総合福祉センター	東御市鞍掛197
2	デイサービス（通所介護）	フォーレストデイサービスセンター	東御市常田2-1
3	デイサービス（通所介護）	ニチケアセンターとうみ	東御市加沢1174-2
4	デイサービス（通所介護）	デイサービスセンターこころ	東御市祢津1098-1
5	デイサービス（通所介護）	デイサービスセンターきたみまき	東御市布下37
6	デイケア（通所リハビリテーション）	ハーモニック東部	東御市祢津346-1
7	デイケア（通所リハビリテーション）	祢津診療所	東御市祢津343-2
8	デイケア（通所リハビリテーション）	春原整形外科クリニック	東御市常田399-1
9	デイケア（通所リハビリテーション）	東御記念セントラルクリニック 通所リハビリテーション	東御市県165-1
10	デイケア（通所リハビリテーション）	東御市立みまき温泉診療所	東御市布下6-1
11	認知症デイ（認知症対応型通所介護）	グループホーム御姫尊	東御市祢津337-2
12	小規模デイサービス（地域密着型通所介護）	宅幼老所岩井屋	東御市田中220
13	小規模デイサービス（地域密着型通所介護）	リハビリサロン夢里逢	東御市常田493-1
14	小規模デイサービス（地域密着型通所介護）	日日（是好日）館	東御市新張1089-2
15	小規模デイサービス（地域密着型通所介護）	デイサービスセンターリハビリ処東御	東御市和2571
16	小規模デイサービス（地域密着型通所介護）	やえはらデイサービス・みはらしの郷	東御市八重原2149
17	小規模デイサービス（地域密着型通所介護）	デイサービスセンターあぜだ	東御市下之城21-4
18	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護 ホーミーハウス	東御市祢津332-2

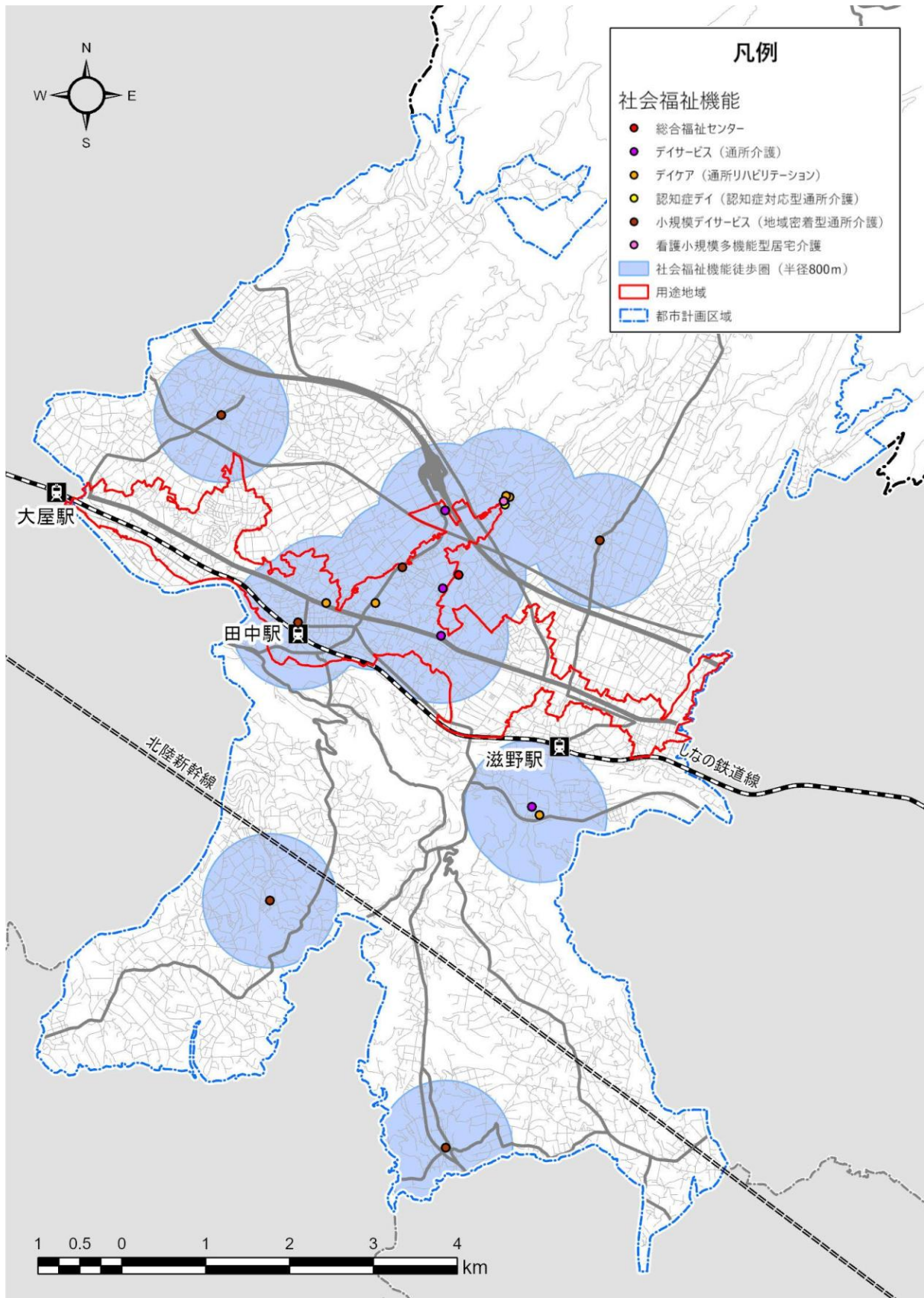
資料：東御市ホームページ再編加工

※通所系の高齢者福祉施設を対象に整理した。



社会福祉施設の分布

資料：東御市ホームページ再編加工



社会福祉施設の徒歩圏の状況

資料：東御市ホームページ再編加工

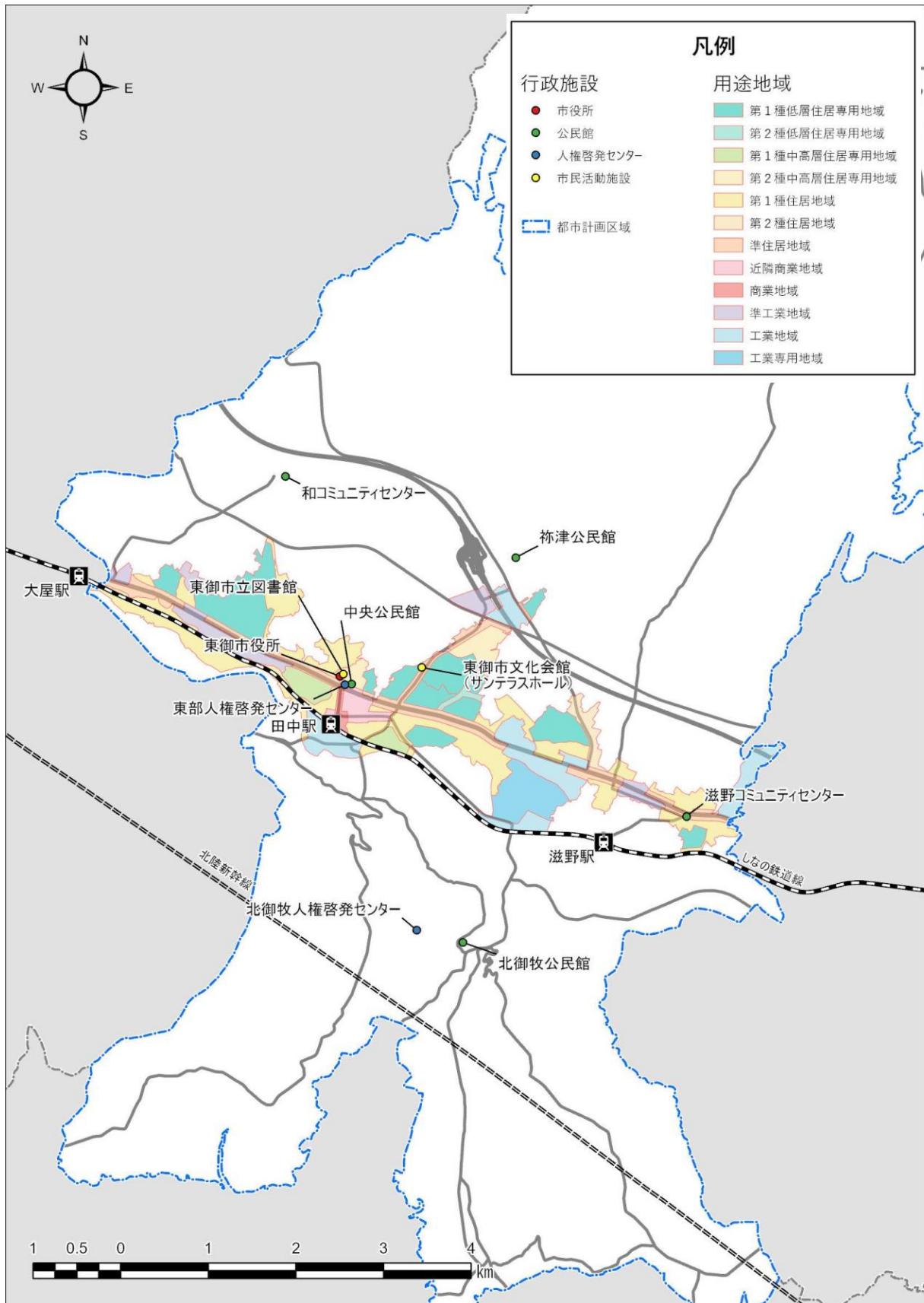
(7) 行政機能施設の分布

本市の主要な行政施設は、東御市役所周辺を中心として用途地域内に多く分布しています。徒歩圏は、用途地域の田中駅周辺や滋野駅の北東側を除くエリアがカバーされていない状況となっています。

行政機能施設の立地状況

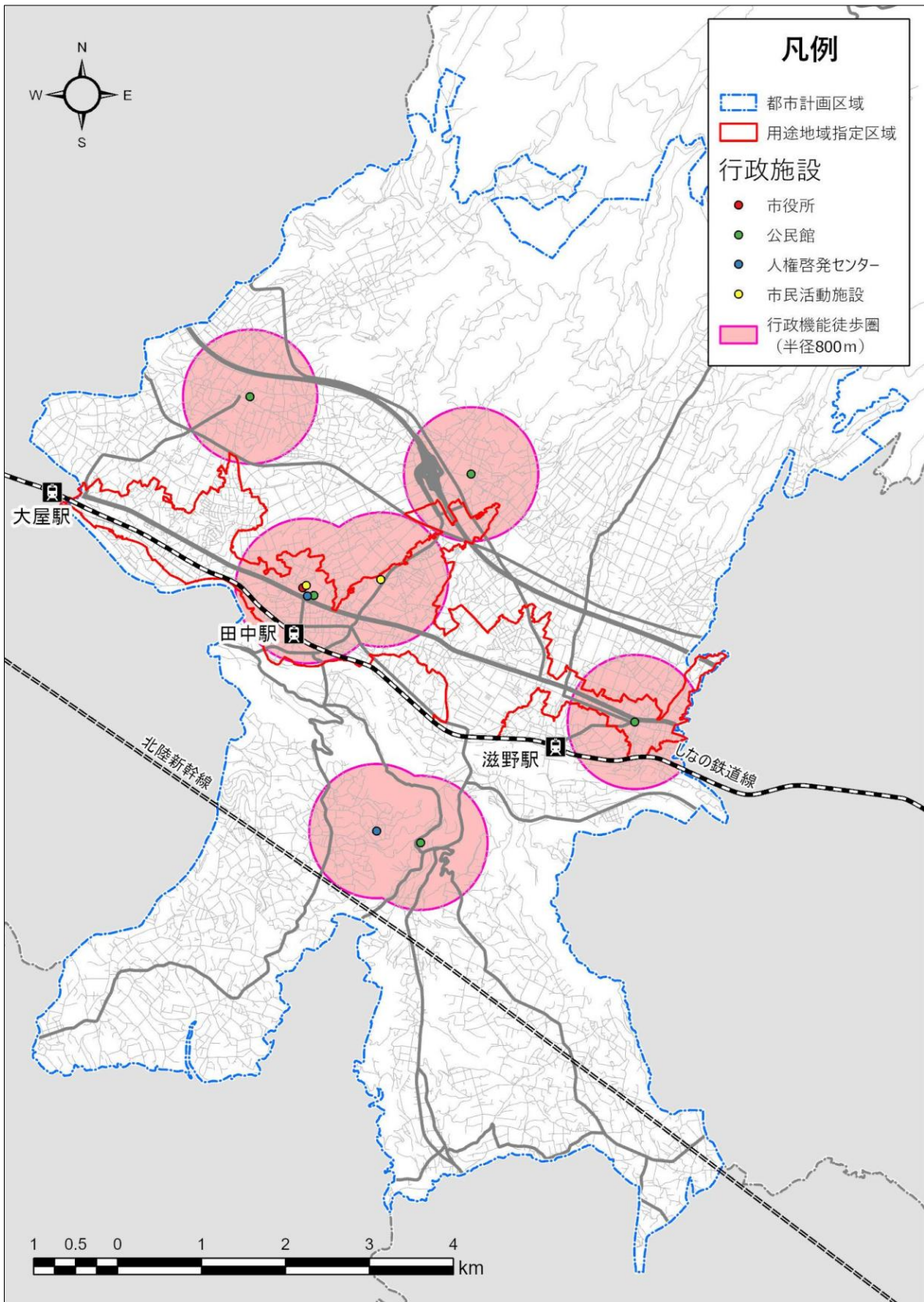
No.	分類	施設名	住所
1	役所	東御市役所	東御市県281番地2
3	公民館	中央公民館	東御市県288番地4
4	公民館	和コミュニティセンター	東御市和2628番地
5	公民館	滋野コミュニティセンター	東御市滋野乙2962番地
6	公民館	祢津公民館	東御市祢津917番地4
7	公民館	北御牧公民館	東御市大日向337番地
8	人権啓発センター	東部人権啓発センター	東御市県288番地3
9	人権啓発センター	北御牧人権啓発センター	東御市八重原2813番地1
10	市民活動施設	東御市文化会館（サンテラスホール）	東御市常田505番地1
11	市民活動施設	東御市立図書館	東御市県281番地2

資料：東御市ホームページ再編加工



行政機能施設の分布

資料：東御市ホームページ再編加工



行政施設の徒歩圏の状況

資料：東御市ホームページ再編加工

5. 道路・交通

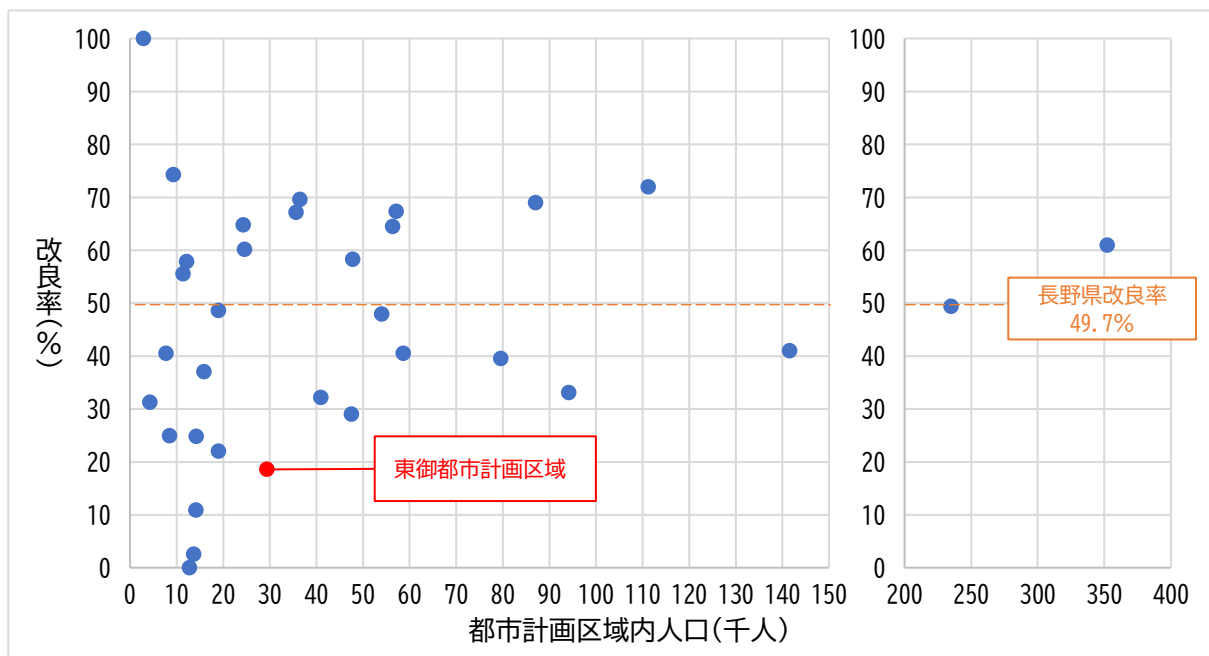
(1) 都市計画道路の整備状況

都市計画道路は現在6路線、15,780mが都市計画決定されており、このうち3,182mが整備済みで、改良率は20.2%となっています。また長野県全体の改良率は49.7%であり、本市の改良率はこれを下回っています。

都市施設（道路）の整備状況

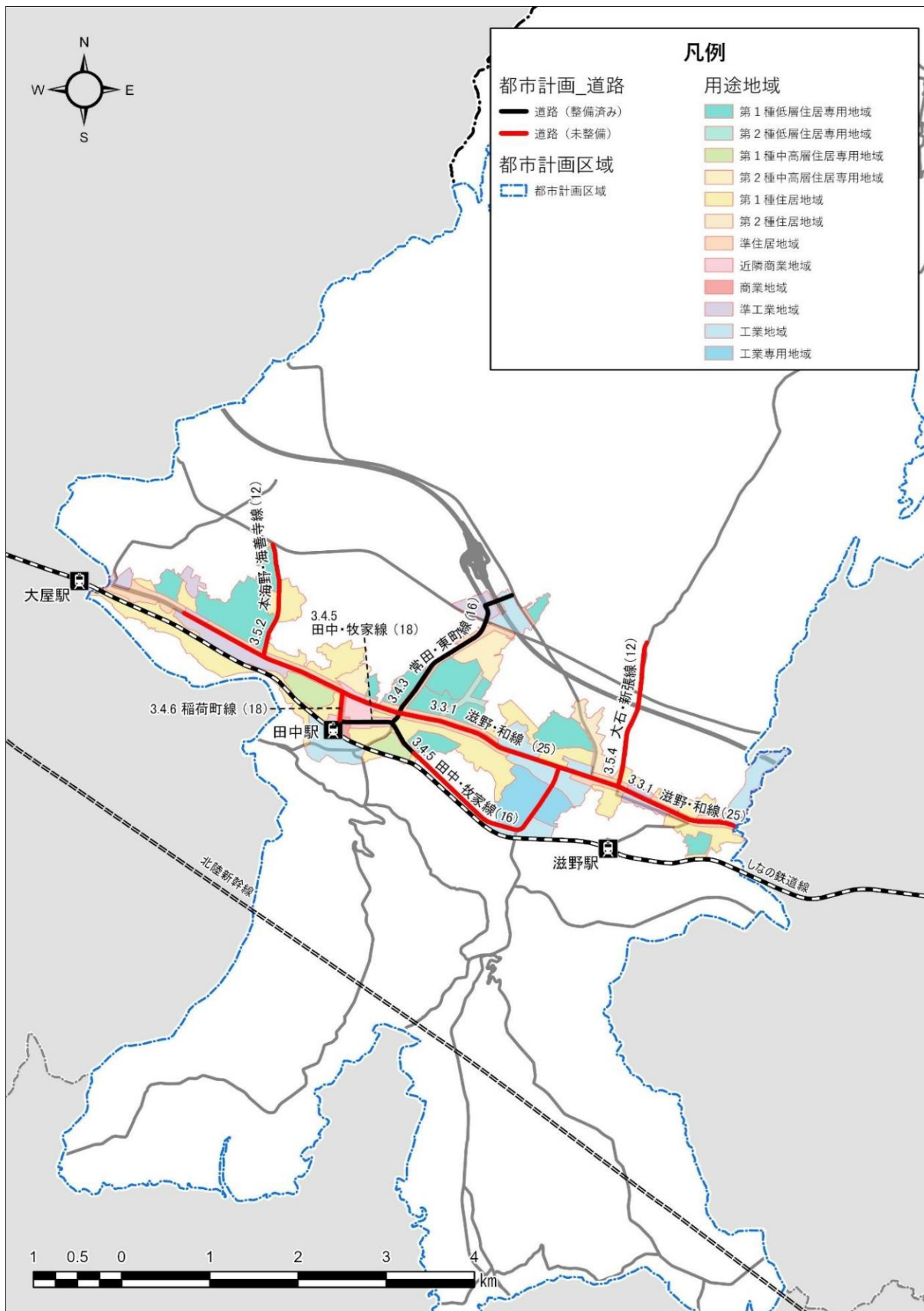
都市施設名称	決定年月日	都市計画決定事項		備 考
		幅員(m)	延長(m)	
3・3・1 滋野・和線	S53. 1. 30	25	6,920	
3・5・2 本海野・海善寺線	S53. 1. 20	12	1,330	
3・4・3 常田・東町線	S53. 1. 19	16	1,950	供用開始 H8.11.14
	H 9. 3. 6	16	1,960	改良済み延長 2,100m
	H10. 6. 25	16	2,100	完成率100%
3・5・4 大石・新張線	S53. 1. 19	12	1,670	
3・4・5 田中・牧家線	S53. 1. 19	18.16	3,450	改良済延長1,082m 完成率31.3%
	H 9. 3. 6	18.16	3,450	駅前広場 2,500㎡
3・4・6 稻荷町線	S53. 1. 19	18	320	
	H 9. 3. 6	18	310	
上記6路線	H16. 4. 1			町村合併に伴う名称変更等

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



都市計画道路の整備率

資料：2025年長野県の都市計画資料編



都市施設（道路）の整備状況

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

(2) 道路の交通状況

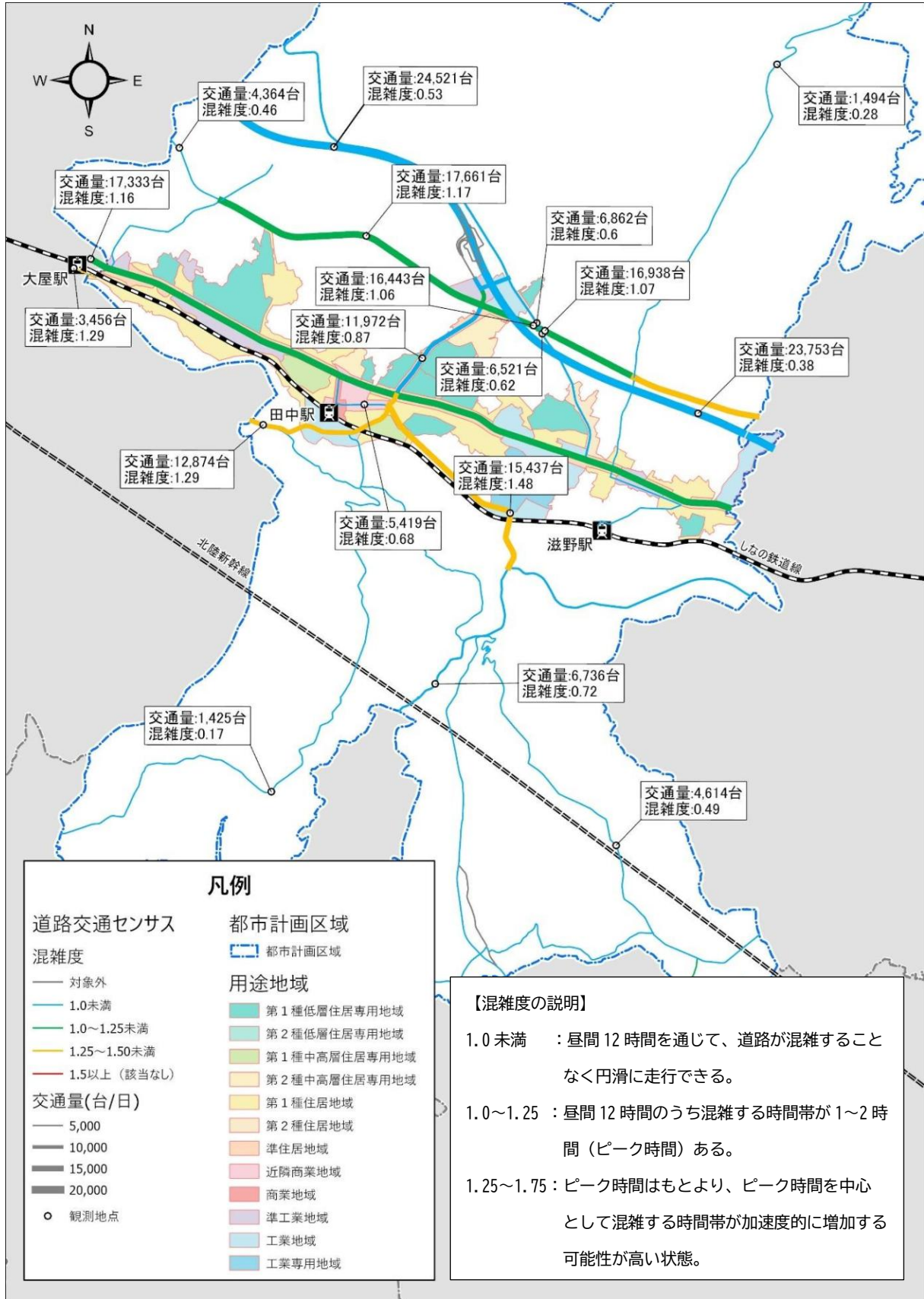
本市の主要道路のうち24時間交通量が最も多い路線は、上信越自動車道（東部湯の丸IC～上田菅平IC間）の24,521台で、次いで上信越自動車道（小諸IC～東部湯の丸IC間）の23,753台、県道小諸上田線（和7388-1）17,661台、国道18号（東御市内推計値）17,333台となっています。また、混雑度については、東部望月線（加沢440）の1.48が最も高い数値となっています。

主要道路断面交通量（令和3年）

路線名	観測地点名	平日 12時間 交通量 (台)	平日 24時間 交通量 (台)	大型車 混入率 (%)	混雑度	混雑時平均 旅行速度 (km/h)	
						上り	下り
上信越自動車道	小諸～東部湯の丸	16,737	23,753	27.1	0.38	92.4	93.4
上信越自動車道	東部湯の丸～上田菅平	17,433	24,521	26.2	0.53	94.4	91.2
一般国道18号	上田市大屋204-1	12,965	17,333	9.0	1.16	38.1	31.5
一般国道18号	上田市大屋204-1	12,965	17,333	9.0	1.16	22.0	20.6
一般国道18号	上田市大屋204-1	12,965	17,333	9.0	1.16	27.2	17.8
一般国道18号	上田市大屋204-1	12,965	17,333	9.0	1.16	13.2	26.0
一般国道18号	上田市大屋204-1	12,965	17,333	9.0	1.16	22.7	28.0
一般国道18号	上田市大屋204-1	12,965	17,333	9.0	1.16	40.2	34.1
真田東部線	東御市鞍掛385-1(鞍掛交差点)	5,403	6,862	10.1	0.60	27.7	17.7
真田東部線	東御市鞍掛385-1(鞍掛交差点)	5,135	6,521	10.7	0.62	31.5	26.8
諏訪白樺湖小諸線	東御市大日向35(御八城大橋入口)	5,304	6,736	10.4	0.72	34.2	38.9
小諸上田線	東御市鞍掛385-1(鞍掛交差点)	12,735	16,938	11.7	1.07	32.3	23.1
小諸上田線	東御市鞍掛385-1(鞍掛交差点)	12,363	16,443	12.0	1.06	21.8	13.9
小諸上田線	東御市和7388-1	13,180	17,661	11.5	1.17	25.5	35.0
小諸上田線	東御市和	3,691	4,364	2.4	0.46	19.2	23.7
丸子東部インター線	東御市羽毛山	10,148	12,874	14.4	1.29	50.0	36.6
丸子東部インター線	東御市常田505-1	9,209	11,972	6.7	0.87	23.6	27.0
東御嬌恋線	東御市新張1299	1,235	1,494	15.0	0.28	35.3	36.2
東部望月線	東御市田中141-1	4,301	5,419	4.5	0.68	15.9	17.2
東部望月線	東御市加沢440	11,695	15,437	15.1	1.48	25.1	31.3
丸子北御牧東部線	東御市八重原1478-1	1,178	1,425	10.2	0.17	36.5	33.9
御牧原大日向線	東御市御牧原御牧1402-1	3,751	4,614	7.2	0.49	49.2	41.9
大屋停車場田沢線	上田市大屋504-1(大屋駅前交差点)	2,810	3,456	3.6	0.47	25.3	23.9
大屋停車場田沢線		1,591	1,941	10.6	0.26	19.4	29.0
大屋停車場田沢線	上田市大屋504-1(大屋駅前交差点)	2,810	3,456	3.6	1.29	21.1	21.1

※東御市内の観測地点を抽出している。市外に調査地点（斜体で表示）がある路線については、市内の推計値を記載している。

資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表（国土交通省）



平日 24 時間交通量・混雑時平均旅行速度分布図 (令和3年)

資料: 令和5年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表(国土交通省)
道路の交通容量(社団法人日本道路協会)

(3) 平均旅行速度

東御市内の道路上に位置するポイント型流動人口から平均移動速度を整理し、交通状況を整理した。平日朝の平均旅行速度を見ると、国道18号では東御市役所及び田中駅を結ぶ交差点付近など所々で低速区間がみられますが、その他の幹線道路では概ね30km/h以上で通行できているとみられます。



平日（朝）の平均移動速度状況

資料：ポイント型流動人口データ（(株)Agoop）再編加工

平日夜間の平均旅行速度を見ると、国道 18 号も低速区間は解消され、市内の幹線道路では概ね 30~60km/h で移動しており、渋滞する箇所は無いと推察できます。



平日（昼）の平均移動速度状況

資料：ポイント型流動人口データ ((株)Agoop) 再編加工

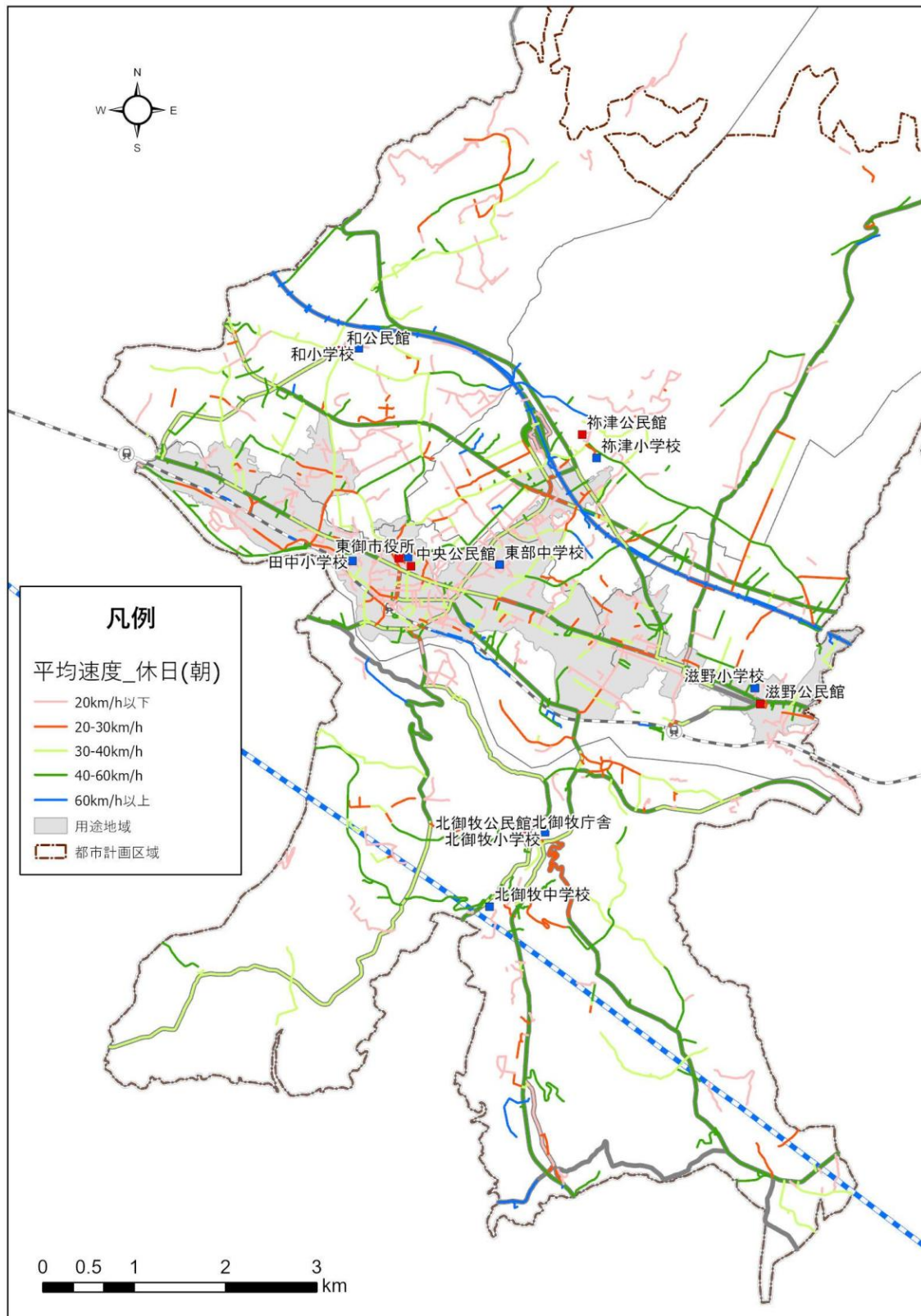
平日夜間の平均旅行速度を見ると、丸子東部インター線や国道 18 号の一部区間で 30km/h 以下の低速区間が生じています。また、東部湯の丸インター周辺も低速区間となっています。帰宅者や買い物等の移動が多く集中していると推察できます。



平日(夜)の平均移動速度状況

資料：ポイント型流動人口データ ((株)Agoop) 再編加工

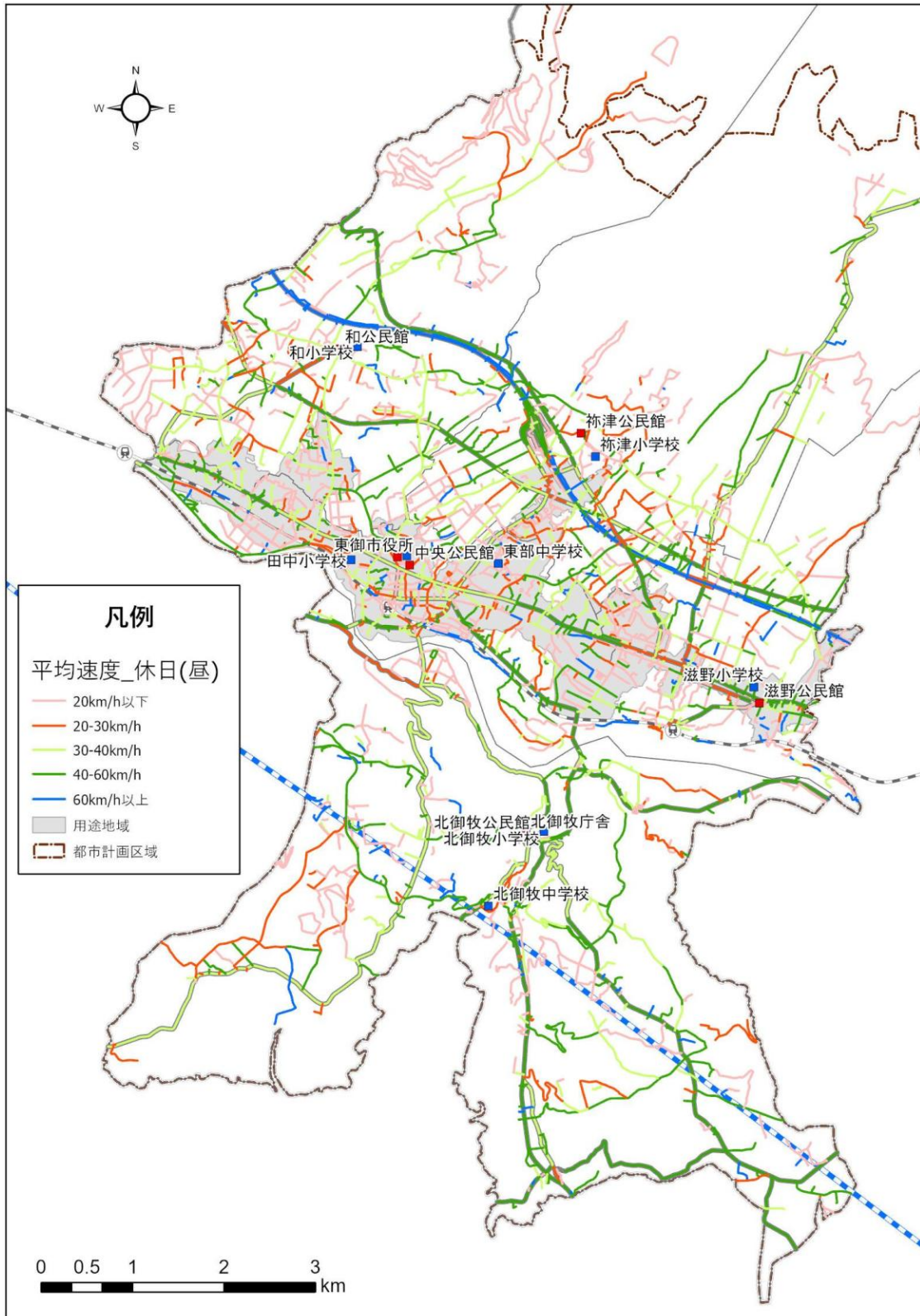
休日朝の平均旅行速度を見ると、国道 18 号では平日と比べて低速区間が少なく比較的スムーズに移動できています。また、東部湯の丸インター付近やでは 30km/h 以下の低速区間が生じています。



休日（朝）の平均移動速度状況

資料：ポイント型流動人口データ ((株)Agoop) 再編加工

休日昼間の平均旅行速度を見ると、国道18号の滋野地区や東部湯の丸インター付近で低速区間が生じていますが、その他主要な幹線道路では比較的スムーズに移動できています。



休日（昼）の平均移動速度状況

資料：ポイント型流動人口データ（(株)Agoop）再編加工

休日夜間の平均旅行速度を見ると、国道 18 号を含めた主要な幹線道路では低速区間は見られず、スムーズに移動できています。

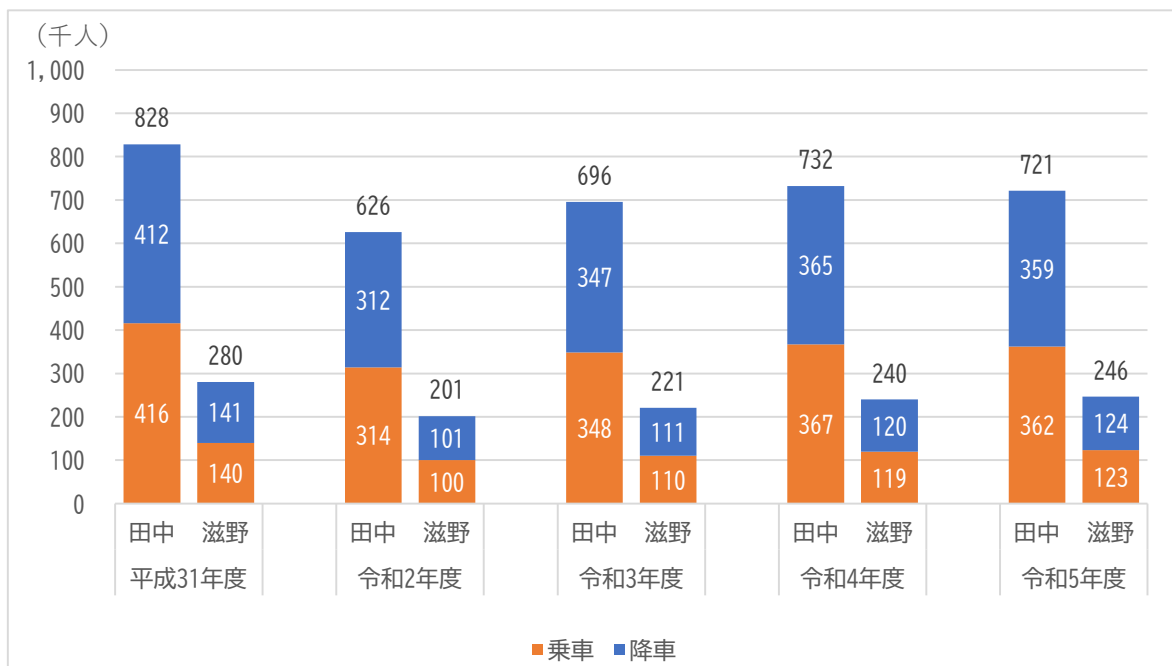


休日（夜）の平均移動速度状況

資料：ポイント型流動人口データ ((株)Agoop) 再編加工

(4) 公共交通（鉄道）

本市には、田中駅と滋野駅の2駅があります。直近データの令和5年度（2023年度）時点で、田中駅で年約72万人、滋野駅で約25万人が利用しています。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度（2020年度）には利用者数が大幅に減少しました。



駅別乗降客数の推移

資料：東御市の統計 2024

(5) 公共交通（定時定路線バス・デマンド交通）

本市では、通勤通学時間帯の需要に応える定時定路線バス（5路線）と、日中の需要に合わせたデマンド交通（とうみレッツ号）があり、自動車を運転できない市民の足として生活を支えています。



東御市定時定路線バス・デマンド交通「とうみレッツ号」運行範囲

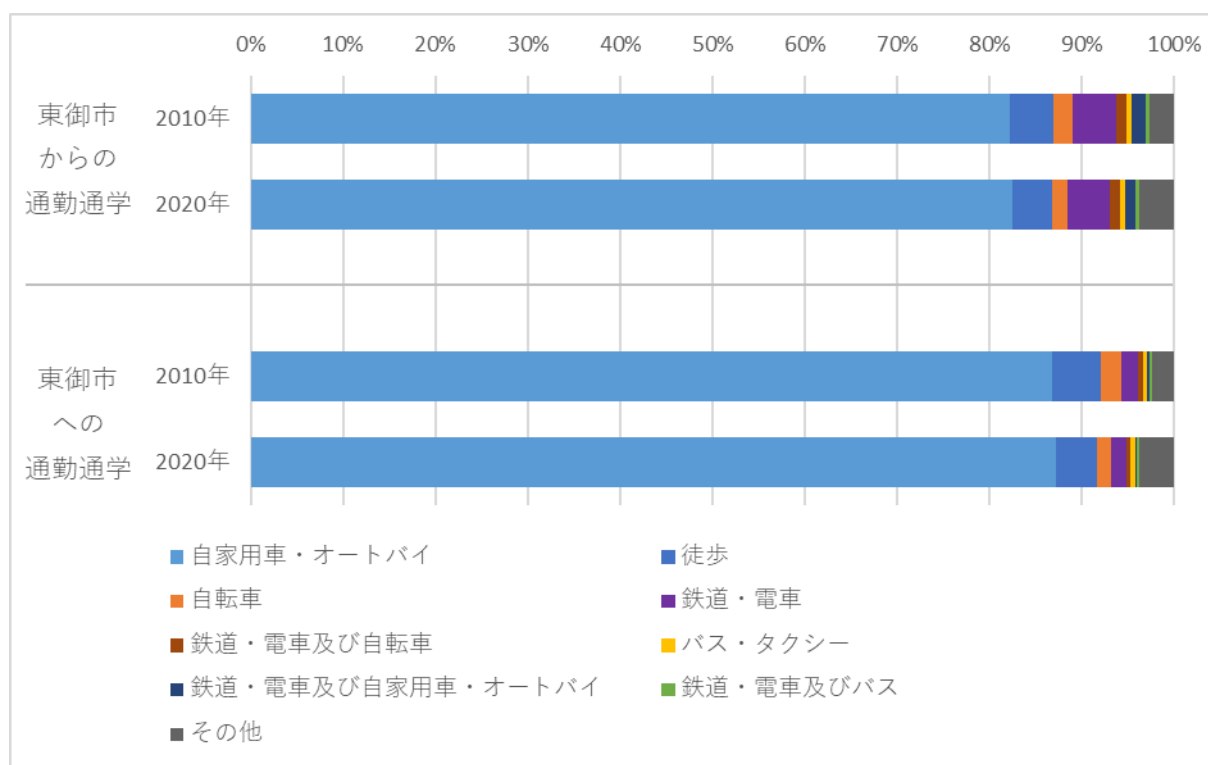
※平日のみの運行。土日祝日、旧盆及び年末年始は運休

資料：東御市ホームページ（令和8年（2026年）3月現在）

(6) 通勤通学の交通手段

本市における通勤通学の交通手段は、8割以上をマイカー（自家用車・オートバイ）が占めており、公共交通の利用が少ない状態となっています。

	東御市からの通勤通学		東御市への通勤通学	
	2010年	2020年	2010年	2020年
徒歩	674	578	671	561
自転車	281	240	278	195
鉄道・電車	662	631	219	200
バス・タクシー	82	72	56	55
自家用車・オートバイ	11,586	11,349	10,942	10,951
鉄道・電車及びバス	55	40	28	27
鉄道・電車及び自家用車・オートバイ	220	169	33	34
鉄道・電車及び自転車	156	141	78	59
その他	371	521	299	468
合計	14,087	13,741	12,604	12,550



通勤通学の交通手段の推移

資料：平成22年・令和2年 国勢調査（総務省統計局）

6. 水とみどり

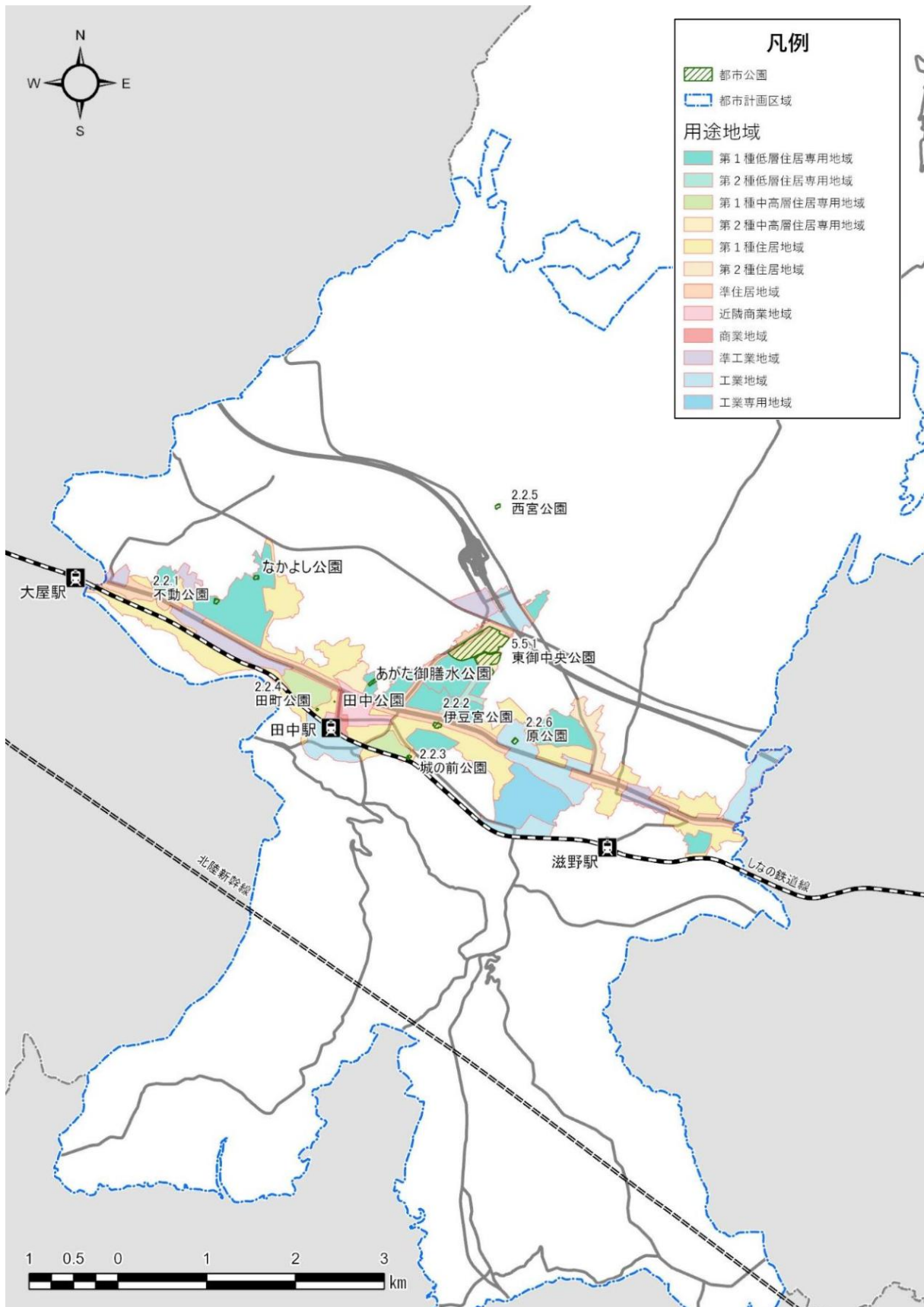
(1) 都市公園の指定、整備状況

本市の都市公園は10箇所あり、全て整備済みとなっています。ただし、都市計画区域人口一人当たりの面積は、県平均15.22㎡/人に対して、半分以下の6.97㎡/人となっています。

都市計画公園の状況

名称	面積	種別	供用開始	都市計画決定日
不動公園	0.50ha	街区公園	S55.3.1	S54.7.7
伊豆宮公園	0.46ha	街区公園	S57.4.3	S56.3.11
城ノ前公園	0.13ha	街区公園	S57.8.7	S57.3.10
田町公園	0.07ha	街区公園	S60.4.1	S59.7.5
西宮公園	0.29ha	街区公園	S62.4.1	S61.8.9
原公園	0.27ha	街区公園	S63.4.1	S62.2.28
東御中央公園	18.3ha	総合公園	H14.4.1	S62.7.2
田中公園	0.11ha	街区公園	S54.1.10	都市計画決定無し
なかよし公園	0.32ha	街区公園	S62.4.18	都市計画決定無し
あがた御前水公園	0.46ha	街区公園	H14.4.1	都市計画決定無し
総面積	20.91ha	—	—	—

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査



都市計画公園の分布

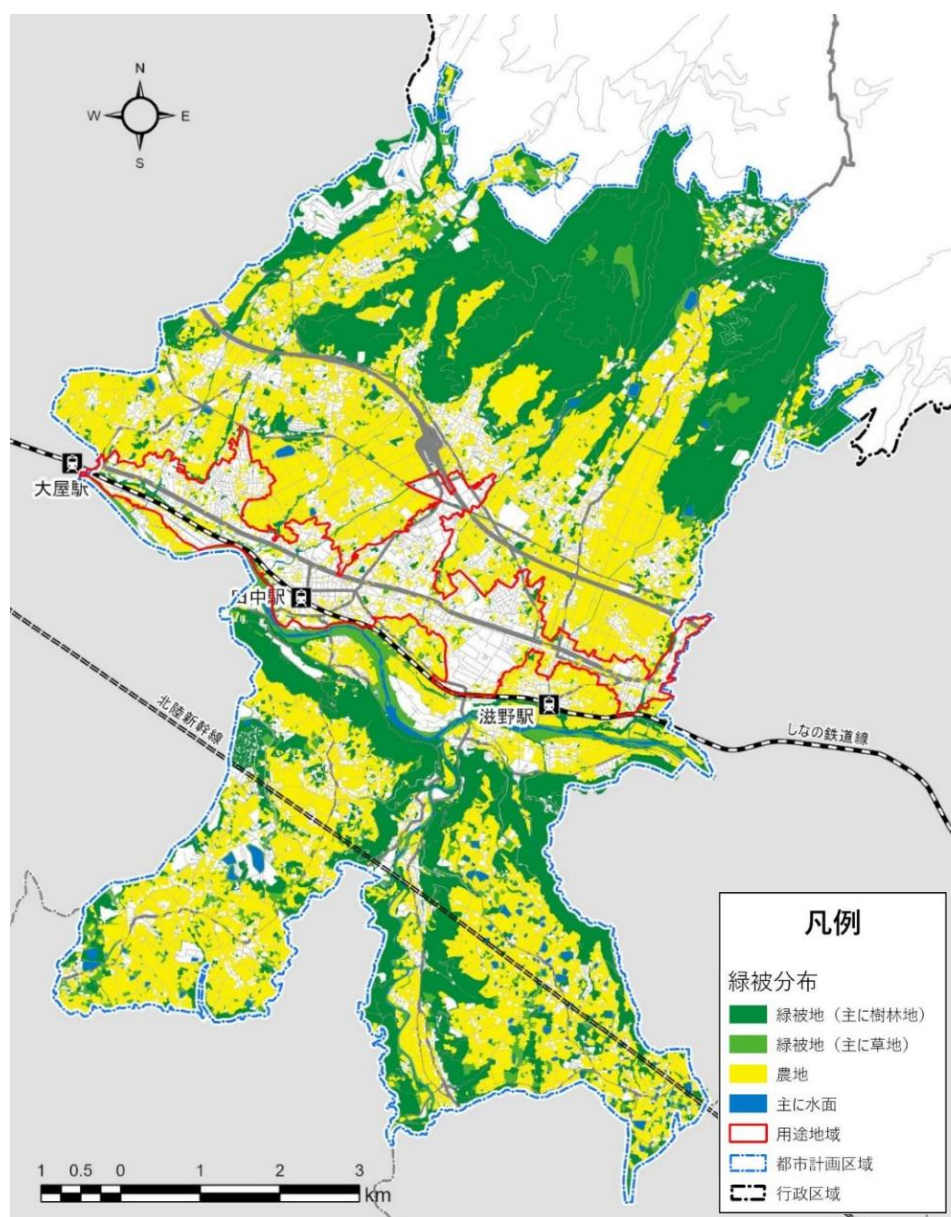
資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

(2) 緑被分布の現状

都市計画区域内の5,581.7ha（75%）が緑肥地となっており、その内の2,618.8ha（35.2%）が農地、2,431.7ha（32.7%）が主に樹林地となっています。また、用途地域周辺では農地が多く、都市計画区域北部には緑肥地（主に樹林地）が多く分布しています。

緑被分布の状況

区分	緑被地								主に水面		合計	
	主に樹林地		主に草地		農地		合計		面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)				
用途地域指定区域	21.5	0.3	18.4	0.2	115.5	1.6	155.4	2.1	4.8	0.1	160.2	2.2
用途地域指定外区域	2,410.2	32.4	378.8	5.1	2,503.3	33.6	5,292.3	71.1	129.2	1.7	5,421.5	72.9
都市計画区域合計	2,431.7	32.7	397.2	5.3	2,618.8	35.2	5,447.7	73.2	134.0	1.8	5,581.7	75.0



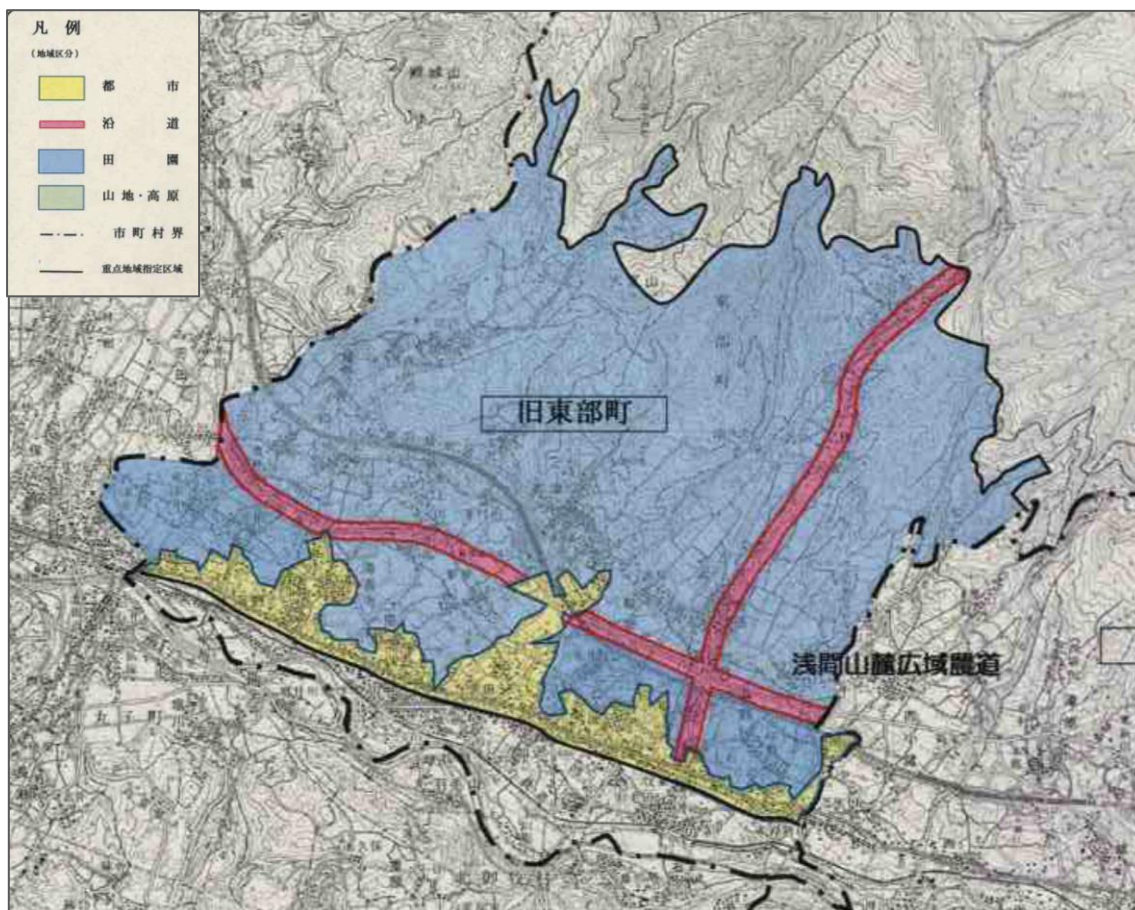
緑被分布の現況

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

(3) 景観形成

都市計画区域の北部（国道18号線南側30mが南限）は、長野県の浅間山麓景観育成重点地域に指定されており、用途地域内を「都市」、主要地方道小諸上田線と東御婦恋線の両側30mの範囲（※用途地域指定区域を除く）を「沿道」、それ以外の地域を「田園」として、それぞれ地域区分を指定されています。

東御市では、この指定に基づき「東御市景観形成指導基準」を定め、建築物や工作物、屋外広告物の設置等に規制を行うことで、景観形成に取り組んでいます。



浅間山麓景観育成重点地域_地域区分（一部抜粋）

資料：浅間山麓景観育成重点地域景観計画（長野県）

7. 都市施設

(1) ごみ処理施設等

その他都市施設として東部浄化センター（2.0ha）、東部クリーンセンター（0.88ha）が整備されています。

都市施設（その他施設）の整備状況

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項
S59. 10. 18	東部町浄化センター	面積 1.7ha
H16. 4. 1	東部浄化センター	町村合併に伴う名称変更
H29. 3. 27	東部浄化センター	面積 2.0ha
S53. 1. 20	東部町塵介焼却場	ゴミ焼却場 面積0.5ha 処理能力 20t/日
H 2. 10. 30	東部町クリーンセンター	名称及び面積変更 面積 0.88ha
H16. 4. 1	東部クリーンセンター	町村合併に伴う名称変更

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

(2) 下水道処理区域

本市の公共下水道は、旧東部町の4地区を東部浄化センターで、北御牧地区を川久保浄化センター（※特定環境保全公共下水道）でそれぞれ処理しています。

また、本市の下水道は汚水と雨水を別々に処理する分流式下水道で、汚水のみを処理を行っています。旧東部町の4地区を東部処理区、北御牧地区を北御牧処理区でそれぞれ処理しています。なお、事業計画区域面積（合計）は1,180haとなっています。

都市施設（公共下水道）の整備状況

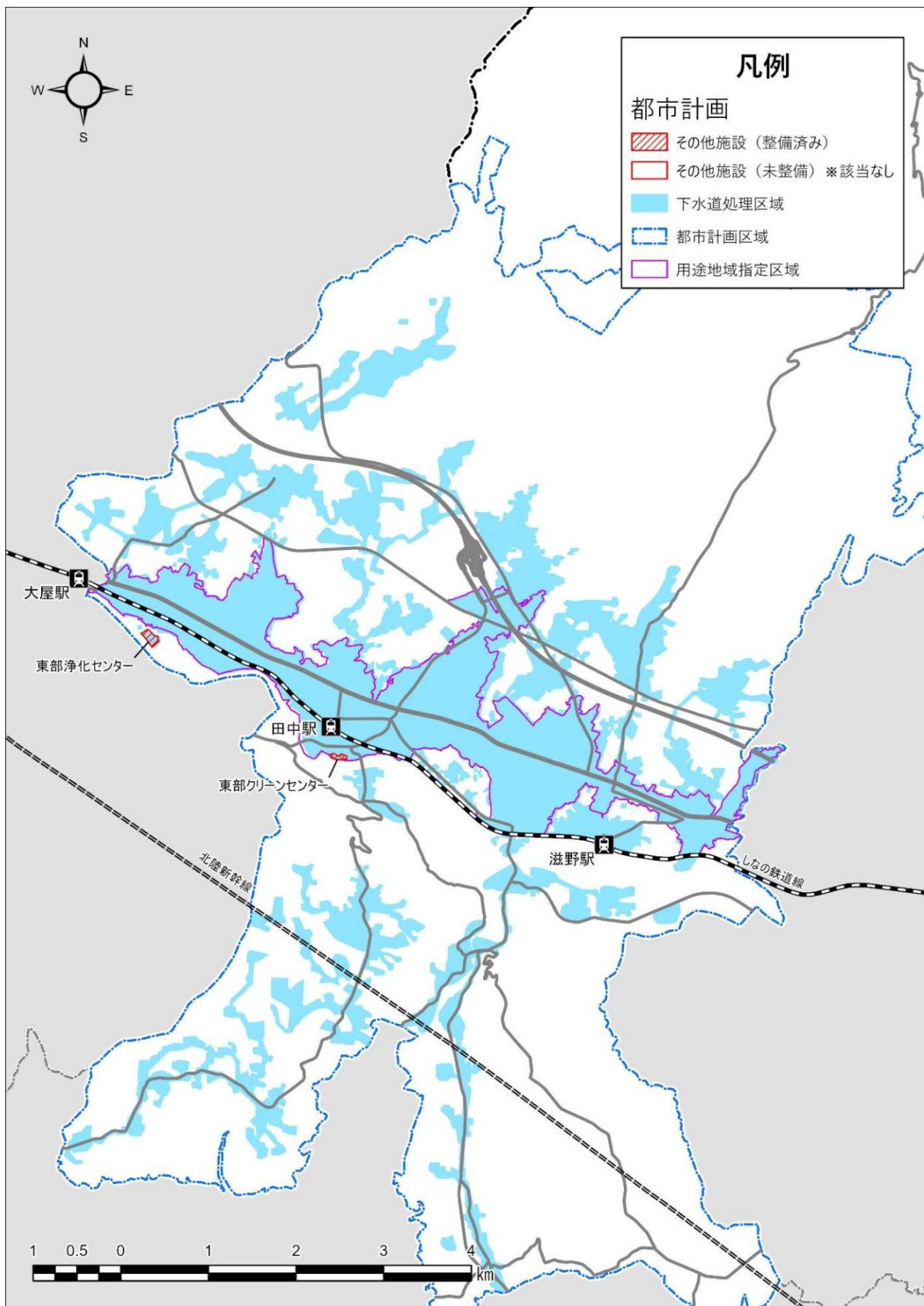
決定年月日	都市計画決定事項	事業許可
S59. 10. 18	計画区域面積 670ha	145ha
S63. 7. 6	東部第一幹線ルート変更	262ha
H 6. 9. 30	計画区域面積拡大 805ha	790ha
H11. 10. 21	計画区域面積拡大 842ha	990ha
H16. 4. 1	町村合併に伴う名称変更	
H31. 3. 28	計画区域面積拡大 990ha	
R3. 3. 29	計画区域面積拡大 1,073ha	

資料：令和6年度 東御市都市計画基礎調査

下水道（污水）地区別事業計画区域面積

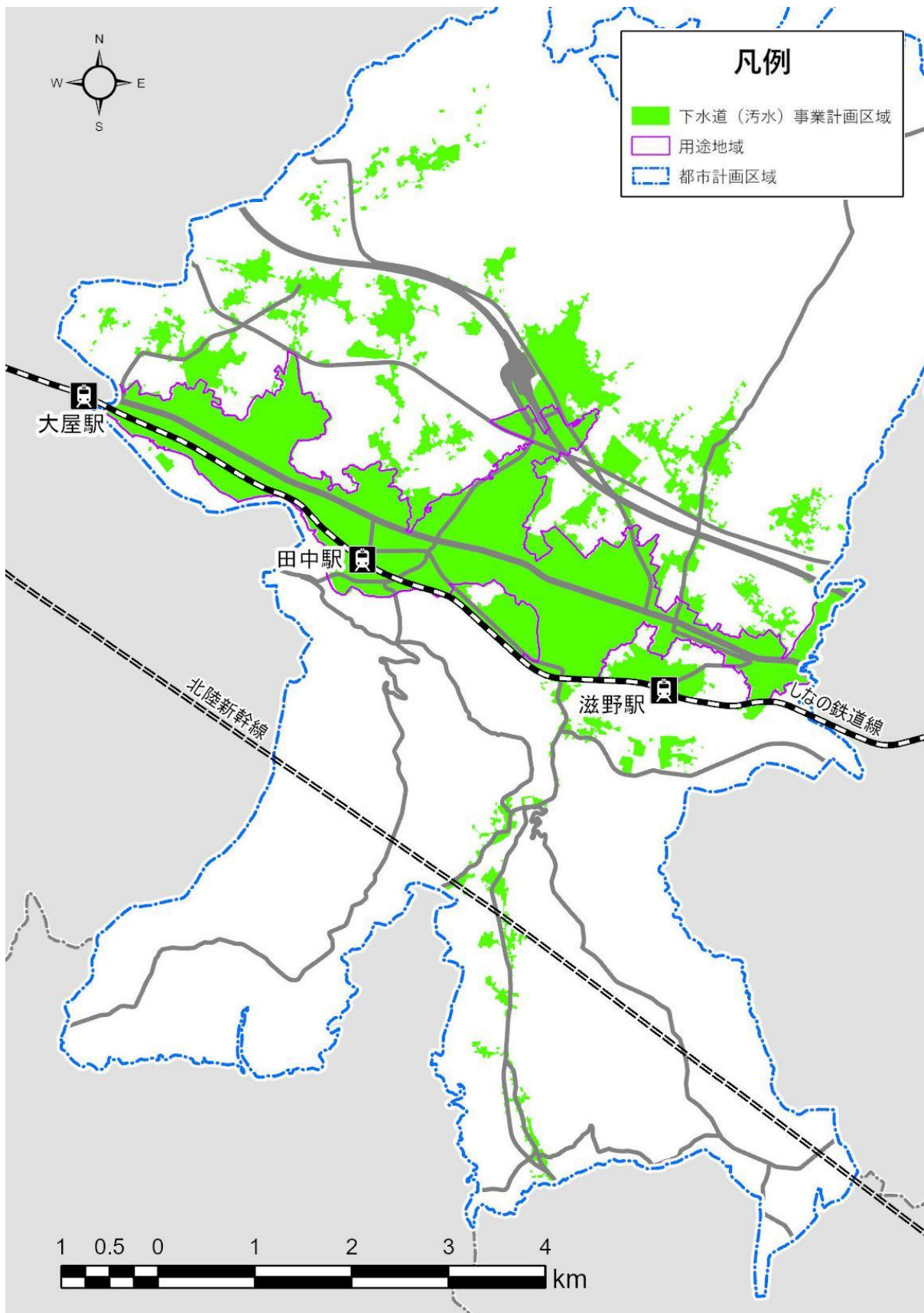
地区	下水道（污水）事業計画区域面積	
	面積 (ha)	割合 (%)
田沢	22.2	1.9
和南部	43.0	3.6
海野	85.4	7.2
曾根	65.5	5.5
海善寺	70.3	6.0
東上田	38.6	3.3
寺坂	5.6	0.5
新屋	20.9	1.8
常田祢津	209.3	17.7
県	31.1	2.6
田中	84.3	7.1
下沖	28.7	2.4
滋野北	41.3	3.5
金井	13.3	1.1
滋野東	27.9	2.4
滋野	170.8	14.5
羽毛田	165.2	14.0
北御牧	57.0	4.8
合計	1,180	100.0

資料：東御市公共下水道事業計画一般平面図（污水）（東御市）



都市施設（その他施設、公共下水道）の整備状況

資料：令和元年度 東御市都市計画基礎調査、生活排水エリアマップ 2022（長野県）



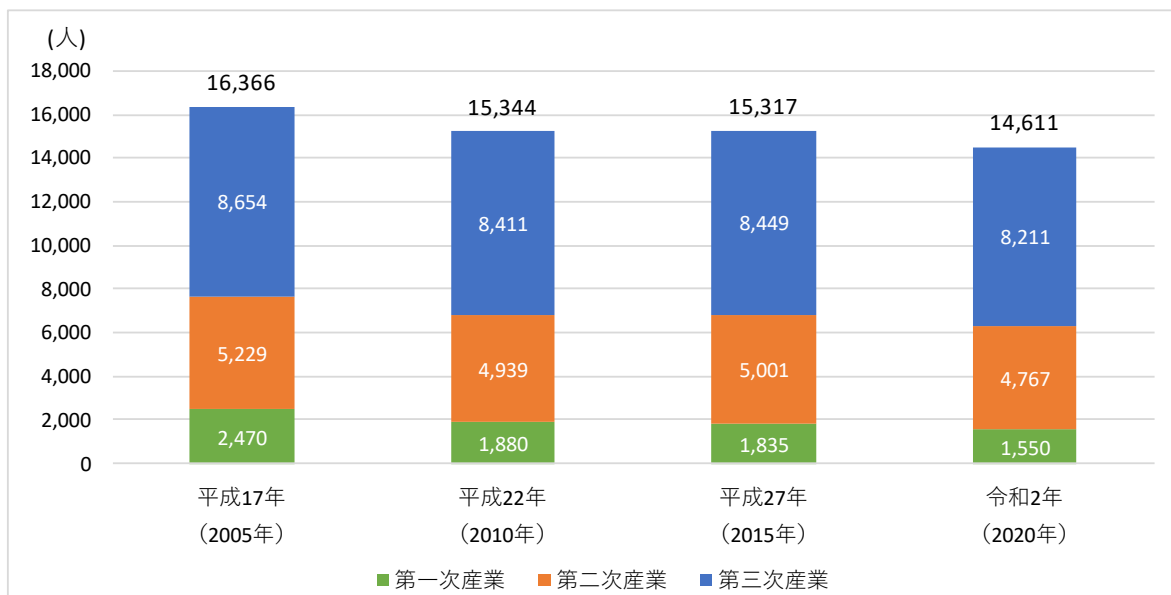
公共下水道（汚水）の事業計画区域

資料：下水道区域図（東御市）

8. 経済

(1) 産業別就業人口

就業者数は産業3部門全てで減少傾向にあり、総数においては平成17年からの15年間で約一割減となっています。ただし、医療・福祉部門や不動産業等では増加傾向となっています。



就業人口の流動

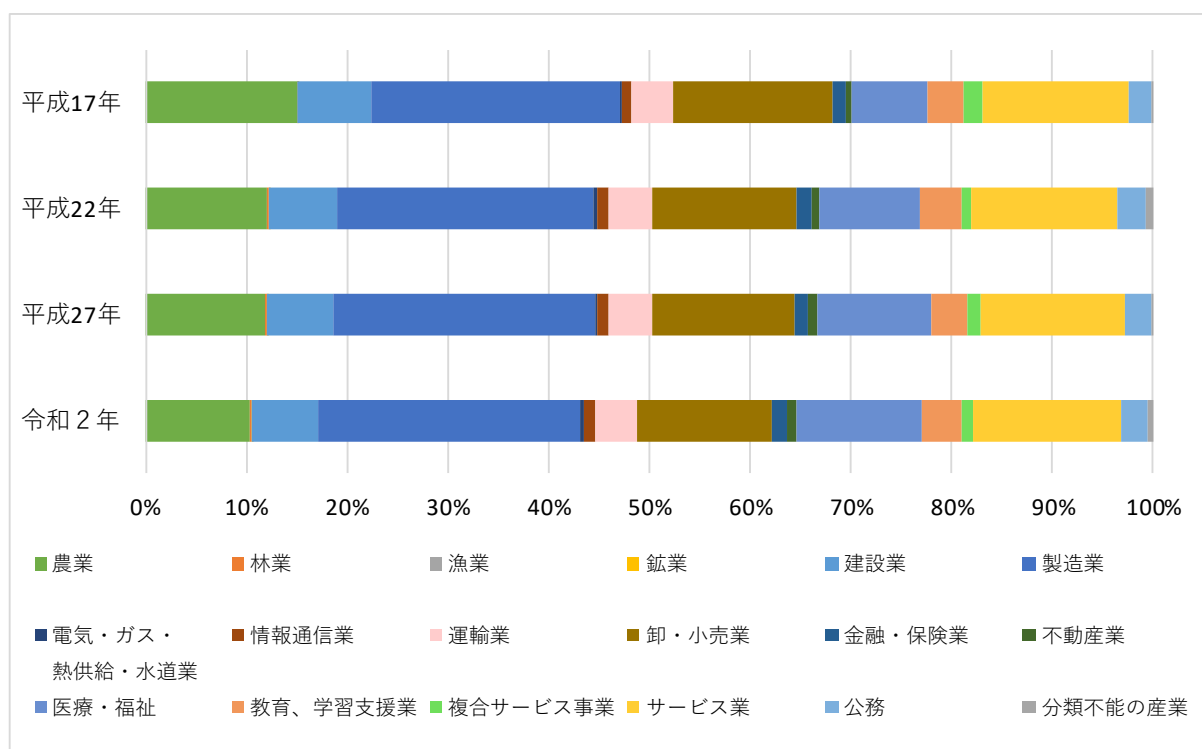
資料：東御市の統計 2024（東御市）

※総数には、「分類不能」を含む

産業大分類別 15 歳以上就業者数の割合

	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	医療・福祉	教育、学習支援業	複合サービス事業	サービス業	公務	分類不能の産業
平成17年	2,463	6	1	7	1,178	4,044	42	160	660	2,598	232	68	1,241	604	299	2,384	366	13
平成22年	1,856	24	—	9	1,024	3,906	54	175	668	2,191	244	114	1,532	621	160	2,236	416	114
平成27年	1,812	23	—	11	1,001	3,989	36	165	657	2,163	211	139	1,727	572	206	2,172	401	32
令和2年	1,520	30	—	4	960	3,803	35	161	616	1,962	211	135	1,817	574	173	2,138	389	83

資料：東御市の統計 2024（東御市）



産業大分類別 15 歳以上就業者数の割合

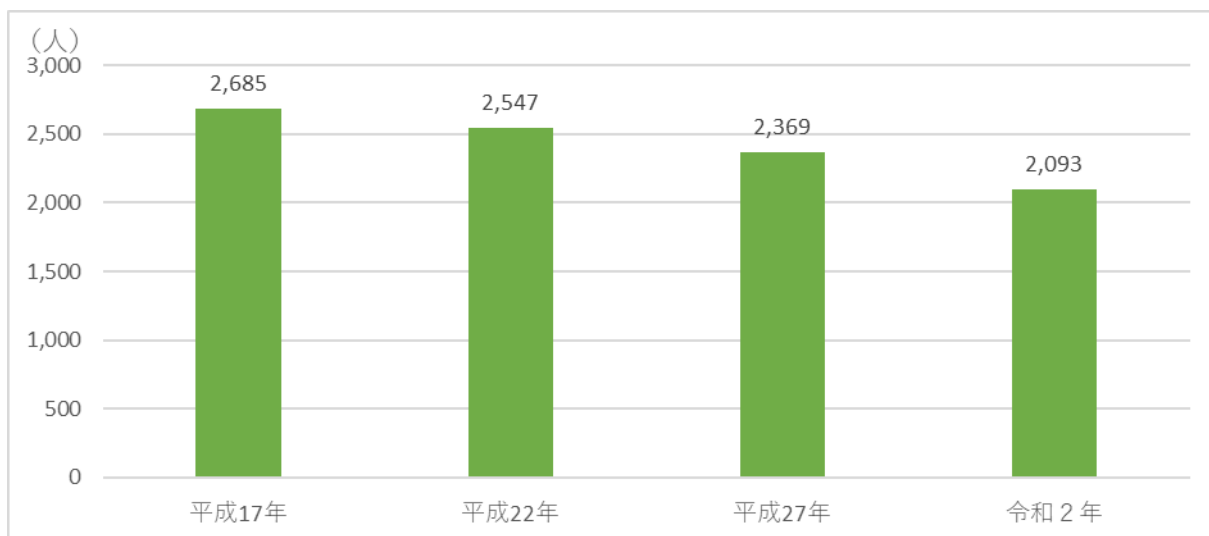
資料：東御市の統計 2024（東御市）

(2) 農業産出額の推移

本市では、水稲を中心として、白菜・レタスなどの野菜、ぶどうなどの果物が栽培されています。平成27年（2015年）には千曲川ワインバレー広域特区の認定を受けて、荒廃農地を活用したワイン用ぶどうの産地化に取り組んでいます。

農業人口については、東御市発足直後の平成17年（2005年）以降15年間で約2割減となっています。

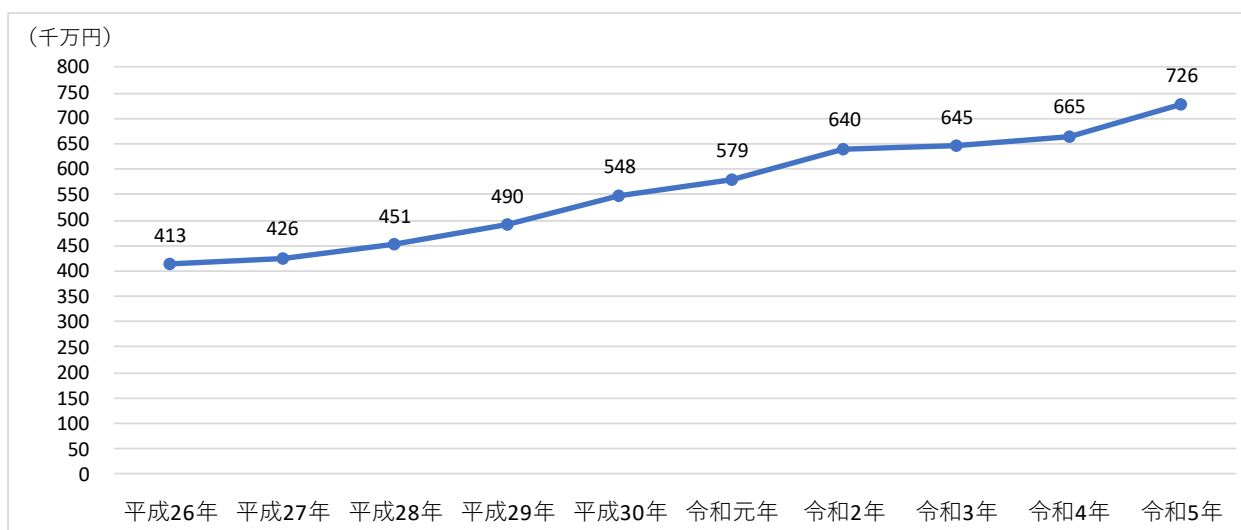
また、近年の農業産出額の推移をみると、平成26年（2014年）は41.3億円でしたが、令和5年（2023年）は72.6億円となっており、年々増加傾向にあります。



農家数の推移

資料：東御市の統計 2024（東御市）

※専業、兼業、自給的農家の総数

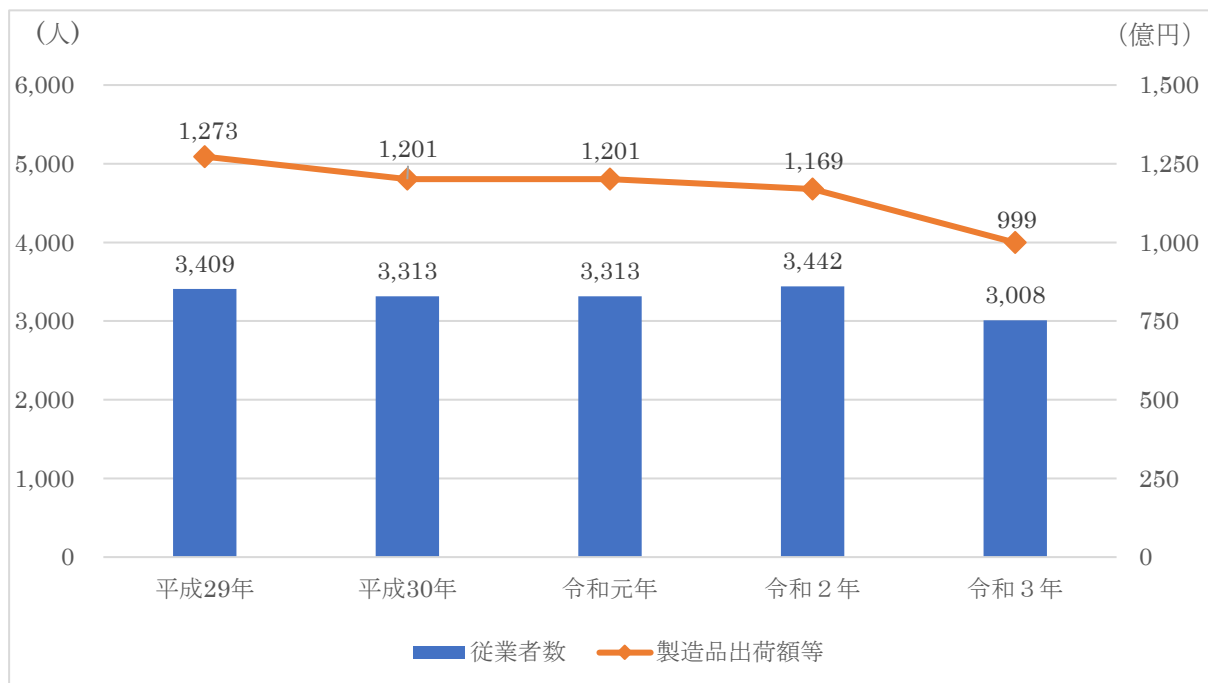


農業産出額（推計）の推移

資料：市町村別農業産出額（推計）（農林水産省）

(3) 製造品出荷額、従業者数の推移

近年、製造品出荷額については減少傾向にあり、令和3年（2021年）に1,000億円を下回りました。

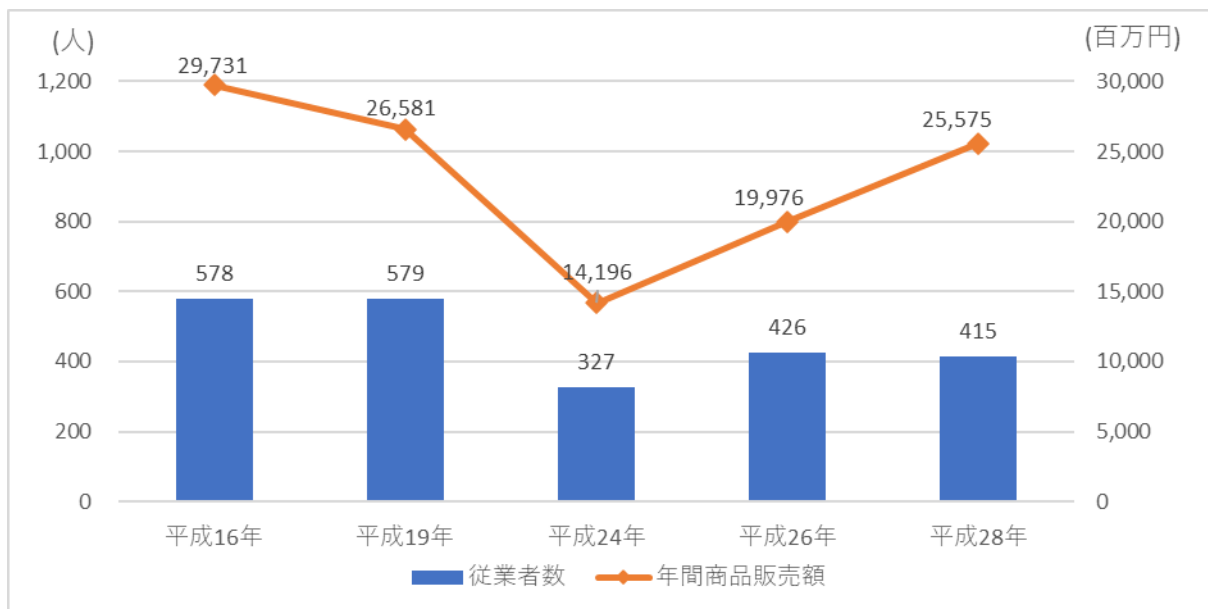


製造品出荷額等、従業者数の推移

資料：東御市の統計 2024

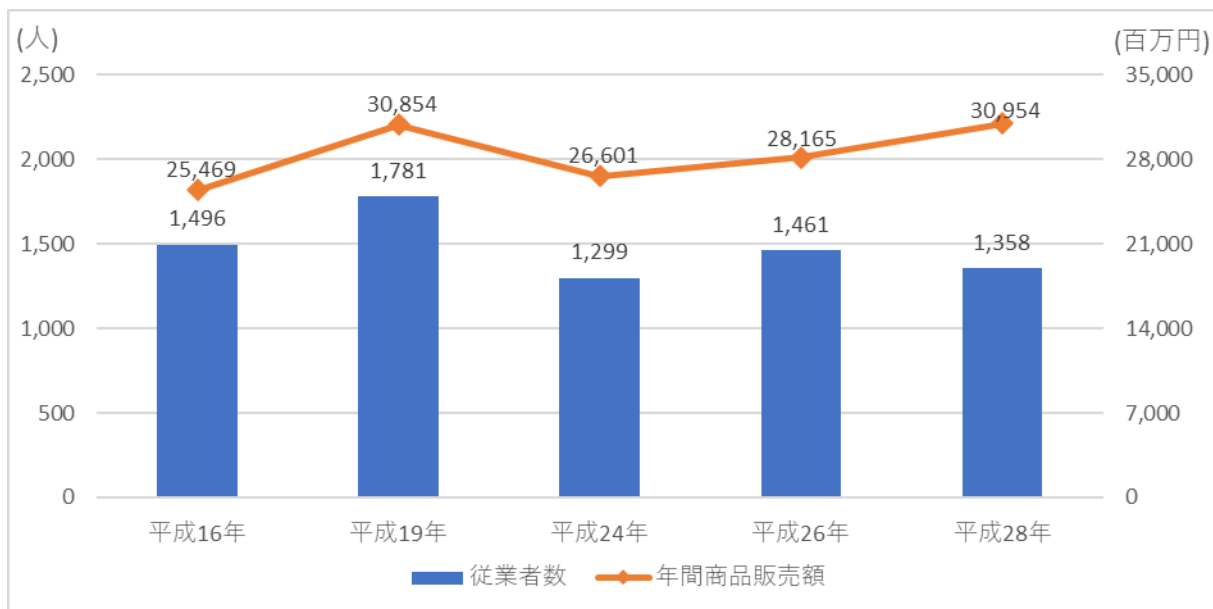
(4) 卸小売販売額

平成19年（2007年）から平成24年（2012年）にかけて卸・小売業の年間商品販売額の減少がみられましたが、それ以降は増加傾向にあります。



卸売業従業員数、年間商品販売額の推移

資料：東御市の統計 2024

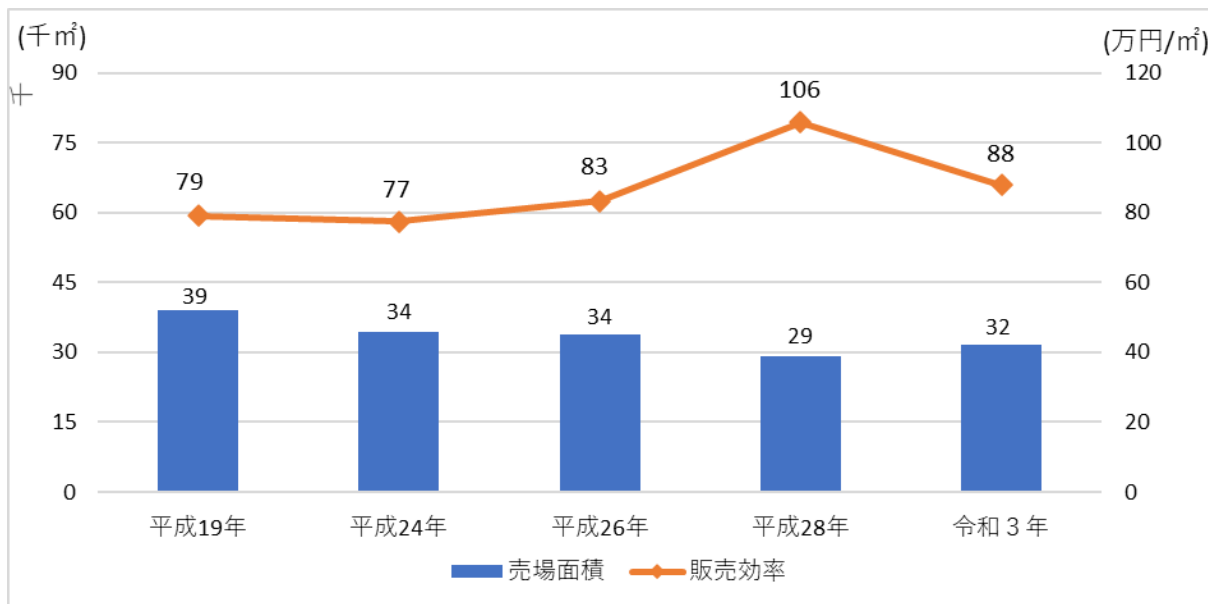


小売業従業員数、年間商品販売額の推移

資料：東御市の統計 2024

(5) 商業床面積・床効率の動向（小売業）

平成19年（2007年）から平成28年（2016年）にかけて販売効率は上昇傾向、売場面積は減少傾向となっていましたが、令和3年（2021年）に販売効率は低下、売場面積は増加に転じています。



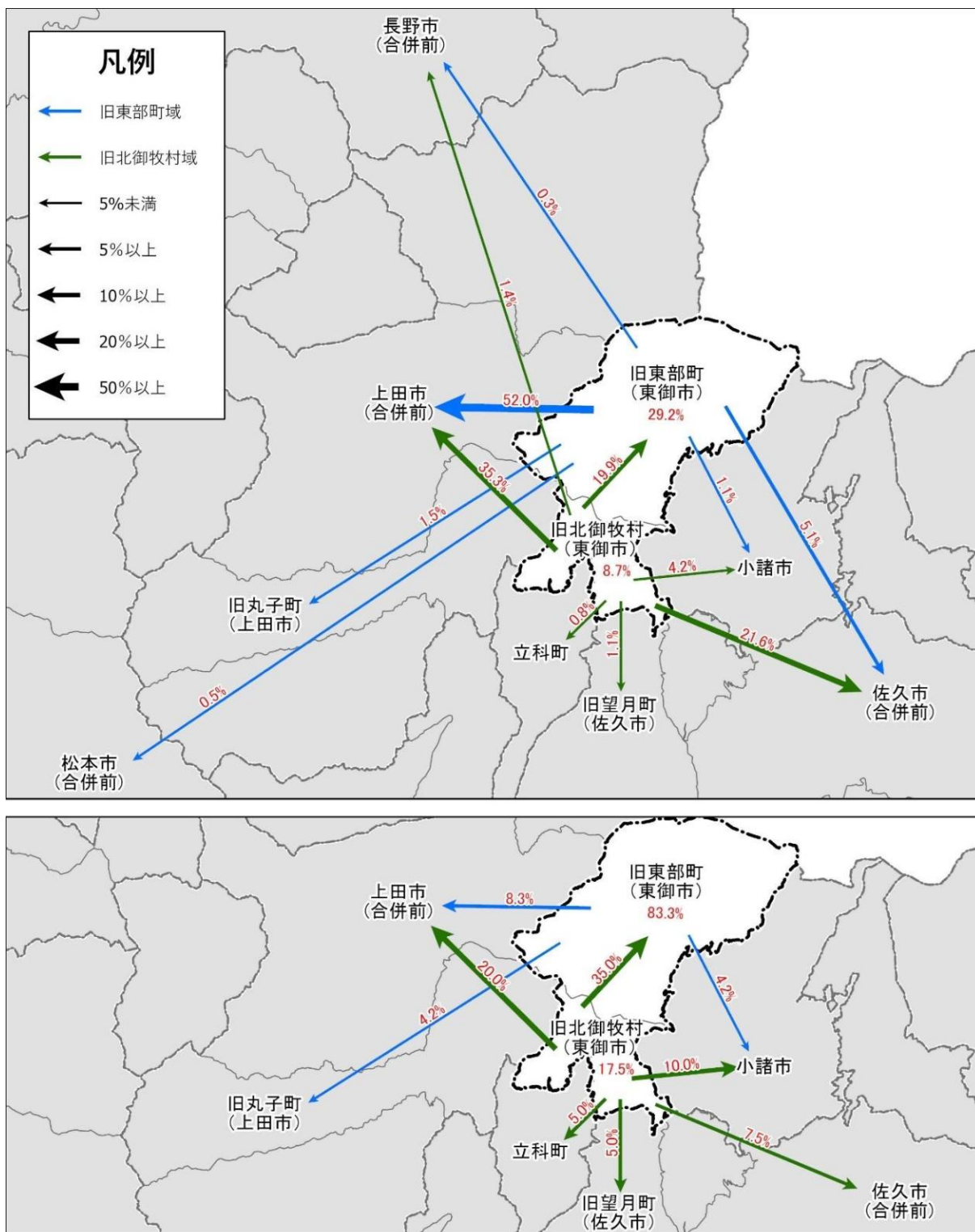
売場面積、販売効率の推移（小売業）

資料：東御市の統計 2024、経済センサス-活動調査（総務省統計局）

(6) 品目別買物動向

旧東部町域の全品目平均買物動向は、地元滞留率が29.2%、上田市（合併前）への流出が52.0%となっている。ただし、飲食料品については地元滞留率が83.3%となっている。

旧北御牧村域の全品目平均買物動向は、地元滞留率が8.7%であり、域外への流動では上田市（合併前）が35.5%、佐久市（合併前）が21.6%、旧東部町域が19.9%となっている。

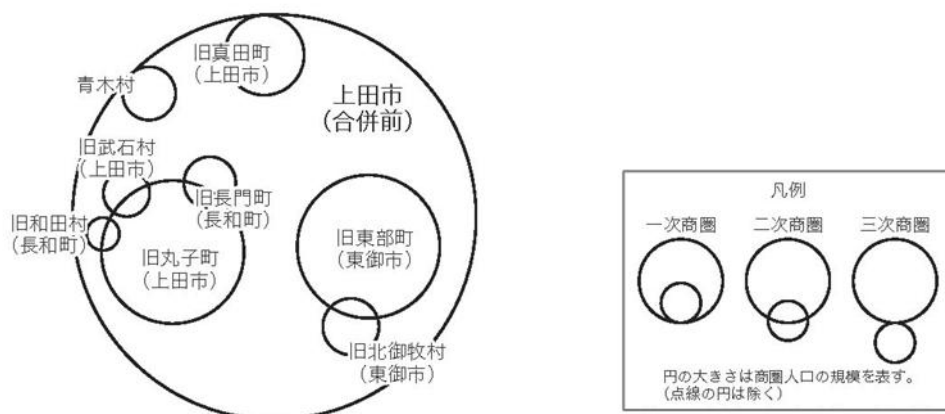


市町村別買物状況 (上段：全品目 / 下段：飲食料品)

資料：長野県商圏調査報告書 令和3年度 (長野県)

(7) 商圏分布

旧東部町域は、上田市（合併前）の一次商圏、佐久市（合併前）の三次商圏に含まれており、旧北御牧村域は、上田市（合併前）の一次商圏、佐久市（合併前）・旧東部町（東御市）の二次商圏に含まれています。



	上田市（合併前）		旧東部町（東御市）	
	R3年度	前回調査比	R3年度	前回調査比
商圏人口	238,638人	-16.9%	29,847人	-2.1%
吸引人口	164,679人	-3.5%	8,276人	18.5%
吸引力係数	137.5%	-7.9ポイント	32.8%	4.2ポイント

商圏構造（概念図）《全品目平均》

資料：長野県商圏調査報告書 令和3年度（長野県産業労働部）

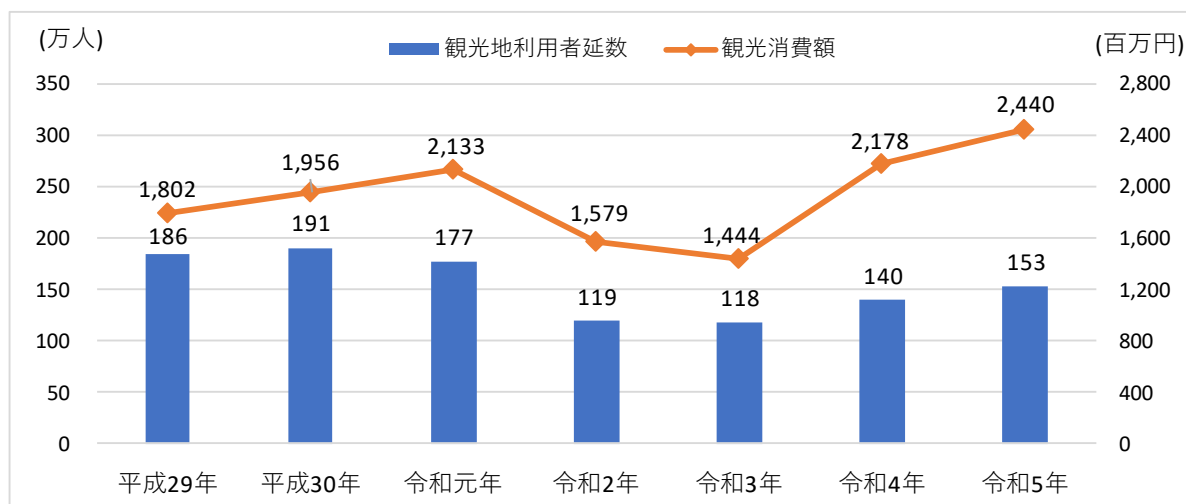
【商圏の説明】

- ・商圏とは、商業施設・集積等が顧客を吸引する地理的な範囲を示している。
- ・長野県商圏調査では、各地域から当該商業施設・集積への流出率に応じて次の3区分に分類している。
 - ア 一次商圏：地域の消費需要の30%以上を吸引している地域
 - イ 二次商圏：地域の消費需要の10%以上30%未満を吸引している地域
 - ウ 三次商圏：地域の消費需要の5%以上10%未満を吸引している地域

(8) 観光の推移

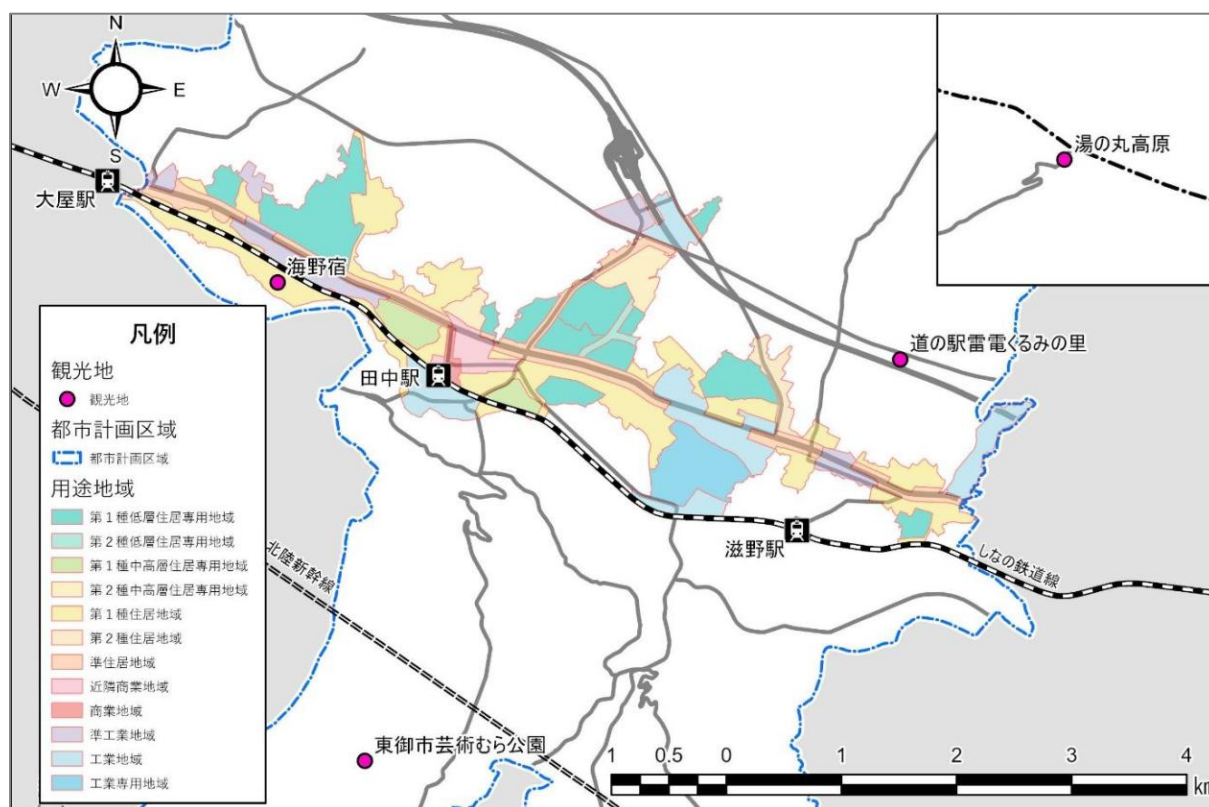
本市には、農産物や特産品を購入できる道の駅雷電くるみの里、四季を通して自然を楽しむ湯の丸高原、国の重要伝統的建築物群保存地区に指定されている旧北国街道の海野宿、毎年10月に「火のアートフェスティバル」が開催される芸術むら公園など、特色のある観光資源があります。

令和2年（2020年）から令和3年（2021年）にかけて新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用者数、消費額ともに大きく減少しましたが、令和4年（2022年）以降は回復傾向にあります。



観光地利用者数、観光消費額の推移

資料：長野県観光地利用者統計調査（長野県）



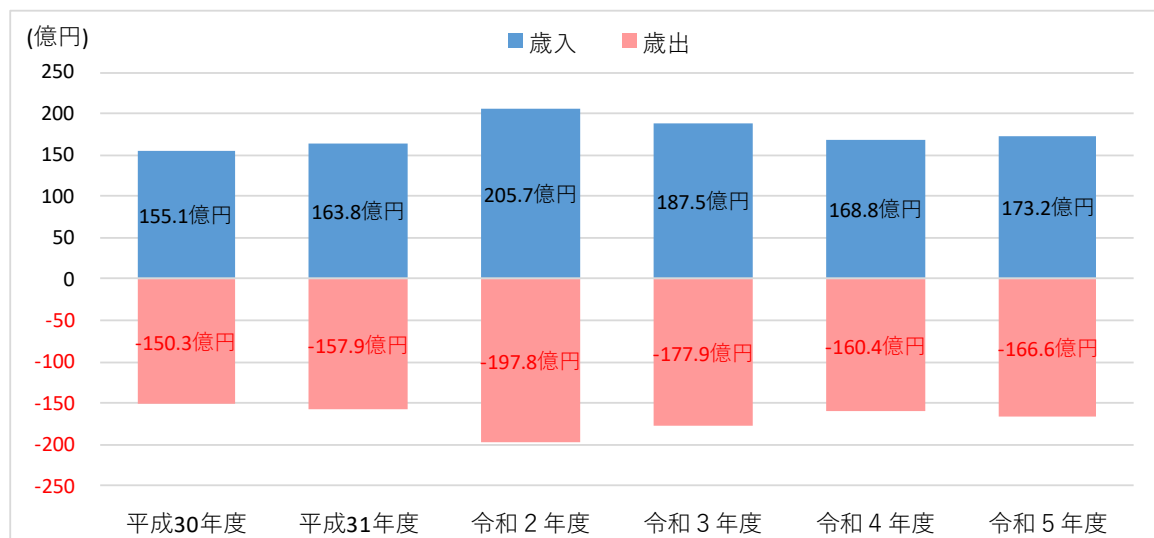
観光地の分布

9. 財政

(1) 歳入と歳出

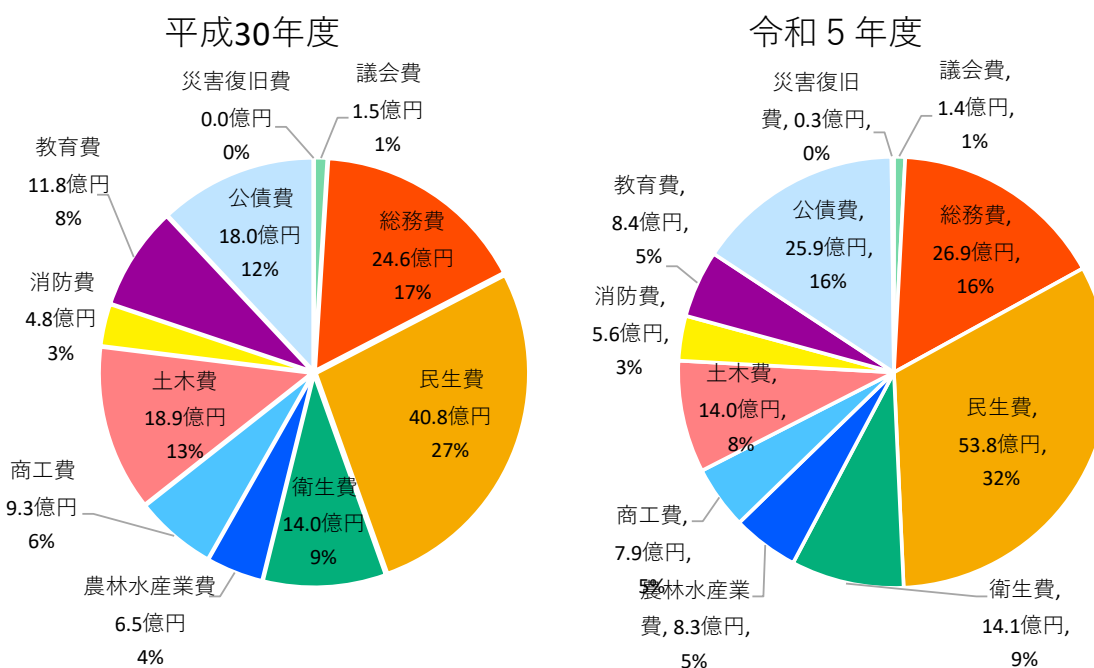
本市の歳入と歳出については、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度（2020年度）から令和3年度（2021年度）にかけてどちらも増加しましたが、令和5年度（2023年度）は再び増加しています。

平成30年度（2018年度）と令和5年度（2023年度）の歳出内訳を比較すると、子育て支援や高齢者福祉などの民生費が上昇しており、今後も増加していくことが予想されます。



歳入・歳出の推移

資料：東御市の統計 2024



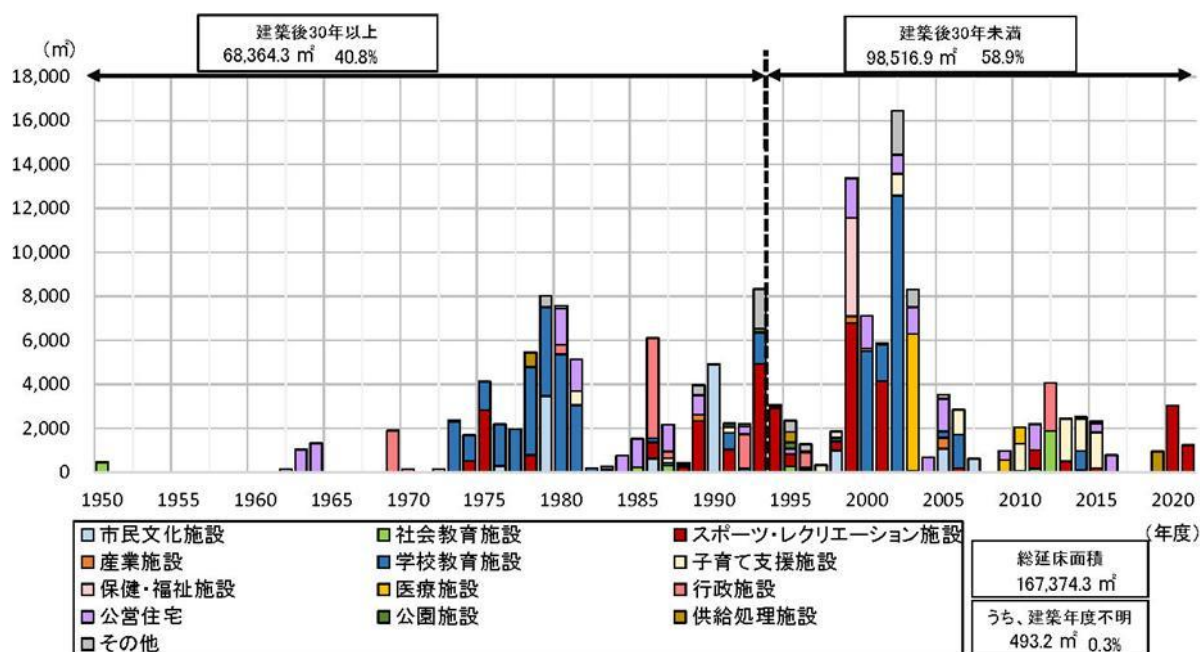
歳出内訳の推移

資料：東御市の統計 2024

(2) 公共施設の維持・耐用年数

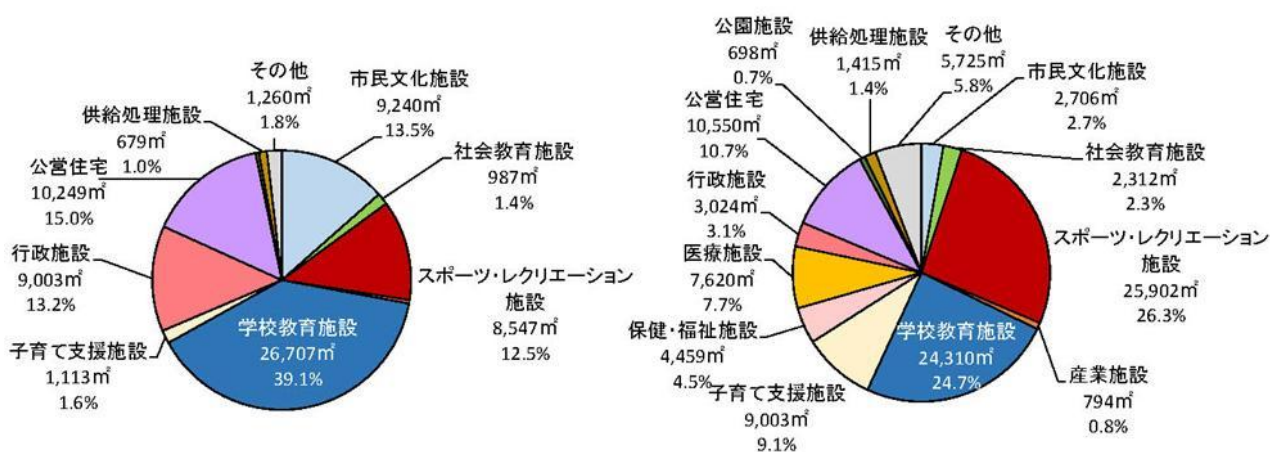
本市の公共施設の建築年度別の延床面積の状況を見ると、建築後30年未満の施設が98,517㎡（58.9%）と比較的新しい施設が多くを占めていますが、学校教育施設は約半分が建築後30年以上を経過しています。

建築物は一般的に、建築後30年程度で大規模改修、60年程度で更新（建替え）が必要とされており、今後はこれらの公共施設の老朽化に対応していく必要があります。



公共施設の建築年度別延床面積

資料：東御市公共施設等総合管理計画[改訂版]



施設の構成比（左：建築後30年以上 / 右：建築後30年未満）

資料：東御市公共施設等総合管理計画[改訂版]

公共施設の建築年度別延床面積

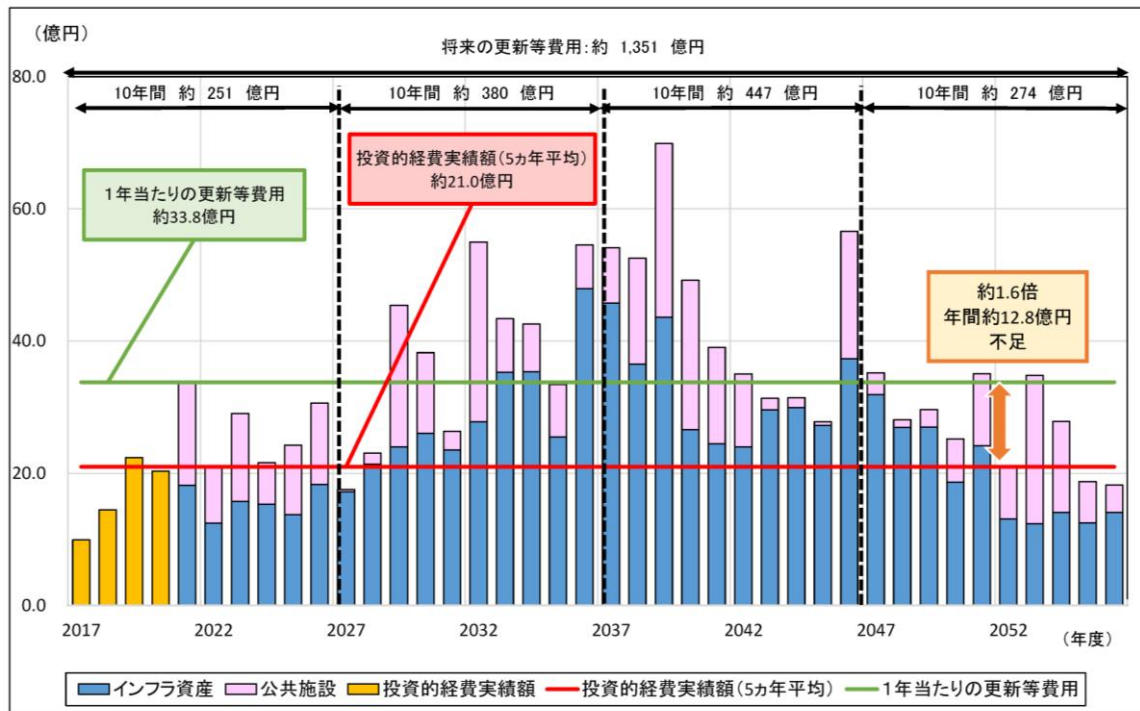
施設分類	延床面積 (㎡)							合計
	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上 50年未満	50年以上	年度不明	
市民文化施設	16.0	1,687.1	1,002.6	5,511.2	3,728.6	0.0	0.0	11,945.5
社会教育施設	0.0	2,052.9	259.0	527.0	0.0	460.0	493.2	3,792.1
スポーツ・レクリエーション施設	5,008.1	1,034.6	19,859.4	4,393.3	4,153.4	0.0	0.0	34,448.8
産業施設	0.0	482.4	311.4	299.1	0.0	0.0	0.0	1,092.9
学校教育施設	853.0	1,930.9	21,526.2	1,431.3	25,275.4	0.0	0.0	51,016.8
子育て支援施設	5,054.6	2,363.8	1,584.2	486.1	627.4	0.0	0.0	10,116.1
保健・福祉施設	0.0	0.0	4,458.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4,458.7
医療施設	75.8	7,544.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,620.3
行政施設	0.0	2,182.3	842.1	6,533.0	434.0	2,036.2	0.0	12,027.7
公営住宅	1,192.9	4,962.0	4,394.8	4,634.3	3,121.2	2,493.1	0.0	20,798.2
公園施設	118.8	13.7	565.1	281.0	0.0	0.0	0.0	978.6
供給処理施設	946.0	0.0	469.0	0.0	679.0	0.0	0.0	2,094.0
その他	0.0	972.3	4,752.6	469.0	654.7	136.1	0.0	6,984.7
合計	13,265.3	25,226.4	60,025.2	24,565.2	38,673.7	5,125.4	493.2	167,374.3
構成比	7.9%	15.1%	35.9%	14.7%	23.1%	3.1%	0.3%	100%

※端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある。

資料：東御市公共施設等総合管理計画[改訂版]（東御市）

公共施設とインフラ資産（道路や上下水道等）にかかる更新等の費用は、公共施設等総合管理計画を改訂した平成29（2017）年からの40年間で約1,351億円、年平均では約33.8億円かかると試算されています。これは、平成29（2017）年時点で計画されていた投資的経費実績額（投資的経費のうち既存更新分であり、2016年度から2020年度の5ヵ年平均）の約21.0億円と比較すると、約1.6倍（約12.8億円増）に相当します。

以上のことから、今後は、道路、上水道、下水道等のインフラ資産の長寿命化を図りつつ、公共施設の効率的な運用、収益性を高める取組み等により、投資的経費を確保していく必要があります。



※公共施設とインフラ資産の対策後の費用の合計。

※投資的経費実績額：公共施設の投資的経費実績額とインフラ資産の投資的経費実績額を合計したもの。

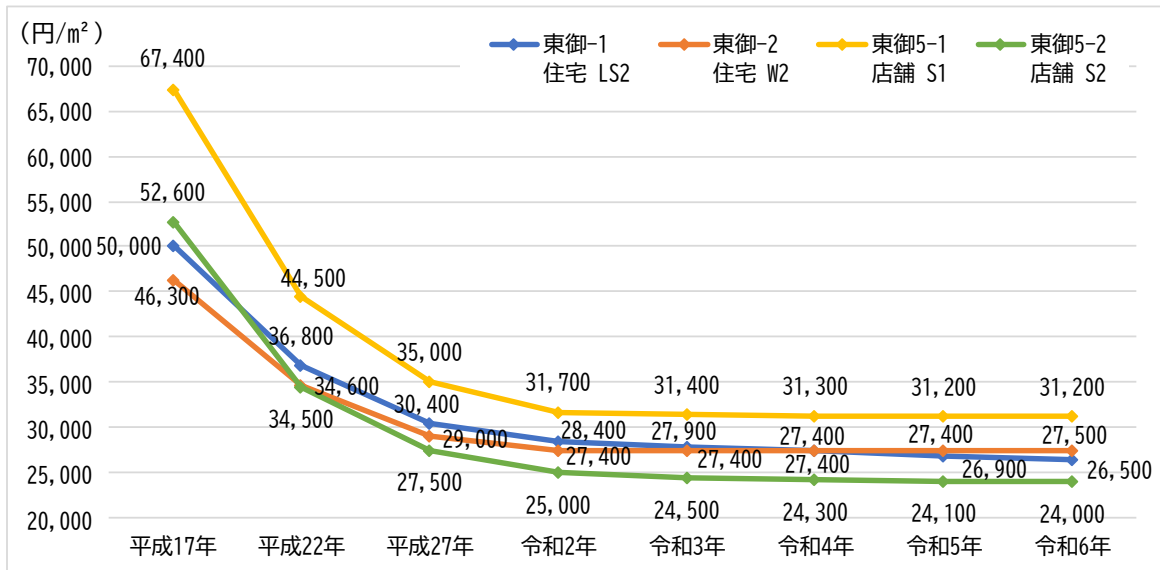
公共施設・インフラ資産にかかる将来の更新等費用（長寿命化対策反映後の費用）

10. 地価動向

(1) 地点別地価の推移

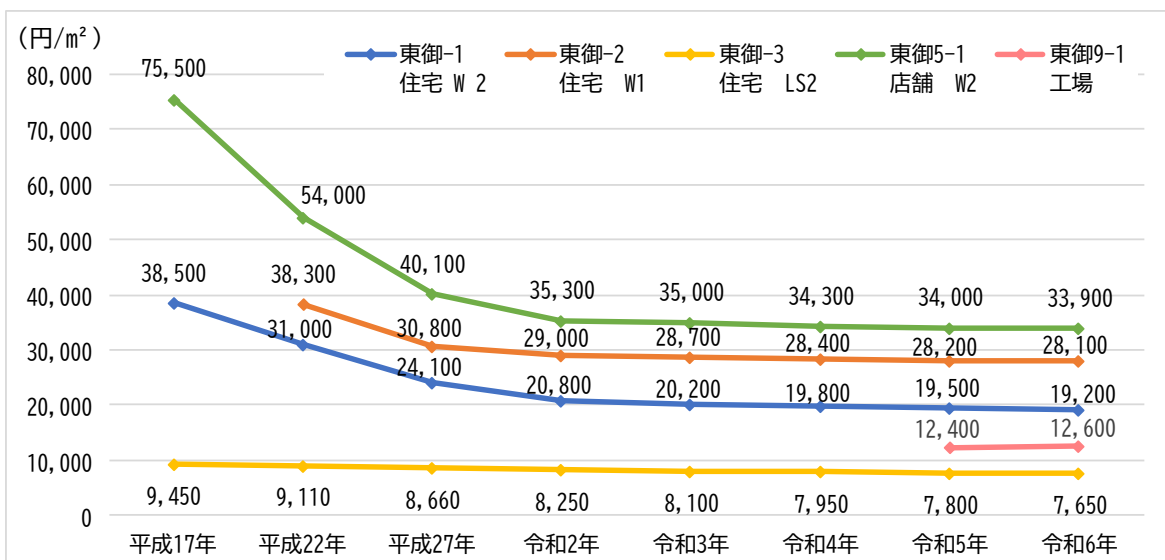
地価公示の推移をみると、住宅地、商業地ともに価格が減少傾向となっておりますが、令和2年（2020年）以降はほぼ横ばいとなっております。なお、令和6年（2024年）の公示価格は、住宅地が26,500円、27,500円、商業地が24,000円、31,200円となっております。

また、都道府県地価調査においても減少傾向にありますますが、近年は減少率が鈍化してきています。



地価公示価格の推移

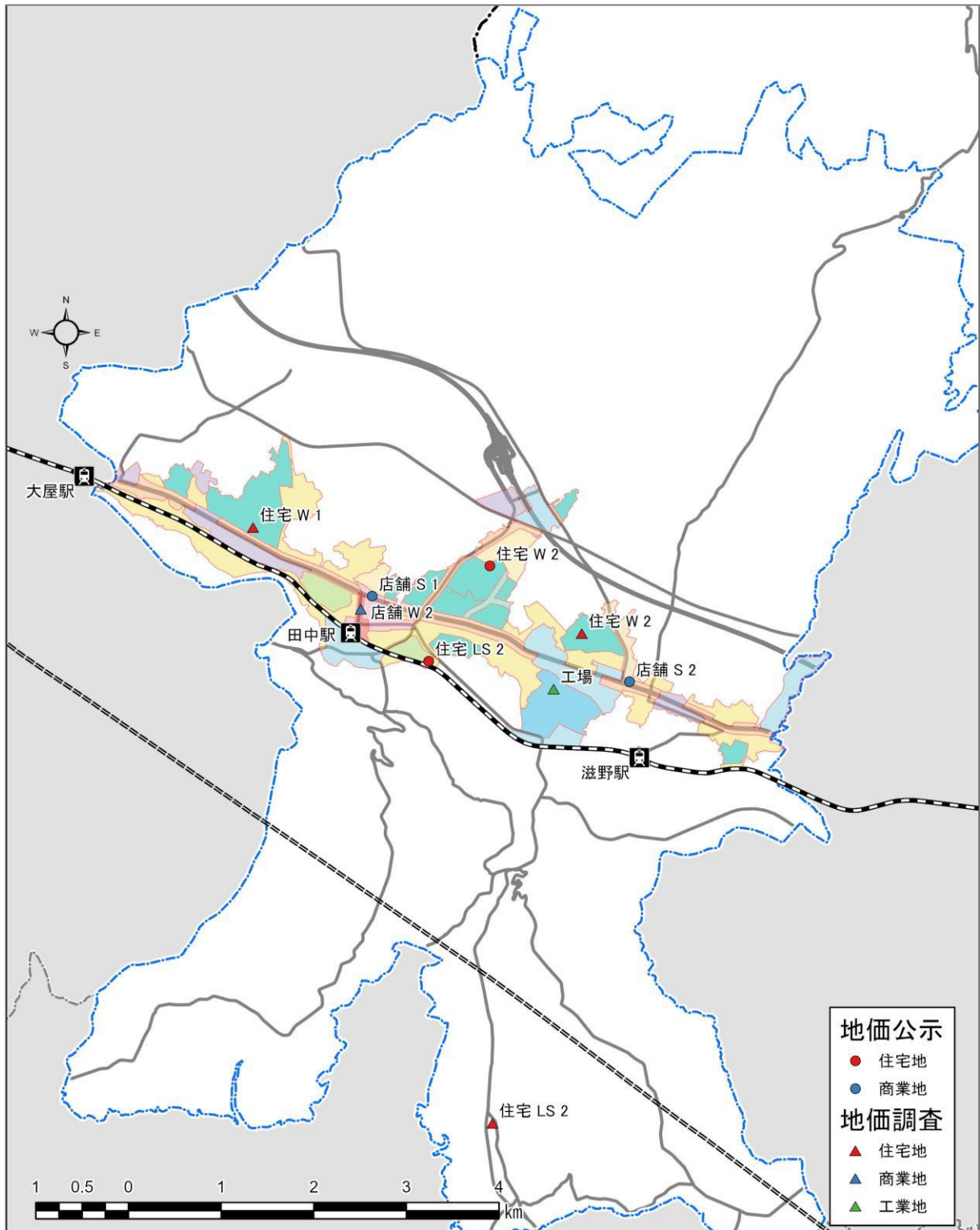
資料：国土交通省不動産情報ライブラリ（国土交通省）



都道府県地価調査 基準地価格の推移

資料：国土交通省不動産情報ライブラリ（国土交通省）

※東御-2（住宅 W1）は平成 21 年から、東御 9-1（工場）は令和 5 年から調査。



地価公示調査地点

資料：国土交通省不動産情報ライブラリ（国土交通省）

11. 災害リスク

(1) 災害履歴

① 令和元（2019）年 東日本台風（台風第19号）

千曲川流域を中心とした河川の氾濫や浸水害、強風による死者、負傷者などの人的被害に加え、市内全域にわたり、住宅、道路・橋梁・河川等の土木施設、社会福祉施設、学校教育施設、商業施設や工場等の事業所、農地・農林業用施設など甚大な被害が発生し、当市は激甚災害認定及び災害救助法の適用を受けることとなりました。また、電気・ガス・水道などのライフラインも停止し復旧までに時間を要しました。

○ 人的被害及び家屋の損壊等の状況

区分	概要等
人的被害	死者1名・軽傷1名 田中橋付近道路陥没により車ごと千曲川へ転落
住家被害	一部損壊 31世帯 45人（内床上2世帯 29人含む）（内床下1世帯4人含む）、 床下浸水のみ 2世帯2人
事業所等被害	【建設業】一部損壊1件（内床下1件）、【製造業】一部損壊 2件（内床上1件）、 【卸売業・小売業】一部損壊1件（内床上1件）、 【商業・サービス業】全壊1件（内床下1件）、一部損壊 3件（内床上3件）、 床下浸水のみ 1件
建造物等被害	【全壊】1件（内床下1件）【一部損壊】8件（内床上1件、床下4件） 【床上浸水のみ】1件、【床下浸水のみ】3件
その他	ガスパイプライン破管（海野宿橋：国際石油開発帝石）

○ インフラの被害状況

種別	概要等
道路	【土砂崩落及び堆積、道路陥没 等】県道 24カ所（丸子東部インター線等） 市道・水路 54カ所（白鳥神社線（海野宿橋）、島川原御牧原線等）
橋梁	【下部工崩落、護岸崩落、落橋 等】7カ所（布下橋、切久保橋、田中橋、海野宿橋、 本下之城、赤岩本郷4号橋、潜り橋）
河川	【護岸崩落、土砂堆積等】31カ所（千曲川、鹿曲川、所沢川等）
電気	【停電】市内 540戸（16日 14:23 全戸復旧）
水道	【断水】市内 421戸（19日 17:00 全戸復旧） （布下区、島川原区、大日向区、切久保区の一部、常満区、光が丘区）

○ 農業被害

区分	概要等
農地	【法面崩落 等】 284カ所
農業施設	【水路等】 87カ所
農作物	【リンゴ、ブドウ、水稲 等】 49カ所
林道	【法面崩落、倒木 等】 9カ所
山林	【斜面崩落 等】 8カ所



崩落した田中橋の様子



崩落した海野宿橋の様子



崩落した布下橋の様子

② 平成 26 (2014) 年 2 月 大雪災害

市内でも約 80 cm に達する積雪があり、交通機関が混乱するほか、農業用施設等が損壊する被害が発生しました。

市ではいち早く小中学校の臨時休校や市立保育園の臨時休園、各種施設の臨時休館、イベント等の中止を決めたほか、公式ホームページやメール配信システム、エフエムとうみを通じて道路状況等の情報を発信し、17 日には「雪害対策本部」を設置しました。

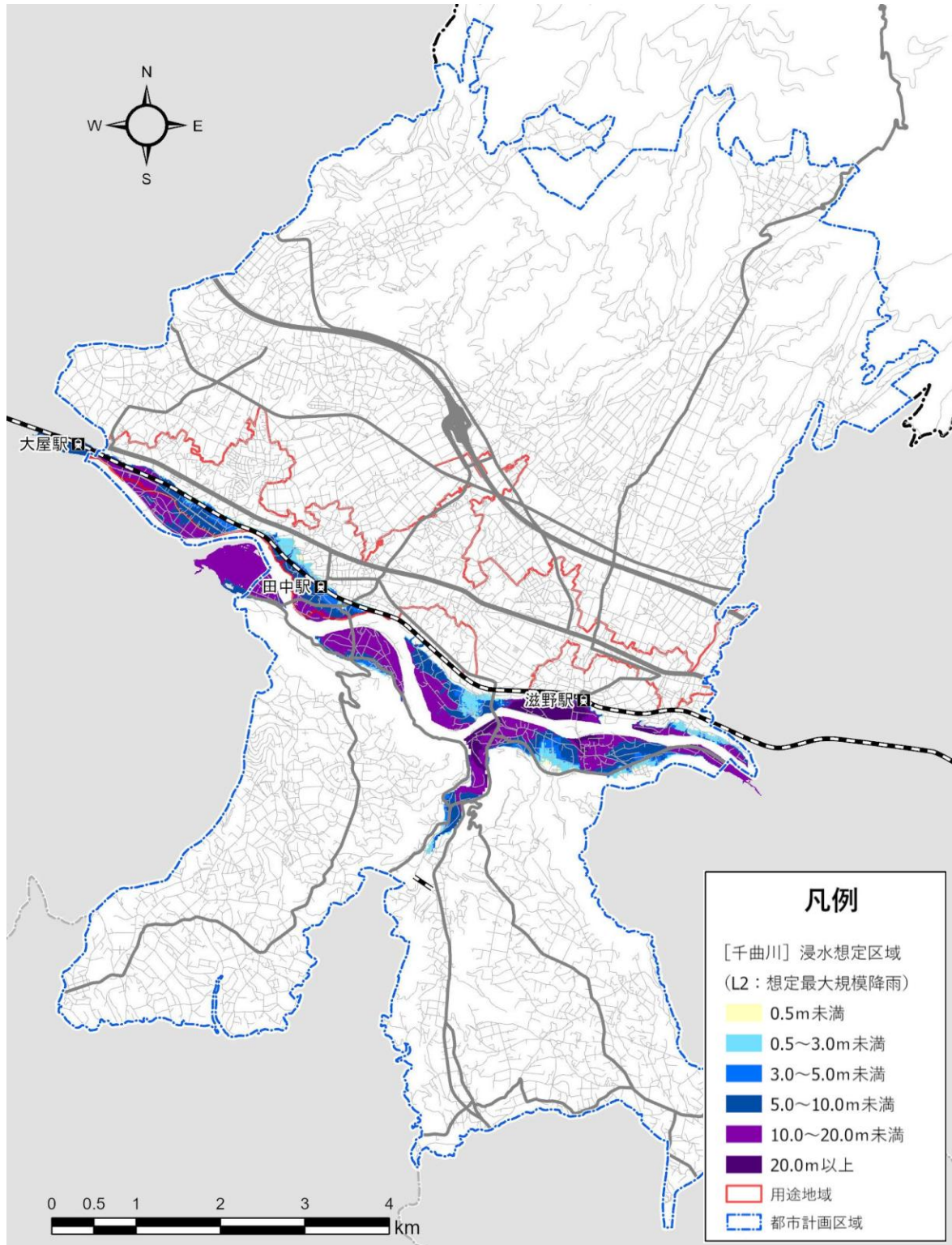


2014 年 2 月の降雪時の様子

(2) 水害リスク

① 浸水想定区域（[千曲川]L2：想定最大規模降雨）

水防法による千曲川の浸水想定区域「(L2：想定最大規模降雨)」をみると、千曲川沿いで浸水深20.0m未満が分布しています。

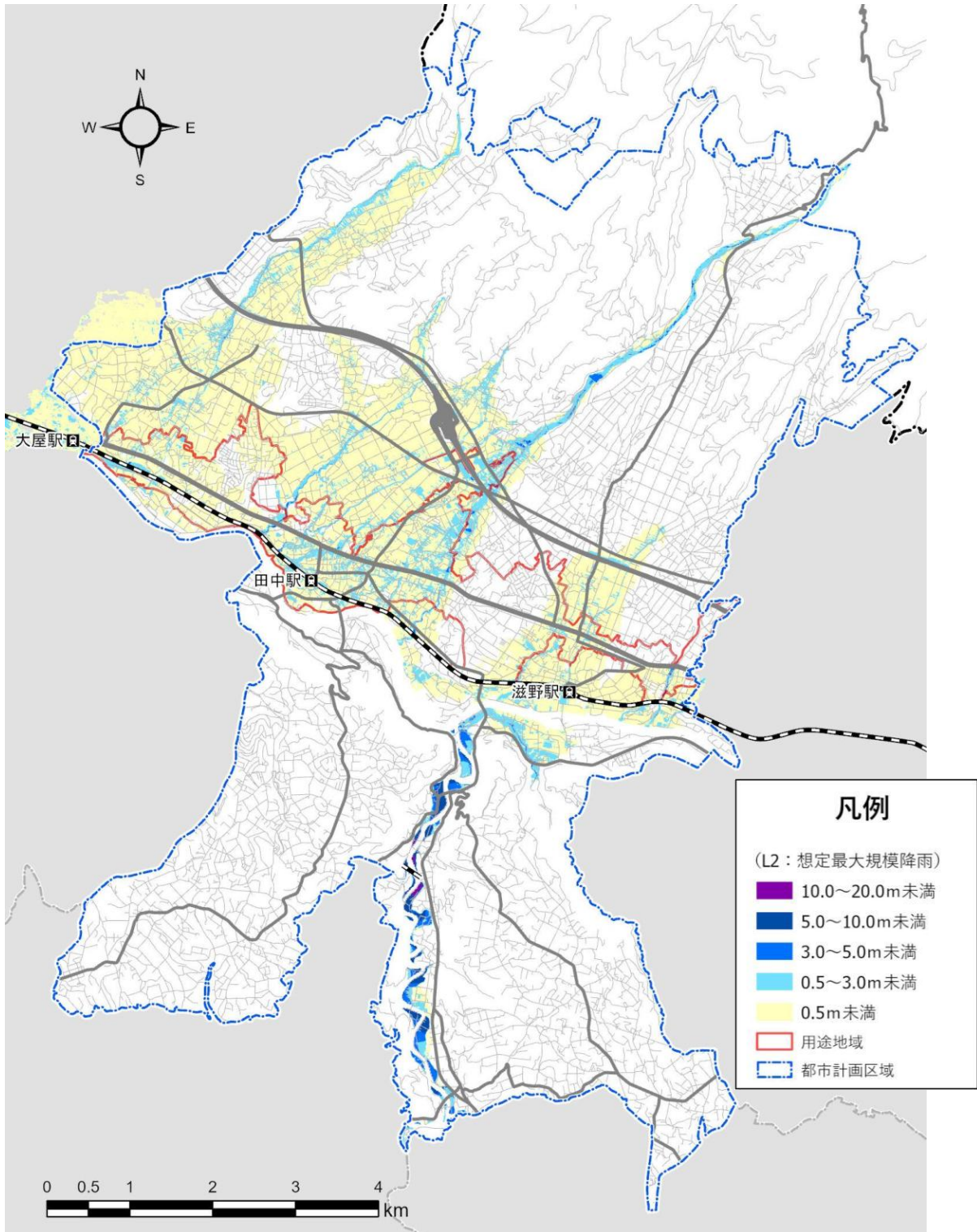


浸水想定区域（[千曲川]L2：想定最大規模降雨）の指定状況

資料：国土数値情報 洪水浸水想定区域データ（河川単位） 令和2年度(2020年度)版

② 浸水想定区域（〔中小河川〕L2：想定最大規模降雨）

水防法による中小河川（笠石川、成沢川、三分川、求女川、針ノ木川、所沢川、小相沢川、西沢川、大石沢川、平沢川）の「浸水想定区域（L2：想定最大規模降雨）」をみると、用途地域周辺を中心に浸水深3.0m未満が広く分布しています。



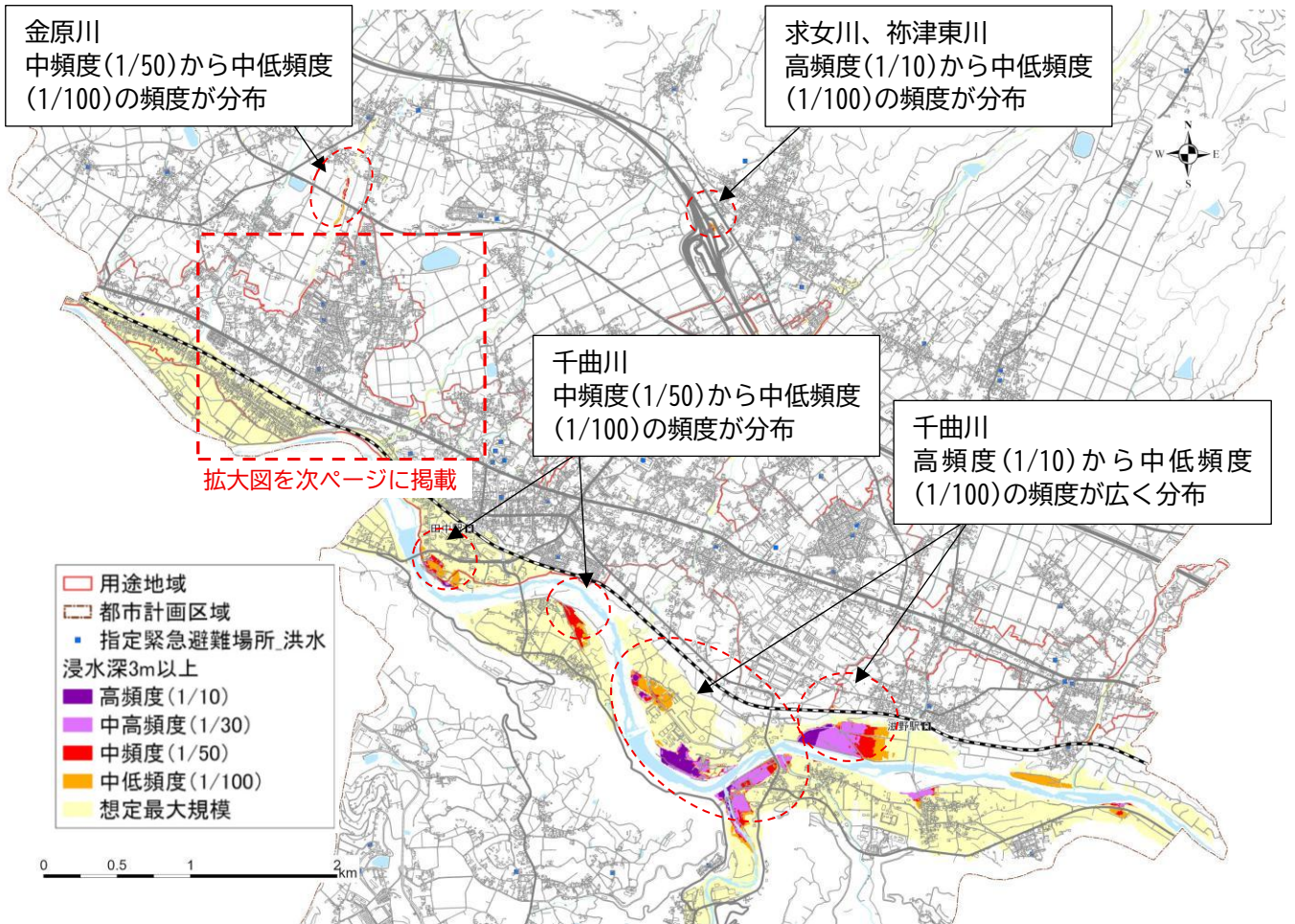
浸水想定区域（〔中小河川〕L2：想定最大規模降雨）の指定状況

資料：ハザードマップ（東御市） 令和3年度(2021年度)版

③ 発生頻度別の浸水想定（浸水深3m以上）

国及び長野県管理の河川（千曲川、笠石川、成沢川、金原川、三分川、求女川、祢津東川、所沢川、針ノ木川、西沢川、大石沢川、平沢川）について、用途地域周辺の浸水深3m以上の水害リスクマップ（浸水頻度図）※をみると、千曲川沿いに高頻度（年超過確率1/10）から中低頻度（1/100）の区域が集中して分布しています。

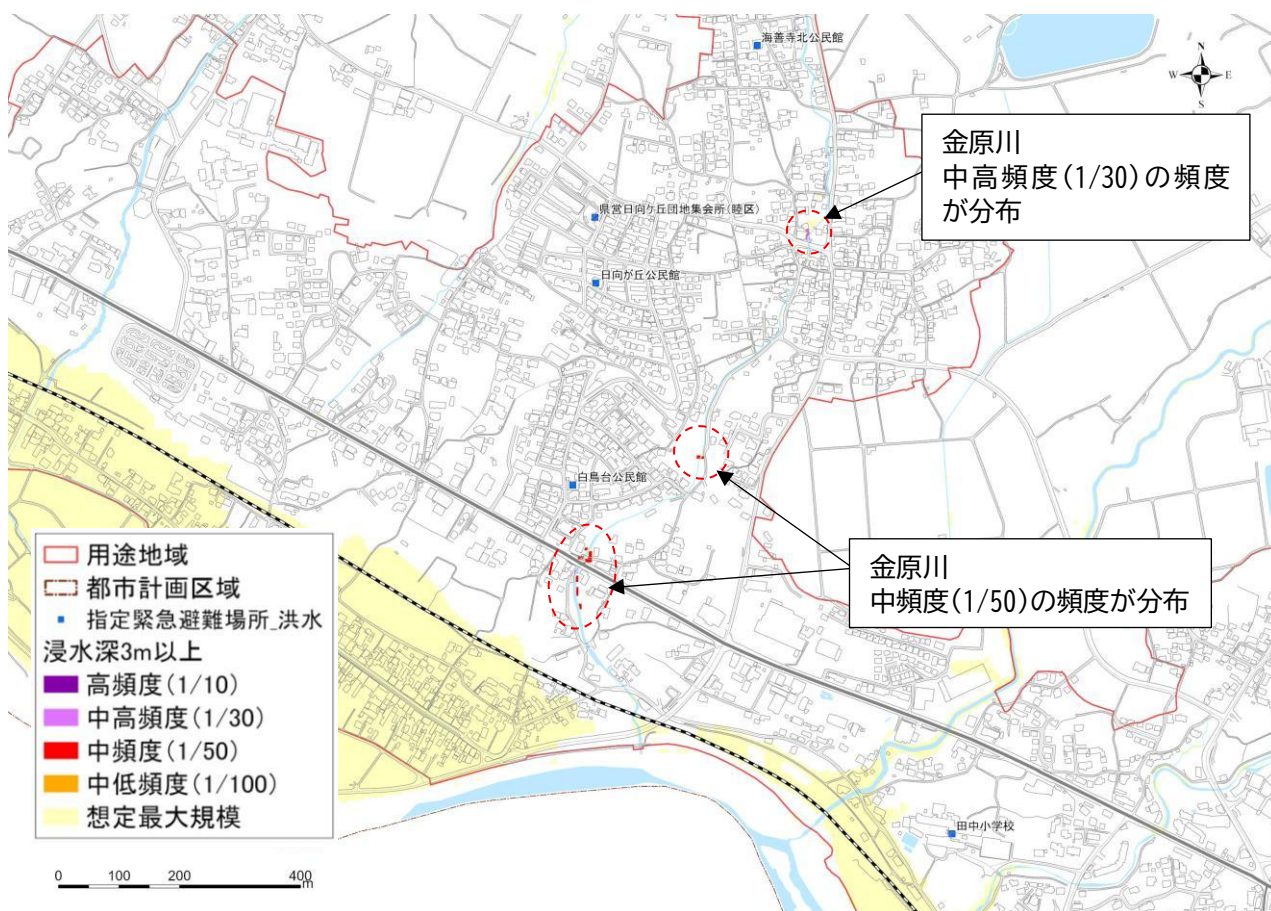
※一定規模以上の降雨について、1年間に発生する確率（年超過確率）ごとに浸水範囲を色分けして示した図



発生頻度別の浸水深3m以上の指定状況（用途地域周辺）

資料：水害リスクマップ（浸水頻度図） 令和7年度(2025年度) 長野県

用途地域内では、金原川の流域で中高頻度(1/30)、中頻度(1/50)の区域が僅かに分布しています。



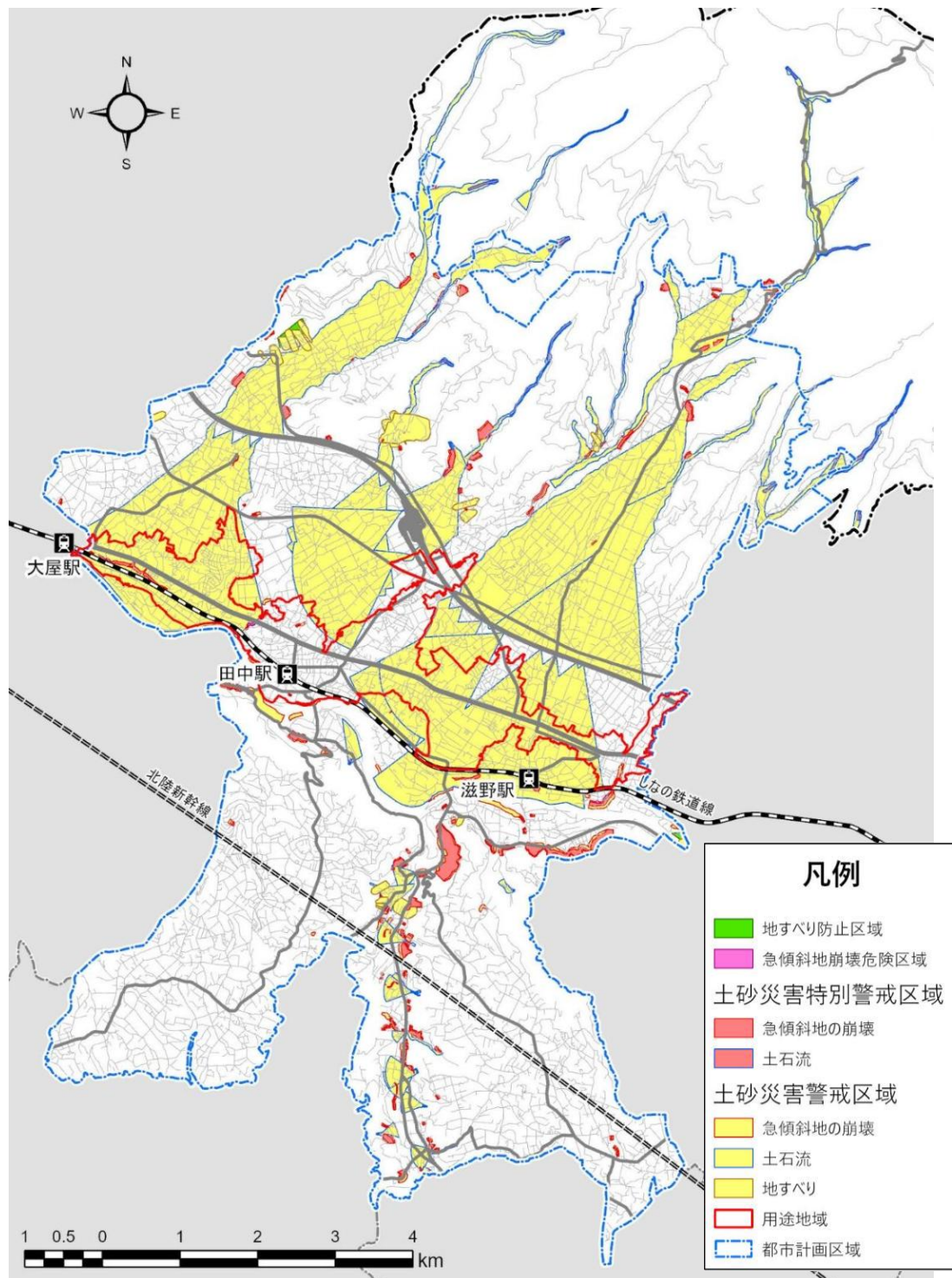
発生頻度別の浸水深3m以上の指定状況（拡大図）

資料：水害リスクマップ（浸水頻度図） 令和7年度(2025年度)長野県

(3) 土砂災害リスク

① 土砂災害警戒区域等

土砂災害防止法による「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」、地すべり防止法による「地すべり防止区域」、急傾斜地法による「急傾斜地崩壊危険区域」をみると、用途地域周辺から用途地域外の北側にかけて土砂災害警戒区域が広く指定されています。

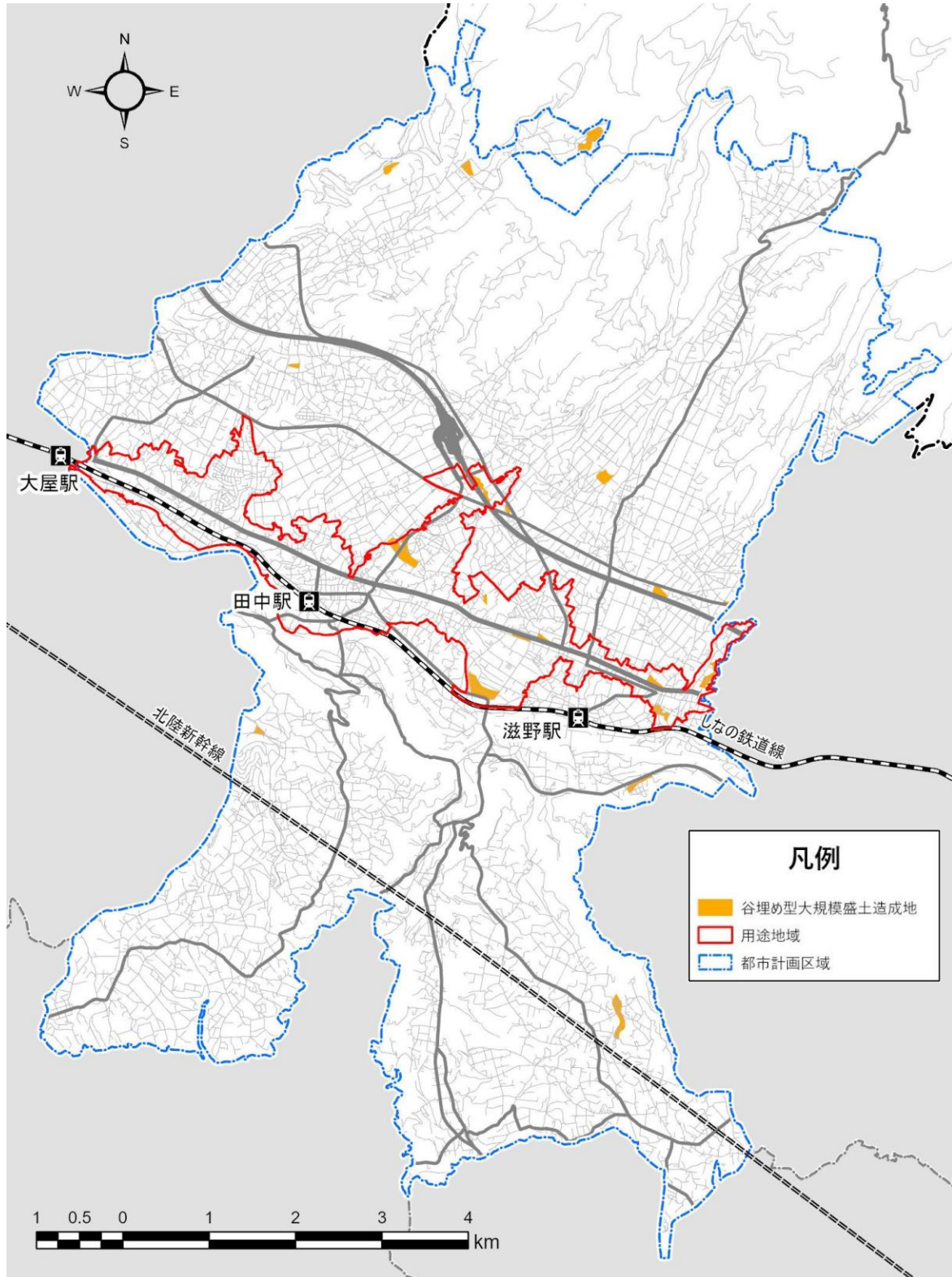


土砂災害計画区域等の指定状況

資料：国土数値情報 土砂災害警戒区域データ、地すべり防止区域データ、急傾斜地崩壊危険区域データ

② 大規模盛土造成地

大規模盛土の造成箇所をみると、用途地域の中央部から東側周辺を中心に谷埋め型で造成されている箇所が多くみられます。

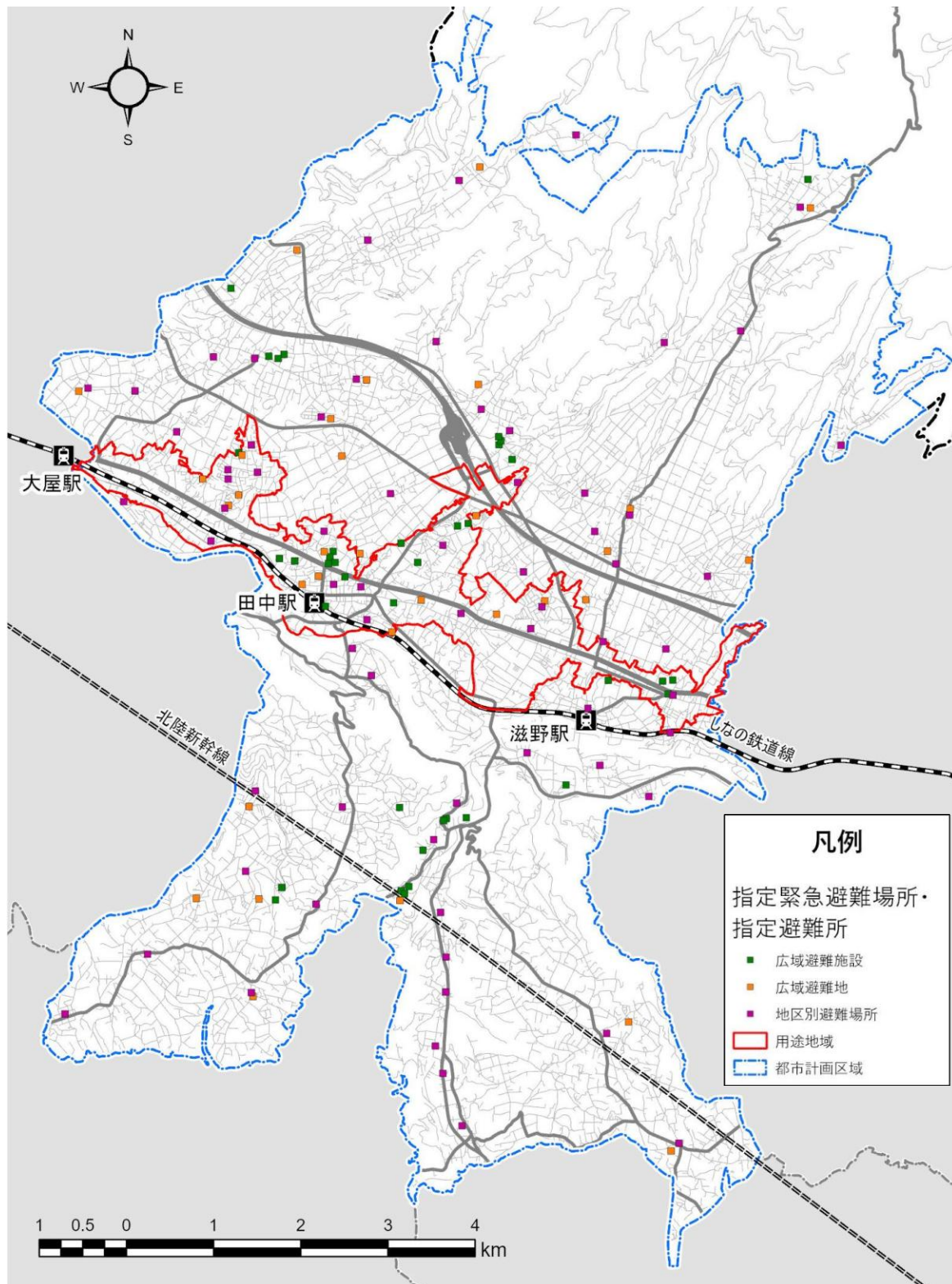


大規模盛土造成地の分布状況

資料：大規模盛土造成地マップ東御市1・2、宅地カルテ（東御市）

(4) 土指定緊急避難場所・指定避難所

指定緊急避難場所・指定避難所（広域避難施設、広域避難地、地区別避難場所）をみると、用地地域周辺を中心に広く指定されています。



指定緊急避難場所・指定避難所の指定状況

資料：令和元年度 東御市都市計画基礎調査

12. 都市構造評価

都市構造の評価は、日常生活に必要な都市機能の立地特性を評価する指標を設定し、類似規模都市と比較しながら東御市の特性（強み・弱み）を分析します。

分析に用いる評価指標は、「都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課・平成30年）」を参考に、次の6つの分野で評価しました。

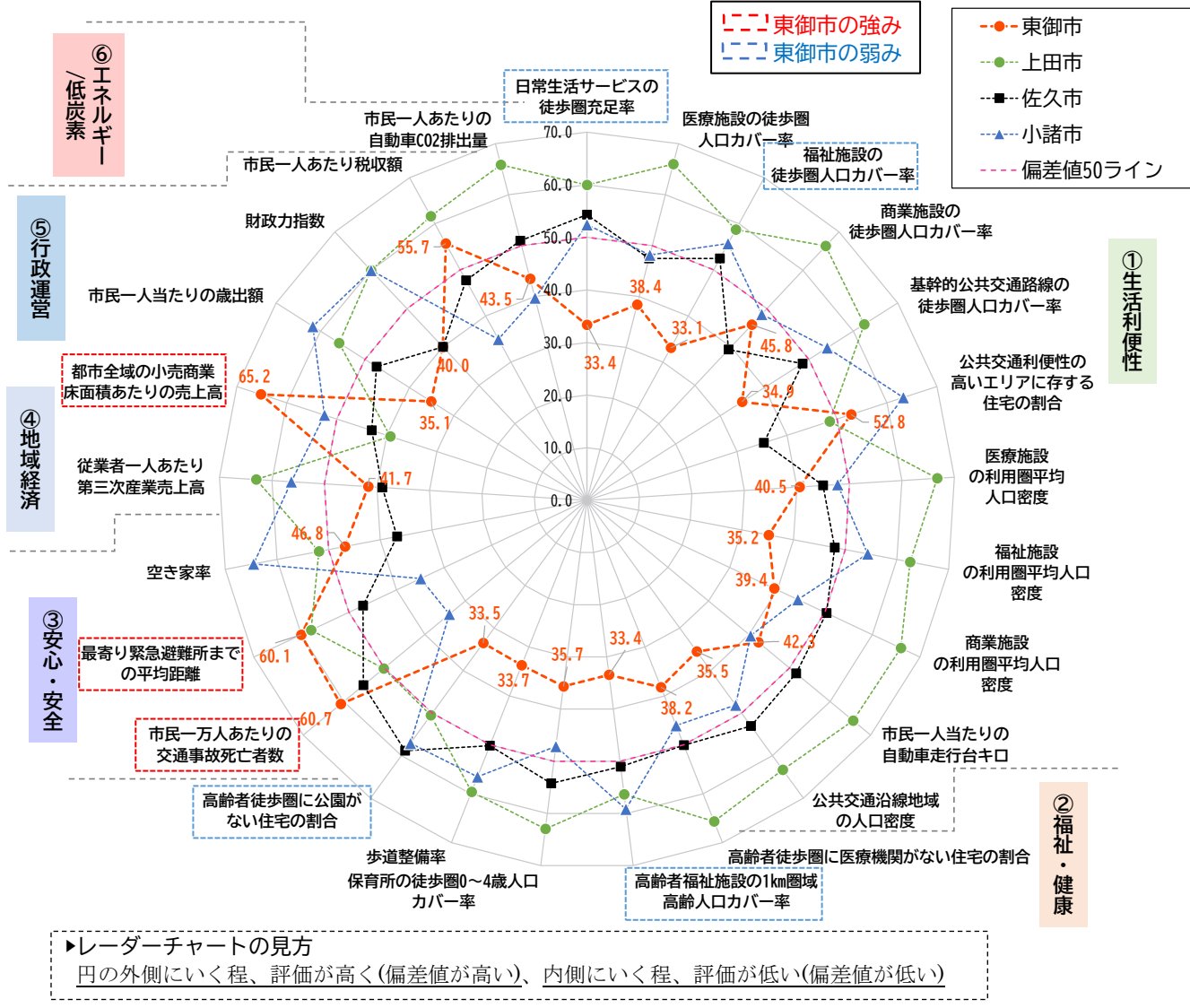
都市構造の評価項目

分野	評価指標
①生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率（％）
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（医療施設徒歩圏（800m）人口カバー率）（％）
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（福祉施設徒歩圏（800m）人口カバー率）（％）
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（商業施設徒歩圏（800m）人口カバー率）（％）
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率（駅又はバス停留所徒歩圏（800m、300m）人口カバー率）（％）
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（医療施設徒歩圏（800m）平均人口密度）（人/ha）
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（福祉施設徒歩圏（800m）平均人口密度）（人/ha）
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（商業施設徒歩圏（800m）平均人口密度）（人/ha）
	市民一人あたりの小型車走行台キロ(台キロ/日)
	公共交通沿線地域の人口密度（駅およびバス停徒歩圏（800m、300m）人口密度（人/ha））
②健康・福祉	500m圏内（高齢者徒歩圏）に医療施設が立地していない住宅の割合（％）
	高齢者福祉施設の中学校圏域（1,000m圏内）の高齢者（65歳以上）人口カバー率（％）
	保育所の徒歩圏（800m圏内）0～4歳人口カバー率（％）
	歩道設置率（％）
	500m圏内（高齢者徒歩圏）に公園が立地していない住宅の割合（％）
③安全・安心	市民一万人あたりの交通事故死亡者数（人）
	最寄り緊急避難所までの平均距離(m)
④地域経済	従業者一人あたり第三次産業売上高(百万円/人)
⑤行政運営	市民一人あたりの歳出額（人口あたりの公共施設等の維持・管理・更新費）（千円）
	財政力指数（市町村財政）
	市民一人あたりの税収額（千円）
⑥エネルギー/低炭素	市民一人あたりの自動車CO2排出量（t-CO2/年）

都市構造の評価は、通常、人口規模などが類似している自治体と比較を行います。どのような分野において課題があるのかを客観的・定量的に評価するため、生活圏内の近隣都市（上田市、小諸市、佐久市）との比較分析を行いました。

本市の主な「強み」としては、安心・安全分野における「最寄りの緊急避難所までの平均距離」、「市民一人あたりの交通事故死亡者数」、地域経済分野における「都市全域の小売商業床面積あたりの売上高」となっています。一方、主な「弱み」としては、生活利便性分野における「日常サービスの徒歩圏充足率」、「福祉施設の徒歩圏人口カバー率」、福祉・健康分野における「高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率」、「高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合」となっています。

また、日常生活サービス施設の利用圏人口密度が低くなっており、要因として医療施設や福祉施設、商業施設の立地の少なさが挙げられます。近隣都市に高度医療に対応する医療施設や福祉施設、大型商業施設が立地しており、本市からも利用がみられることから今後も都市間連携による機能補完が必要です。



都市構造の偏差値レーダーチャート

資料：都市モニタリングシート（国土交通省 平成30年（2018年））

都市構造の評価指標

評価分野	評価指標	単位	東御市	小諸市	上田市	佐久市
① 生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	10.8	20.9	24.9	21.9
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（医療）	%	54.9	63.4	79	62.8
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（福祉）	%	46.1	69.1	72.2	65.8
	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率（商業）	%	44.0	45.3	53.8	40.9
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	22.2	42.2	50.9	36.4
	公共交通利便性の高いエリアに存す住宅の割合	%	48.8	60.7	43.9	28.9
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（医療）	人/ha	8.2	9.5	12.9	9.0
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（福祉）	人/ha	6.0	10.2	12	8.8
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（商業）	人/ha	9.2	10.6	16.7	12.3
	市民一人あたりの小型車走行台キロ	台キロ/日	19.3	19.9	12.0	16.4
	公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	7.9	11.2	15.2	12.5
② 健康・福祉	500m圏内（高齢者徒歩圏）に医療施設が立地していない住宅の割合	%	89.0	78.4	51.7	72.9
	高齢者福祉施設の中学校圏域（1,000m圏内）の高齢者（65歳以上）人口カバー率	%	57.6	80.4	77.9	73.2
	保育所の徒歩圏（800m圏内）0～4歳人口カバー率	%	38.3	45.4	55.2	49.8
	歩道設置率	%	36.8	54.4	56.8	49.5
	500m圏内（高齢者徒歩圏）に公園が立地していない住宅の割合	%	49.8	90.0	78.8	93
③ 安心安全	市民一人あたりの交通事故死亡者数	人	0.0	0.5	0.2	0.1
	最寄り緊急避難所までの平均距離	m	229	1,316	320	792
	空き家率	%	8.9	7.5	8.5	9.7
④ 経地済域	従業者一人あたり第三次産業売上高	百万円/人	15.1	16.2	16.7	14.9
	都市全域（市域全域）の小売商業床面積あたりの売上高（小売商業床効率）	万円/m ²	105.9	90.2	73.9	78.5
⑤ 行政運営	市民一人あたりの歳出額（人口あたりの公共施設等の維持・管理・更新費）	千円	500.8	396.3	419.5	452.6
	財政力指数（市町村財政）	-	0.5	0.6	0.6	0.5
	市民一人あたりの税収額	千円	116.6	103.6	120.3	111.6
ギ⑥ 酸 素 ／ ネ 低 ル	市民一人あたりの自動車CO2排出量	t-CO2/年	1.6	1.7	1.0	1.4

資料：都市モニタリングシート（国土交通省）